

医72-15(90)

ナイジェリア(対イフェ大学, ナイジェリ大学)

医療協力実施調査団報告書

昭和48年2月

海外技術協力事業団

Overseas Technical Cooperation Agency

JICA LIBRARY



1064897[0]

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 3. 9	524
登録No. 00063	90.7
	M C

合意議事録 (Record of Discussions)

署名風景



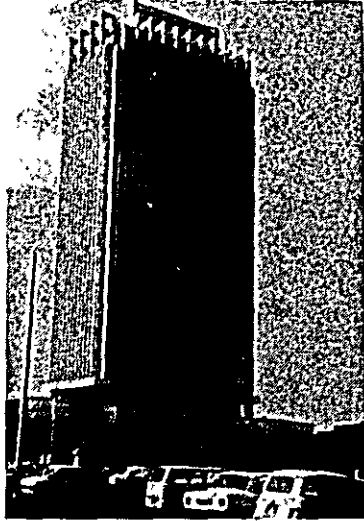
向って左 重光大使
右 清水団長



左 ナイジェリア大学
Prof. G. Onuaguluchi
右 経済開発省技術協力担当局長
Mr. E. D. Martins



左 イフェ大学副医学部長
Prof. A. Adeniyi-Jones



経済開発省のある23階ビル

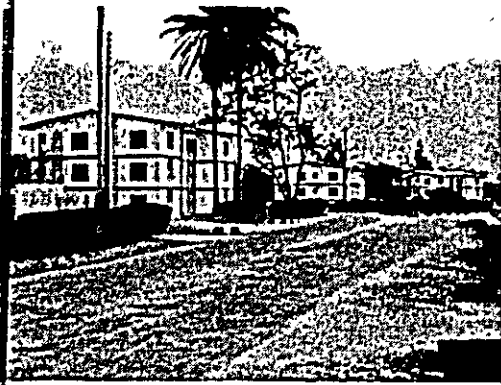


イフェ大学農学部（医学部進学課程用臨時教室として一部使用中）

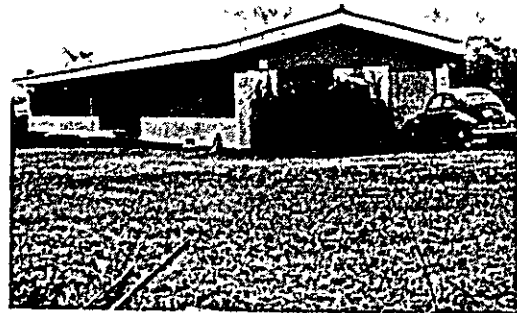


右側 イフェ大学新設医学部校舎建設現場（1973年6月完成予定）

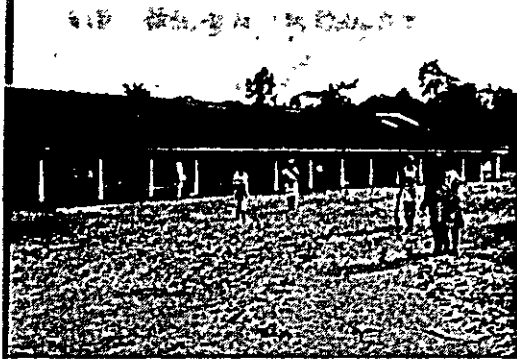
1. Block A・B・Dの3つの建物からなる。
2. 手前のはBlock Dで解剖学と生理学の教室にあてられる予定
3. 次ののはBlock Bで遺伝学、微生物学用教室予定
4. Block Dの裏側にBlock Aが建設中で、動物学、植物学、水棲生物学、生態学教室予定。
5. 左側の建物は人文学用



イフェ大学 Prof. 又は Lecturer
用 宿 舎 (フ ラ ッ ト 型 6 家 族 用)



イフェ大学 Prof. 又は Lecturer
用 宿 舎



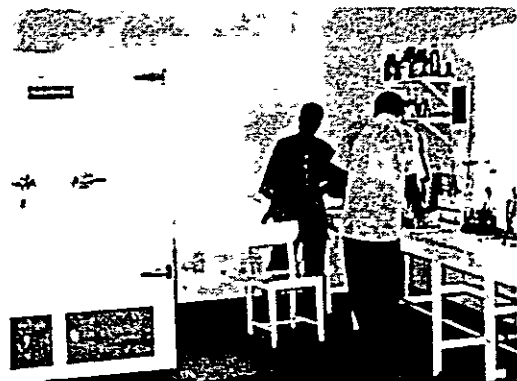
General Hospital (Ife state
Hospital) 外 来 患 者



女 子 病 棟



手 術 室



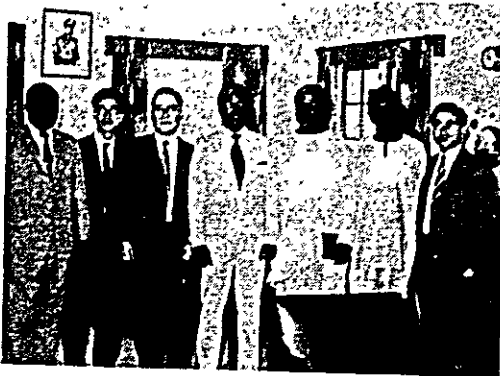
検 査 室



Protein-Calorie Malnutrition
in Child 浮腫を伴っている
Kwashiorkor



Ilesha State Hospital 内
消化器伝染病予防ポスター



左から
一人おいて
斉藤 団員
豊川 〃
西部州厚生大臣
一人おいて
イフェ大学グリロ医学部長
加納 団員



ナイジェリア大学 (Enugu)
医学部
生化学教室実習室



ナイジェリア大学 (Enugu)
2階 看護学校
1階 微生物及び病理学教室



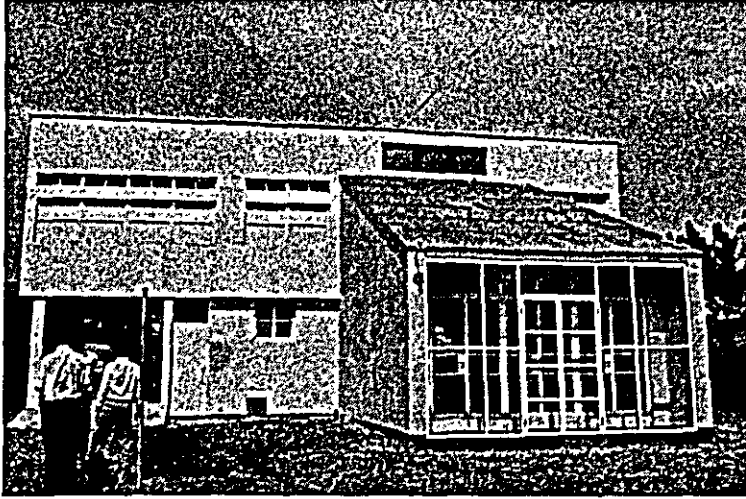
ナイジェリア大学 (Main Campus,
本部 Nsukka)



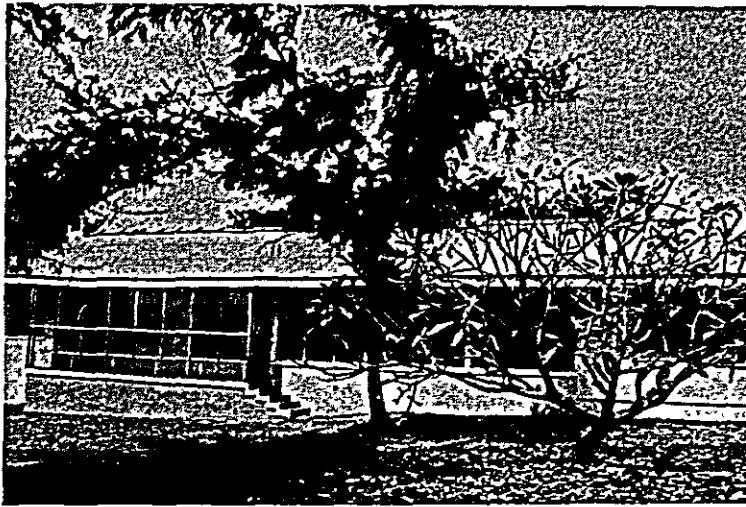
左より
一人おいて
ナイジェリア大学医学部
Prof. G. Onuaguluchi
ナイジェリア大学学長
清水団長
加納団員
Nwokolo ナイジェリア大医学部長



肺吸虫の卵を顕微鏡で見ながら肺吸
虫症について説明している Nwokolo
医学部長



ナイジェリア大学日本人専門家用予定宿舍



同 上



イフェ大学近くにある庶民の住宅



Ife 市内の商店



Ife 市内の物売り風景

は し が き

本調査団は東京医歯大窪田教授を団長とするナイジェリア医療協力基礎調査団の調査結果に基づき、ナイジェリアのイフエ大学医学部及びナイジェリア大学医学部に対して、開発途上国に対するわが国の医療協力の一環として、医療協力を行なうに必要な諸事項につき現地調査を行なうとともにナイジェリア側関係諸機関と打合せを行なって合意議事録(Record of Discussions)を取交すために派遣されたものである。

この機会をかりて調査団各位の努力並びに関係者の協力に対し深謝すると共にこのプロジェクトの成功を祈って止まないものである。

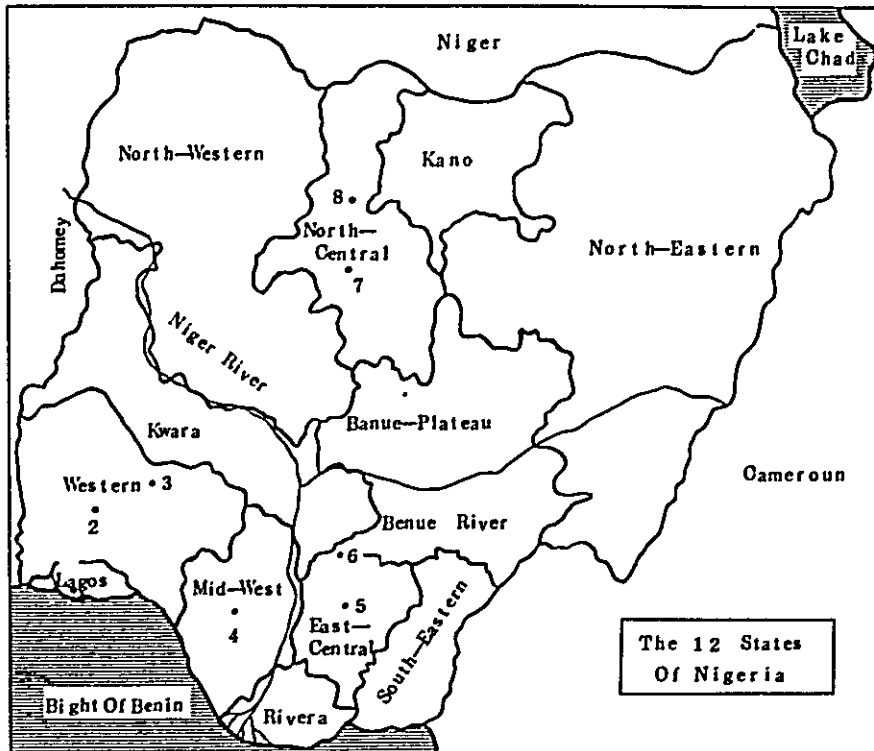
昭和48年2月

海外技術協力事業団
理事長 田付景一

目 次

地 図	ナイジェリア連邦共和国	1
I	調査団派遣経緯	2
II	調査団構成表	4
III	調査日程表	5
IV	調査日程及び調査概要(交渉経過)	6
V	調査交渉方針	17
VI	Record of Discussions	19
VII	対イフェ大学、ナイジェリア大学医療協力実施基本方針	25
VIII	第一回分機材供与リスト	26
	(1) 対イフェ大学医学部	26
	(2) 対ナイジェリア大学医学部	27
IX	医療事情	29
X	一般事情	32
XI	附資料(Annual Statistical Bulletin)	45

FEDERAL REPUBLIC
OF
NIGERIA



1. LAGOS
2. IBADAN
3. IPE
4. BENIN
5. ENUGU
6. NSUKKA
7. KADUNA
8. ZARIA

I 調査団派遣経緯

先般、ナイジェリア政府は西部州のイフェ大学医学部、東部中央州エヌグのナイジェリア大学医学部及びその他の医学部に対する医療協力を要請越した。

日本側はアジア、アフリカ等開発途上にある諸国に対するわが国の医療協力の一環として、ナイジェリアに対する医療協力を検討すべく、必要な現地調査並びにナイジェリア側関係者と打合せを行なうため、昭和47年2月24日より同年3月16日まで東京医科歯科大学窪田教授を団長とするナイジェリア医療協力基礎調査団を派遣した。

この基礎調査団の現地調査をもとに検討の結果、イフェ大学医学部及びナイジェリア大学医学部に対して、中近東、アフリカ技術協力計画に基づいて医療協力を行なう方針を固めた。

ナイジェリア大学医学部は1967年に開設されたが、数ヶ月後に内戦の被害を受け、建物の一部及び設備は殆ど破壊され、新設同様の再スタートを必要とする状態にある。

このため、大学側は医学部の復興再建について、学生実習に必要な顕微鏡等基礎的な医療機材の供与及び基礎医学関係教授、講師の派遣並びにナイジェリア人カウンターパートの日本での研修を含む広範な援助を必要としている。

一方、イフェ大学医学部は1973年完成予定、現在医学部用建物を建築中で1971年10月より医学進学課程の学生は他学部の教室を借りて受講中である。ナイジェリア大学同様、基礎的な授業用機材、教授等の派遣及びカウンターパートの養成等の援助を必要としている。

両大学医学部が日本側に協力を要望する講座は数コースに及ぶが、日本側としては、日本国内の教医学部新設等のための基礎医学教官陣の極度の不足の現状から、並びに予算上の制約等から、すべての要望講座に協力することは不可能であるので、日本側で人選可能な2～3講座の専門家を派遣することが実情に則した協力方法と考えられる。

協力期間については最低5ケ年は必要と考えられ、専門家のローテーション等を考慮して、本件プロジェクトの主たる日本国内協力機関を東京医科歯科大学にお願いし、東京大学等その他の大学或いは各専門学会のご協力を得て本件プロジェクトを推進することが望ましいと考えられる。

上記協力方針を基に、ナイジェリア側と協力内容について具体的に打合せを行な

い、必要な現地調査を行なって、合意議事録(Record of Discussions)を取交すために昭和47年11月26日から同年12月11日まで東京医科歯科大学清水学長を団長とするナイジェリア医療協力実施調査団を派遣する運びとなったものである。

Ⅱ 調査団の構成表

団 長 清 水 文 彦
医学博士 東京医科歯科大学学長

団 員 豊 川 行 平
医学博士 東京大学教授

団 員 加 納 六 郎
医学博士 東京医科歯科大学教授

団 員 斉 藤 信 行
海外技術協力事業団医療協力部
医療第一課長

■ ナイジェリア基礎医学医療協力（対イフェ大学、
ナイジェリア大学）実施調査団日程表

（期間 47年11月26日～12月11日）

月 日	日 程	備 考
47年 11月26日	③ (A.M.) (団員3名のみ) 東京発 (P.M.) ナイロビ着	(ナイロビ泊)
27	月 (清水団長 11/30) ナイロビ発→ラゴス着	(ラゴス泊)
28	火 日本大使館にて協力方針説明、打合せ	(ラゴス泊)
29	水 経済開発省(技術協力担当局長)と打合せ ① ラゴス大学 teaching hospital 視察 ② イフェ大学 Grillo 医学部長、渋谷医師と打合せ	(ラゴス泊)
30	木 ① 大使館にて協力方針再検討 ② イフェ大学へ現出用資料作成 清水団長東京発 ラゴス 車 → イバダン	(イバダン泊)
12月 1日	金 西部州厚生大臣表敬 イバダン 車 → イフェ 途次下記施設視察 ① IKIREのThe Health Service Rural Health Center ② DEKI のDistrict Hospital ③ イフェ大学側(グリロ医学部長他)と打合せ	(イフェ大 グストハウス泊) (清水団長ラゴス着)
2	土 ① Ife State General Hospital ② Ilesha State Hospital 視察 ③ 清水団長 ラゴス 空 → イバダン 清水団長先発隊と合流 イフェ大学側と打合せ	(イフェ泊)
3	日 ③ イフェ大学キャンパス内日本人専門家用予定住宅等視察 イフェ大学側(学長、医学部長)と最終打合せ	(イフェ泊)
4	月 車 イフェ → イバダン イバダン 空 → ラゴス 大使館と打合せ	ラゴス泊
5	火 空 ラゴス → エヌグ ① ナイジェリア大学(エヌグ)施設視察 ② ナイジェリア大学側(医学部長他)と打合せ	(エヌグ泊)
6	水 東部中央州厚生大臣表敬 ① ナイジェリア大学側と打合せ(学長、医学部長他) (Nsukka Campus) ② 大学施設視察	(エヌグ泊)
7	木 ① 大学施設(Enugu Campus)視察 ② エヌグ 空 → ラゴス ① 経済開発省 ② 大使館と打合せ	(ラゴス泊)
8	金 経済開発省大臣表敬 合意議事録について最終打合せ 大使館にて合意議事録署名	(ラゴス泊)
9 10 11	土 日 月 帰途 ラゴス発 帰国 東京着	(パリ、モスクー経由) (パリ泊)

Ⅳ 調査日程及び調査概要

〔昭和47年〕 団員3名（潜水団長は11月30日東京出発）

11月26日（日） 東京10:00発ナイロビ着23:15着

27日（月） ナイロビ19:30発ラゴス22:20着

大使館渋谷医務官の出迎えを受け、IKOYIホテルに投宿す。

28日（火） 10:00^{A.M.} 大使館訪問、①重光大使にイフェ大学及びナイジェリア大学に対する日本側の今回の基礎医学医療協力の協力基本方針を説明すると共に、現地の事情を伺う。

重光大使より今回の医療協力はナイジェリアの国内事情を十分に考慮して行なう必要のある旨、意見具申があった。即ち、ナイジェリアは連邦共和国として、1967年7月から1970年1月にわたって起ったビヤフラ戦争（現地では the Civil War と呼んでいる）後、中央政府が一応国内の12州から成る地方政府を取りまとめているが、実際は未だその力が弱く、地方自治的色彩が強く特に、今回の医療協力の対象となっておるイフェ大学は西部州（首都ラゴスから北東約160マイル、ヨルバ族）に位置し、ビヤフラ戦争の勝利者側に属し、一方、ナイジェリア大学はエヌグ（Enugu）（東部中央州の州都、首都ラゴスから東方約400マイル、イボ族）に位置し、敗者側である。たまたま今回の協力要請はイフェ大学側から先きに日本側にあったが、政府ベースとしてやる場合、出来るだけ両大学に対し、均等に協力を行なうことが、賢明な方法であろう。

又、重光大使より、機材供与に関し、直接大使館あて送付するようにしてほしい旨、強い要請があった。荷受人を相手側にするとう過去の経験から、引取りに非常に長時間を要すること、そのうえ、荷物が紛失する恐れがあること。の理由から、若干、大使館が引取手数料を払っても直接引取って、両大学に引渡すようにした方がよいとのことである。

（川出参事官、天木書記官、渋谷医務官同席）

②午後、引続き、調査団調査日程及び合意議事録案について打合せを行なった。

（大使館側——川出参事官、天木書記官、渋谷医務官）

29日(水) 10:00 A.M. 経済開発省(Federal Ministry of Economic Development and Construction)連邦技術協力担当局長MR. E. D. Martins を訪問し、日本側の両大学に対する協力方針を説明すると共に、合意議事録案文を手交し、打合せを行なった。(天木書記官同行)

2:00 P.M. ラゴス大学、Teaching Hospital 視察(渋谷医務官同行)

4:00 P.M. 渋谷医務官宅にて打合せ(イフェ大学グリロ医学部長及び渋谷医務官と)

30日(木) 9:30 A.M. 大使館にて経済開発省、MR. Martins との打合せ結果につき、大使に報告すると共に、わが方協力方針等につき、検討を行なった。午後イバダンへ出発するため、イフェ大学関係機材供与リスト等の資料整理を行なった。

3:30 P.M. ラゴス発 車でイバダンへ

8:00 P.M. イバダン着(渋谷医務官同行)

イフェ大学グリロ医学部長とイバダン大学ゲストハウスで夕食を共にしながら、日程等の打合せを行なった。(団員3名及び渋谷医務官ゲストハウス泊)

12月 1日(金) 9:30 A.M. 西部州厚生大臣(Western State Commissioner for Health)訪問。(グリロ教授同行)同 Commissioner より日本側に病院建設の協力要請があったが、本調査団より今回の目的はイフェ大学に対して基礎医学医療協力を行なうに際し、具体的に協力事項につき、ナイジェリア側関係者と打合せを行なうと共に、合意議事録を取り交すことにある旨を説明した。更に、技術協力ベースでは建物建設関係は行なっていない旨説明し、本調査団の立場を明確にするべく努めた。

なお、同 Commissioner より帰国後、病院建設協力について、是非日本側関係者に報告してほしい旨強い要請があったので、報告することについてはわが方了解した。

11:00 A.M. イバダン大学 Book Shop 視察

11:40 A.M. イバダン(IBADAN)発、車でイフェ大学へ向う途次

12:50 A.M. IKIRE 着 The Health Service Rural

Health Center 視察(グリロ医学部長同行)1960年設立、管轄人口 162,883人

スタッフ——1 doctor、3 sister、8 nurse 患者、1日平均約15人

2:00 P.M. DEKI 州立District Hospital 視察、1968年設立。

3:30 P.M. イフェ大学着 Staff Club で昼食会。

イフェ大学側——Grillo 医学部長夫妻、副医学部長A.

Adeniyi-Jones Bankole 医学部教授、学長秘書

4:30 P.M. グリロ医学部長の案内で医学部建物建築現場等 Campus内を視察後、ゲストハウスに旅装を解く。少休憩後。

6:00 P.M. ~8:00 P.M. グリロ医学部長、Adeniyi-Jones 副医学部長及びM.Bankole 教授と打合せを行なった。

打合せ要旨次の通り

①日本人専門家派遣について

日本側より協力方針として

寄生虫学、生理学、及び公衆衛生学(微生物学を含む)の3部門について5ケ年間専門家を派遣する用意のある旨述べた。これに対し、グリロ医学部長より、上記3部門のみでなく、出来るだけ広く他の部門(Haematology, Cytology, Biostatistics, etc.) についても
血液学 細胞学 生物統計学

協力してほしい旨要請があった。又、臨床分野についても協力してほしい旨要請があった。

これに対し、日本側より、わが方の協力体制を考慮し、今回はあくまで基礎医学分野に限定して協力することとしたい旨述べ、更に、基礎医学教育には最低3ケ年は要することを説明した。更に、グリロ医学部長より、上記3部門の協力を2ケ年実施した後、他部門も含めて再検討してほしい旨要請があった。これに対し、日本側もこれを了承した。

又、グリロ医学部長より日本人専門家の派遣に関連して、たまたまイフェ大学と個人契約ベースで来年9月から1ケ年間日本から派遣される予定になっている千葉大学の桑田教授(微生物学)についても政府

ベースで派遣を考えてほしい旨、要請があった。

これに対して、日本側は本人の意向を確認する必要もあるので、最終結論は帰国後早急に出すこととしたい。又、桑田教授の派遣を政府ベースで行なう場合は上記協力部門の一部と考えたい旨、述べた。

イフェ大学側もこれを了承した。

なお、専門家の派遣時期について、グリロ教授より、専門家は着任後、住宅の設営、現地生活への慣れ、授業の準備等に約1ヶ月は要するので、又、住宅確保のためにも、学期開始が10月であるので、8月乃至9月上旬には着任してほしい旨、要請があった。日本側もこれを了承した。

②機材供与について

日本側より機材供与方針として、第1回供与分として10,000千円（輸送費を含む）を1973年3月給積、第2回供与分として約20,000千円相当額（輸送費を含む）を大蔵省へ予算要求中、来年度早々に購送業務を開始し、専門家着任迄には現地に到着するようにする。なお、全体供与計画についてグリロ医学部長より質問があったので今後5ヶ年間に合計70,000千円相当額（輸送費を含む）を供与する予定である旨、述べた。

これに対し、グリロ医学部長より総額70,000千円は少なすぎるので、増額を考慮してほしい旨、強い要請があった。

これに対し、わが方より、増額は非常にむずかしいが、出来るだけ努力すると述べた。グリロ医学部長もこれを了承した。

③カウンターパートの受入れについて

日本側よりイフェ大学のカウンターパートの日本での研修受入れ方針として、わが方の受入れ予算の制約があるが、上記専門家協力部門に限定せず、基礎医学分野であれば、出来るだけ広く doctor と technician の受入れを5ヶ年間に数名考慮したい旨述べた。

これに対し、グリロ医学部長より日本側の配慮に対し、感謝の意が述べられた。

夕食後、グリロ教授宅で、ナイジェリア各地の民族舞踊の紹介映画観賞会が行なわれた。

調査団3名及び渋谷医務官はゲストハウスに投宿。

12月 2日(土)

9:30A.M.~11:00A.M. Ife State General Hospital 視察

12:00A.M.~ 2:00P.M. Ilesha State General Hospital 視察

(Adeniyi-Jones 副医学部長及びBankole教授同行)

一方、清水団長は国内の業務上の都合により

11月30日(木) JAL441便にてパリ経由(パリ一泊)で

12月 1日(金) LAGOS 18:25着(UT755便にて)

(天木書記官空港出迎え)(イコイホテル泊)

12月 2日(土) 国内線(Nigeria Airways)でLAGOS空港 10:00 A.M.

発 IBADAN 10:30A.M. 着

IBADAN空港よりグリロ教授の案内で1:30P.M 頃イフェ大学着、団員3名と合流した。

2日(土)2:30P.M. 昼食会 (Staff Club)

昼食会後、日本側だけで1時間程meeting を開いて、清水団長に今迄の相手側との打合せ経過説明並びに日本側協力方針について再検討した。

5:00P.M. グリロ医学部長と打合せを行なった。日本側より「Record of Discussions」の案を提示し、検討した。

機材供与に関連して、来年度予算で供与予定機材中、日本人専門家の研究指導用機材の必要性を当方より説明し、グリロ教授もこれを了解した。

R.D. の日本側案については、グリロ教授も基本的に了承した。

7:00P.M. Dinner(グリロ医学部長宅にて同夫妻により大学関係者と共に日本側一行招待された。)

8:30P.M. イフェ大学学生による民話劇をStaff School で観賞した。

12月 3日(日) 午前中、日本人専門家用予定住宅等を視察

5:00~6:30P.M. 学長宅でH.A.Oluwasanmi 学長及びグリロ医学部長と最終打合せを行なった。

H.A.Oluwasanmi 学長に日本人専門家待遇に関連して、クラーの大学側負担による提供を調査団側より申し入れたところ、Oluwasanmi 学長より日本人専門家の経費負担が必要があれば備え付けるようにしてほしい旨申出があった。理由は他の外国人教授等も全部各人負担でクラーの備え付けを行なっており、日本人専門家だけに特別扱いは出来

ないので、了解してほしいとのことである。但し、扇風機、クッカー、ベッド、応接セット等は大学側で備え付けるとのことである。調査団としては事情止むを得ないものとして、日本側で日本人専門家派遣の際、住宅手当を考慮することとし、これを了承した。家賃については大学側が負担する。但し、電気代は各専門家が負担することになる。

その他の事項については、事前に打合せた通り最終的に了解し合った。

12月 4日(月) 7:30 A.M. イフェ大学の車でイバダン空港へ向け出発

11:00 A.M. イバダン空港発

11:30 A.M. ラゴス空港着

午後、①大使館にて重光大使にイフェ大学関係者との打合せ結果報告
(川出参事官、天木書記官、渋谷医務官同席)

② ナイジェリア大学関係提出資料等作成。

19:00 大使公邸にて大使招待夕食会に出席。

12月 5日(火) 9:20 A.M. ラゴス発(Nigeria Airways 定刻7:45 A.M. 発が遅延)

11:20 A.M. エヌグ着(天木書記官同行)

ナイジェリア大学 Nwokolo 医学部長、F.Udekwa 副医学部長

Onuagulchi 前医学部長、カナダ国籍台湾出身のケイ(Kay)講師等の出迎えを受ける。

ホテル(Presidential Hotel)に向う途次、Rehabilitation Center の建築状況を視察した。約2万人のRehabilitationを必要とするものがある。ホテルで旅装を解いた後、ホテル内で昼食を取りながら打合せを行なった。

2:30~4:30 P.M. Enugu Campus を視察した。

5:00~6:00 P.M. ナイジェリア大学側関係者(Nwokolo医学部長、Udekwa 副医学部長、Onuagulchi 教授)とホテルで打合せを行なった。はじめにナイジェリア大学側から調査団に対し、今回の日本側の医療協力に対し深謝する旨述べられた。ナイジェリア大学は仮教室を建築中ですが、イフェ大学の建物とは全然比較にならない粗末なバラック建であり、施設も殆どない状態である。内乱の敗者側という関係もあり、財政的にも非常に苦しい状態にあるとのことである。中央政府に対する不信感や予想以上のものがあり、日本の医療協力に対する期待は非常に大きい。

打合せ要旨下記の通り

基本的にはイフェ大学に対する協力内容とほぼ同じである。

① 日本人専門家派遣について

調査団派遣前、日本側の協力方針はイフェ大学とナイジェリア大学を専門家兼務することとし、期間的には1年間をイフェ大学側に約10ヶ月、ナイジェリア大学側に約2ヶ月を予定しておいた。

調査団が現地大使館、ナイジェリア側関係者と打合せた結果、實際上、日本人専門家が両大学を掛け持ちすることは非常に無理があり、殆ど不可能であることが判明した。

一方、ナイジェリア大学側からも日本人専門家派遣の強い要請があるので、これに何とか応えるようにするため、現地で検討した結果、2～3名であれば派遣可能の見通しが立つので、この旨ナイジェリア大学側に伝え相手側の了解を得た。

ナイジェリア大学側は既に日本人専門家用宿舎を用意しており、クーラーも備え付けるようにしたいとのことである。

② 機材供与について

ナイジェリア大学の施設はイフェ大学とは比較にならないほどはるかに粗末な状態であり、ナイ大学側としてはイフェ大学側以上に日本からの機材供与を強く望んでおることは察しられる次第であるが、ナイ大学側からはどれだけの額を供与してくれるのかといった質問もなく、ただ少しでも供与してもらえることに非常に謙虚な態度で、最も必要としているのは“Simple basic equipment”であるので、是非これらのものを最優先として供与して欲しい旨の要請があった。イフェ大学よりはるかに財政難であるにも拘らず、同じナイジェリア人でも部族の違いにより、日本側に要請する仕方がかくも異なるものかと感深めた。(イフェ大学側はヨルバ族、ナイ大学側はイボ族)

日本側よりイフェ大学に対すると同様の機材供与方針として、第1回供与分として、10,000千円(輸送費を含む)を1973年3月船積、第2回供与分として約20,000千円相当額(輸送費を含む)を大蔵省へ予算要求中、来年度早々に購送業務を開始し、専門家着任迄には現地に到着するようにする。

これに対し、ナイ大学側より感謝の意が述べられた。

③ カウンターパートの受入れについて

日本側よりナイジェリア大学のカウンターパートの日本で研修受入れ方針として、わが方の受入れ予算の制約があるが、日本人専門家派遣部門に限定せず、基礎医学分野であれば、出来るだけ広範囲に Nigerian doctors と technicians の受入れを5ヶ年間に数名考慮したい旨述べた。

これに対し、Nwokolo 医学部長よりわが方の配慮に対し、感謝の意が述べられた。

なお、Record of Discussions の案文を日本側より提示し、検討したが、下記の事項につき、字句の修正等の希望があった。

① 要請書 (A₁, A₂, A₃ 等) の日本側への提出に関して、

従来の例にならって、原案を「From the Government of the Federal Republic of Nigeria」としたところ、ナイジェリア大学側から「From」を「through」にしてほしい旨提案があった。理由として、前述の通り、ナイジェリア大学関係者の中央政府に対する不信感強く、手続上、どうしても中央政府を経由しなければならないものは止むを得ないとして、「From」とすると、折角の日本からの援助が中央政府の匙かげんで行なわれる懸念があるので、「through」とすれば、単に書類が中央政府を経由することで問題がないということである。本件は実質的に問題がないので、わが方も「through」とすることで了解した。

② R.D. に取極め事項の実施過程における修正に関して、

本プロジェクトの実施に当って、必要があれば、両者の合意により、取極め事項の修正が出来る旨、R.D. にもり込んでほしいとの申入れがあったので、わが方もこれを了解し、R.D. の最後の項目にこれをもり込むことにした。

7:00P.M.~10:00P.M. 前医学部長 Prof. G. Onuaguluchi 主催による Cocktail Party に調査団一行招待された。(於、Prof. G. Onuaguluchi 宅)、大学関係者等約30名程参加し、懇談を行ない、非常に有益であった。

なお、Prof. G. Onuaguluchi は1972年9月にわが国の文部省の招へいで約1ヶ月間滞日し、東京医科歯科大学等の関係者と意見交換、及

び関係施設の視察等を行なった。

ナイジェリア大学関係者としては、同教授が最初の訪日者であり、日本が予想以上の先進国であること、特に、医学分野における発達はめざましいことに驚嘆し、日本に対する認識を新たにしたいようで、帰国後、事あるごとに日本のことを関係者に話をしている状態で、同教授を日本へ招へいたことは今後の医療協力にとっても大変有意義であったことを痛感した。

12月 6日(水) 10:00 A.M. 東部中央州 (East Central State) の厚生大臣 (Commissioner for Health) を表敬。同厚生大臣はたまたま 1972年8月訪日しており、その際、田中首相にも会っており、非常に日本の今回のナイジェリア大学に対する医療協力を期待しており、本調査団に謝意を表し、大いに歓迎してくれた。

11:00 A.M.~12:00 車でNsukka Campusへ

(Enugu Campusより45マイル)

(同行、医学部長、Prof.G.Onuaguluchi)

12:00~1:00 P.M. Nigeria 大学学長 Prof.H.C.Kodilinye を表敬並びに同学長と打合せを行なった。

1:00~2:00 大学施設視察。

2:00~3:00 Kodilinye 学長招待により昼食会。

(大学関係者約30名参加)

3:00~4:00 大学施設視察

5:00~6:00 医学部 (Enugu Campus) 施設視察

7:00~9:00 Nwokolo 医学部長主催によるカクテルパーティー

(於、Presidential Hotel)

(厚生大臣他大学関係者等約30名参加)

医学部長より今回の日本の医療協力に対する感謝と本調査団に対する歓迎の意が述べられた。次いで、厚生大臣及び最初の訪日者であるProf.G.Onuaguluchiから歓迎並びに日本がいかにか近代国家であるかという紹介があった。これに対し、清水団長より、日本はナイジェリアの医学、医療技術の発展に寄与すべく最大の努力をする旨述べられた。

12月 7日(木) 9:00~10:00 A.M. 医学部施設視察

11:00 A.M. Enugu 空港発ラゴスへ

1:00 P.M. Lagos 空港着

齊藤団員と天木書記官は直ちに経済開発省 Mr. Martins を訪問し、Record of Discussions につき、打合せを行なった。

一方、清水団長他 2 名は大使館を訪問、大使にナイジェリア大学関係調査、打合せ結果を報告した。

なお、Record of Discussions はイフェ大学とナイジェリア大学と夫々別々に作成することとし、署名者は学長とし、夫々経済開発省大臣と調査団団長と日本側大使の四者が署名することになった。

12月 8日(金) 10:00~11:00 A.M.

経済開発省大臣表敬並びに R.D. について最終打合せを行なった。

同大臣よりナイジェリア大学に対する①日本人専門家派遣に関して、人数を数名ということで「a few Japanese experts」という表現を用いたが、これに対し、人数は何人と明記すべきであるとの申入れがあったので、「a few」を「two or three Japanese experts ……」とすることで了解し合った。更に②カウンターパートの受入れに関し、人数を「several doctors and technicians」と表現しておることに対し、何人と明記すべきであると提案があったので、「up to ten Nigerian doctors and technicians」とすることで了解し合った。又、R.D. の最後に従来、両国政府の承認を要する旨明記してあるわけであるが、同大臣よりこれを明記する必要がないのではないかの発言があった。

理由は、R.D. に明記されておる事項については経済開発省大臣の権限でナイジェリア側としては国内的に別途何ら他機関と協議等要せず、実施出来るとのことであり、日本側としても、本調査団団長が本プロジェクトの取極めには全権委任されておる筈だから、改めて日本政府の承認を必要としないのではないかということである。

これに対し、日本側より今後本プロジェクトの実施に当って、必要な予算措置として、1972年度分としては大蔵省承認を得ており、問題ないが、来年度以降分については年度毎に国家予算の一環として必要な手続きを経て大蔵省承認を得る必要がある。一応本プロジェクトの実施に当って、全体として5ケ年間にいくら機材供与費を要するかという全体計画を作成して事前に大蔵省へ提示するが、日本の現行会計制度では5

ケ年間に要する全体予算の一括承認を行なっておりません。

従って、日本側としては、上記事情等から本事項は必要であると日本側の事情の理解に努めたが、残念ながら、理解を得ることが出来なかった。そこで、わが方としては、検討した結果、本項目がなくとも、「本 R. D. の 3」で、「日本の協力は日本の予算、法規の範囲内で日本政府の費用により実施される」と明記しており、更に、「本 R. D. の 6」で「実施の過程で必要があれば両者の合意で修正が出来る」と旨明記してあるので、本 R. D. の取極めは条件付きがあるので、本項目を削除しても支障ないものと判断し、削除することに了解した。

経済開発省大臣との最終打合せの結果にもとづき、Record of Discussions の final のものを至急大使館にタイプを依頼し、

2:30 P.M. に大使館で署名式を行なった。

7:00 P.M. 大使公邸に於て、カクテルパーティを開催、関係者約 40 名程参加し、相互理解を深めるなど非常に有意義であった。

12月 9日(土) 11:40 A.M. ラゴス発バリ、モスクー経由で予定通り。

12月 11日(月) 11:15 A.M. 東京着で帰国した。

V 調査交渉方針

基礎調査団の調査結果を基に、関係者で検討の結果、日本側はイフェ大学医学部及びナイジェリア大学医学部に対し、医療協力を次のような基本方針で行なうこととし、本調査団は本医療協力の実施に当ってナイジェリア側と必要な取極め及び現地調査を行なうため派遣された。

1. 日本国政府のナイジェリア連邦政府に対する医療協力はナイジェリアにおけるイフェ大学医学部及びナイジェリア大学医学部を対象とし、基礎医学部門の整備拡充を目的として実施される。
 - (1) イフェ大学医学部に対する協力
 - (a) 日本側は1973年から3ケ年間生理学、寄生虫学、公衆衛生学（微生物学を含む）の分野において専門家を派遣する。
 - (b) 日本側は基礎医学教育に要する機材を供与する。
第一回分として、1973年に輸送費を含んだ1,000万円相当の基礎医学教育機材を供与する。
 - (c) ナイジェリア人のカウンターパートに対する日本での研修の便宜は生理学、寄生虫学、公衆衛生学の分野において提供される。
 - (d) 協力期間は5ケ年間とする。
 - (2) ナイジェリア大学医学部に対する協力
 - (a) ナイジェリア大学が必要とする場合は、イフェ大学に派遣された日本人専門家と協議し、短期間ナイジェリア大学に派遣することができる。
その専門家の移動に要する旅費及び住宅はナイジェリア大学側が負担し提供するものとする。
 - (b) 日本側は基礎医学教育に要する機材を供与する。
第一回分として、1973年に輸送費を含んだ1,000万円相当の基礎医学教育機材を供与する。
 - (c) ナイジェリア人のカウンターパートに対する日本での研修の便宜は生理学、寄生虫学、公衆衛生学の分野において提供される。
 - (d) 協力期間は3ケ年間とする。
2. 日本人専門家はナイジェリアにおいて他の第三国の専門家に与えられる待遇を下まわらない種々の特権、免除、及び利益（家具備品付きの住宅提供を含む）を与えられる。

3. 日本より供与される機材はO.I.F の条件でナイジェリア側に渡されたとき、ナイジェリア政府の財物となる。従って、㊶関税、国内税、その他機材に課せられる負担、㊷機材の国内輸送費、据付費、維持費はナイジェリア政府の負担とする。
4. 本調査団とナイジェリア側との取極め事項は合意議事録として取り纏める。
5. この議事録に記載された協力計画は両政府の合意によって、かつ、両国の法規に従って実施される。

VI Record of Discussions

The Japanese Medical Cooperation Survey Mission headed by Dr. Fumihiko Shimizu, visited Nigeria from 27th November to 9th December, 1972 and after a series of consultations with the Faculty of Medicine, University of Nigeria, the attached Record of Discussions has been worked out.

Mr. Akira Shigemitsu, Ambassador of Japan in Nigeria and Dr. Fumihiko Shimizu, leader of the Japanese Medical Cooperation Survey Mission on the Japanese side and Dr. Adebayo Adedeji, Commissioner of Economic Development and Construction of the Federal Republic of Nigeria, Prof. H. C. Kodilinye, Vice-Chancellor, University of Nigeria on the Nigerian side have agreed to endeavour, within the scope of their respective responsibility, to carry out the provisions of the above-mentioned Record of Discussions.


RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE MEDICAL COOPERATION SURVEY MISSION OF THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE FACULTY OF MEDICINE, UNIVERSITY OF NIGERIA ON MEDICAL COOPERATION

The Japanese Medical Cooperation Survey Mission headed by Dr. F. Shimizu and the Faculty of Medicine, University of Nigeria headed by Dr. C. Nwokolo have agreed as follows:

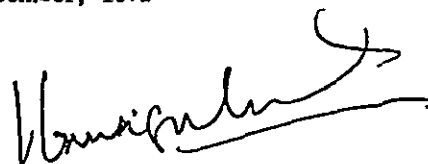
1. Both parties shall cooperate in the field of basic medical education. The period of cooperation will be five (5) years, starting from December, 1972 in staff exchange and training as well as supply of equipment.
2. The Government of Japan will dispatch two or three Japanese experts in the field of basic medical sciences from 1973.
The Government of Japan will supply annually to the Faculty of Medicine, the University of Nigeria, the equipment for the basic medical education. As the first supply, the above-mentioned equipment equivalent to Ten million Yen (¥10,000,000 or approximately N£10,680) (including transportation fees) will be provided in 1973.
Training facilities will also be provided in Japan for up to ten Nigerian doctors and technicians from the University of Nigeria in the field of basic medical sciences during the period of this cooperation. The period of training for each doctor or technician will be from three (3) to twelve (12) months. The Government of Japan will finance these training facilities.
3. In accordance with the laws and regulations in force in Japan and within annual budgetary appropriations, Japanese cooperation will be extended in the form of dispatch of experts, provision of training facilities and supply of equipment at the expense of the Government of Japan, upon receipt of Application Forms A1, A2, A3 and A4, through the Government of the Federal Republic of Nigeria.

4. The Japanese experts shall be granted in Nigeria privileges, exemptions and benefits (including provision of suitably furnished accommodation and transportation facilities for official duties) no less favourable than those granted to the experts of the other countries under similar circumstances.
5. The equipment to be supplied by the Government of Japan will become the property of the Nigerian side upon being delivered.
Therefore, (a) customs duties, internal taxes and other similar charges, if any, imposed in respect of the equipment and (b) local expenses necessary for the transportation, installation, operation and maintenance of the equipment shall be met by the Nigerian side.
6. The parties concerned shall consult with each other in the course of the implementation of the programme agreed upon in this Record of Discussions and make modifications agreed upon by both parties, if necessary.

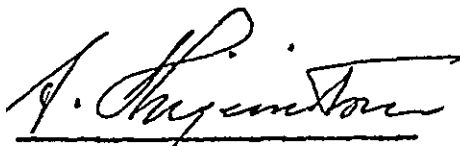
Done at Lagos, on this 8th day of December, 1972



Dr. Fumihiko Shimizu
Leader of the Japanese
Medical Cooperation
Survey Mission



Prof. H. C. Kodilinye
Vice-Chancellor
University of Nigeria



Mr. Akira Shigemitsu
Ambassador of Japan



Dr. Adebayo Adedeji
Commissioner of Economic
Development & Construction
of the Federal Republic of Nigeria

The Japanese Medical Cooperation Survey Mission headed by Dr. Fumihiko Shimizu, visited Nigeria from 27th November to 9th December, 1972 and after a series of consultations with the Faculty of Health Sciences, University of Ife, the attached Record of Discussions has been worked out.

Mr. Akira Shigemitsu, Ambassador of Japan in Nigeria and Dr. Fumihiko Shimizu, leader of the Japanese Medical Cooperation Survey Mission on the Japanese side and Dr. Adebayo Adedeji, Commissioner of Economic Development and Construction of the Federal Republic of Nigeria, Prof. H. A. Oluwasanmi, Vice-Chancellor, University of Ife on the Nigerian side have agreed to endeavour, within the scope of their respective responsibility, to carry out the provisions of the above-mentioned Record of Discussions.

RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE MEDICAL COOPERATION SURVEY
MISSION OF THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE FACULTY OF HEALTH
SCIENCES, UNIVERSITY OF IFE ON MEDICAL COOPERATION

The Japanese Medical Cooperation Survey Mission headed by Dr. F. Shimizu and the Faculty of Health Sciences, University of Ife headed by Dr. T. Adesanya Ige Grillo have agreed as follows:

1. Both parties shall cooperate in the field of basic medical education. The period of cooperation will be five (5) years, starting from December, 1972 in staff exchange and training as well as supply of equipment.
2. The Government of Japan will dispatch Japanese experts in the field of physiology, parasitology and public health science (including microbiology) from 1973. After two (2) years, the above-mentioned fields will be reviewed to include other fields, if necessary.

The Government of Japan will supply annually to the Faculty of Health Sciences, the University of Ife, the equipment for the basic medical education. As the first supply, the above-mentioned equipment equivalent to Ten million Yen (¥10,000,000 or approximately N£10,680) (including transportation fees) will be provided in 1973.

Training facilities will also be provided in Japan for up to ten Nigerian doctors and technicians from the University of Ife in the field of basic medical sciences during the period of this cooperation. The period of training for each doctor or technician will be from three (3) to twelve (12) months. The Government of Japan will finance these training facilities.
3. In accordance with the laws and regulations in force in Japan and within annual budgetary appropriations, Japanese cooperation will be extended in the form of dispatch of experts, provision of training facilities and supply of equipment at the expense of the Government of Japan, upon receipt of Application Forms A1, A2, A3 and A4, through the Government of the Federal Republic of Nigeria.

4. The Japanese experts shall be granted in Nigeria privileges, exemptions and benefits (including provision of furnished accommodation, not including air-conditioners, and transportation facilities for official duties) no less favourable than those granted to the experts of the other countries under similar circumstances.

5. The equipment to be supplied by the Government of Japan will become the property of the Nigerian side upon being delivered.
 Therefore, (a) customs duties, internal taxes and other similar charges, if any, imposed in respect of the equipment and (b) local expenses necessary for the transportation, installation, operation and maintenance of the equipment shall be met by the Nigerian side.

6. The parties concerned shall consult with each other in the course of the implementation of the programme agreed upon in this Record of Discussions and make modifications agreed upon by both parties, if necessary.

Done at Lagos, on this 8th day of December, 1972

Fumihiko Shimizu *H. A. Oluwasanmi*

Dr. Fumihiko Shimizu
 Leader of the Japanese
 Medical Cooperation
 Survey Mission

Prof. H. A. Oluwasanmi
 Vice-Chancellor
 University of Ife

A. Shigemitsu

Mr. Akira Shigemitsu
 Ambassador of Japan

E. Adedeji

Dr. Adebayo Adedeji
 Commissioner of Economic
 Development & Construction
 of the Federal Republic of Nigeria

Ⅶ ナイジェリア基礎医学医療協力(対イフェ大学、ナイジェリア大学)基本方針

協力内容	イフェ大学	ナイジェリア大学
1. 協力分野	基礎医学教育分野	基礎医学教育分野
2. 協力期間	5ヶ年(1972年12月より)	5ヶ年(1972年12月より)
3. 専門家派遣	①生理学②寄生虫学③公衆衛生学(微生物学を含む)の3部門 但し、実施2年後、必要があれば、上記3部門及び他部門(細胞学、血液学、etc)についても再検討する。 1973年より派遣実施	基礎医学分野の専門家2名乃至3名 (特に、R.D には協力部門を明記しないが、①寄生虫学、②病理学の部門を予定。他部門についても協力出来れば考慮する) 1973年より派遣実施
4. 機材供与	基礎医学教育に必要な機材の供与を行なう。 供与額 ①第一回供与分 1972年度予算により輸送費込み10,000千円相当額を供与する。 (1973年3月中に船積完了予定) ②第二回供与分 来年度予算要求中(約20000千円)(輸送費含む) 5ヶ年間で約70,000千円相当額供与予定。	イフェ大学と同じ条件
5. カウンターパートの受入れ	上記専門家派遣予定の3部門に限定せず、基礎医学分野のナイジェリア人医者及び technician を5ヶ年間で10名迄受入れる。	イフェ大学と同じ条件
6. 実施上、取極め事項の修正を要する場合	日本側と協議し、両者の合意に依り、修正することが出来る。	イフェ大学と同じ条件

Ⅷ 第一回分機材供与リスト
(1972年度)

(1) イフェ大学医学部向け

220V 50Hz

№	品名	数量	単価	金額
1	双眼実習用顕微鏡	100	63,800 ^円	6,380,000
2	PHメーター	5	239,000	1,195,000
3	同上用予備部品5台分	1式	78,000	78,000
4	ビデオテープレコーダーセット	1式	200,000	200,000
	カメラ HV 70F 1台			
	モニターテレビTRM-193 3台			
	ビデオテープレコーダー SV510 3台			
	その他付属品			
	計			9,653,000

(2) ナイジェリア大学医学部向け

220V 50Hz

№	品名	数量	単価	金額
1	顕微鏡用スライドプロジェクター	2	300000	600000
2	実物映写機	2	125400	250800
3	オートスライドプロジェクター トランス付	3	65000	195000
4	研究用生物顕微鏡 光源トランス内蔵型 全自動写真撮影装置付	2	460000	920000
5	双眼実習用顕微鏡 照明装置内蔵型	20	63800	1276000
6	双眼実体コルボスコープ 写真撮影装置なし	1	450000	450000
7	微細電極用増巾器 電池ボックス付	1式	260000	260000
8	電子管刺激装置 スペアパーツ付	2	186920	373840
9	万能現象オシロスコープ スペアパーツ付	1	513810	513810
10	同上用プラグインアンプ 生体電気用スペアパーツ付	2	73000	146000
11	オシロスコープ連続撮影装置	1式	293500	293500
12	同上用 フィルム 35mm 巾×30.5 mm長	20巻	3250	65000
13	同上用オシログラフィックペーパー 35mm 巾×20 mm長	30巻	545	16350
14	リニアコーダー	1式	664400	664400
15	パワーサプライ	1	30000	30000
16	極微操作器	2	46200	92400

№	品名	数量	単価	金額
17	炎光光度計 付属品付	1	1,140,000	1,140,000
18	分光光度計 付属品付	1	567,900	567,900
19	心電計 付属品付	1	295,000	295,000
20	心音心電計 付属品付	1	450,000	450,000
21	16mm映写機	1式	420,000	420,000
22	同上用フィルム 解剖学用 2,000ft モノクロ	1巻	100,000	100,000
	計			9,120,000

I 総計(機材購入費)

18,773,000

II 輸送費及び保険料

285,000

(購入費の約15%)

III 機材供与費

216,230,000

荷受人(Consignee) :

在ナイジェリア日本国大使館

住所 :

Embassy of Japan

Plot 24/25 Apese Street,

Victoria Island

Lagos, Nigeria

Ⅸ ナイジェリアの医療事情

ナイジェリアの医療事情は開発途上国共通の悩みである「医師等医療従事者の絶対的不足、医療行政の立遅れ、保健教育の不徹底、生活程度の低さ、特に、食生活の貧困、不健康な住生活、医療の障害となっている上下水道、道路等公共投資の立遅れ」等多くの問題をかかえており、非常に悪い。因に、本調査団が現地に滞在中の1972年12月4日付「Daily Times」の新聞記事を引用すると「In Nigeria today there are about 3,500 hospitals with about 30,000 beds and 2,600 doctors and about 990 Pharmacists shared between the governments and corporations. For a Population of about 60 million this far from being satisfactory, the result of this shortage of medical personnel is that many thousands of Nigerians may not have the privilege of seeing qualified medical personnel in a life time」となっており、すなわち、この記事によると、ナイジェリアの病院数等の現状は下記の通りである。

病院の数：約3,500

ベット数：約30,000

医者数：2,600人

薬剤師数：約990人

総人口約6,000万人に対し満足出来る状態にはほど遠い。医師不足のため、一生産医師の診療の恩恵に浴さないものが沢山ある。

ナイジェリアの医療事情は一口にいて昔ながらの呪術師 (medicine man, native doctor, witch doctor) が未だに存在価値を失っていないという事実が象徴される。

医者や看護婦はおろか、施療院 (dispensaries) の程度の低い医療サービスの恩恵にも浴せない辺鄙な地域に住む多数の人達は、精神療法的であるとはいえず若干の治療効果をあげる権威ある呪術師を頼るしかないし、又、他方、18才未満や低所得者は医療費無料という都市部に住みながらも白人の医師よりも呪術師を選ぶ人も少なくないという。

もともと宗教伝道団体の献身的貢献によりナイジェリアの医療体制は出発している。

医療サービス機構は全般として英国のそれに準じている。

医療行政

原則として地方政府の管轄下であり、連邦政府保健省は連邦立の数ヶの病院（イバダン大学教育病院、ラゴス大学病院、プロ精神病院等）、各種パラメディカル技師訓練学校及び各種の医学研究所の直接管理にあたる外は伝染病の予防撲滅運動等に直接タッチしている。

国全体の医療行政の調整は連邦政府及び各州政府の保健省長官及び次官の会合であるNational Council of Healthで行なっている。1972年3月Kadunaで開かれた会合では新卒医師の僻地勤務義務付けと出生、死亡登録の義務付けを議決した。この外、連邦政府は州政府にそして後者は更に郡、市町村等へ資金援助を通じて調整を行なっている。

州政府では数ヶの州立総合病院と保健所を通して医療サービスを行なうが、この他伝染病病院、精神病院、結核療養所等を運営する。

医療機構の不備な北部諸州では移動診療所(Mobil Clinics)を仕立てて僻地への医療サービスを行なっている。

市町村レベルでは各カウンスルの管轄下に施療院(dispensary)、母子センター(Maternity centers, maternity and children welfare center等)や市町村の保護所等がおかれるが、数も少なくその上医師はおろか訓練された職員にもこと欠くという状態でその医療の質は非常に低いところが多い。

医師養成

医師養成機関としては現在6大学（IBADAN, LAGOS, NIGERIA, AHMADU BELLO, IFE, MIDWESTERN INSTITUTE OF TECHNOLOGY）がいずれも医学部を設置したが、イバダン大とラゴス大以外は発足して未だ日も浅く卒業生を出すに至っていない。

1980年迄には新卒医師全国合計年約500名、医学部新入生が約1,000名に達する予定。これは年率約3%の人口増加に辛うじて追つくのみで、現在の全国ならして約2万の人口に医師1人という医師不足は解消しそうにもない。従来新卒医師の過半数は欧米の教育病院へ留学し、専門医の資格を3～5年もかかってとっており、この事実上医師の国外流出を防ぐ意味で、1971年度よりイバダン及びラゴス両大学では卒業研修コースを始めたが、成果が期待されている。

現在でも特に北部諸州では外国人医師が重要な役割をはたしている。

歯科医師養成はラゴス大学教育病院、歯科補助技術員養成は連邦立及び技師学校で行なわれている。

ナイジェリアの疾病

典型的な後進性を示す。即ち、高い乳幼児の死亡率、伝染病性消化器疾患や結核、肺炎の患者が多い。又、マラリア、眼病、黄熱病、住血吸虫症、Filariasis（線虫症）等風土病が依然として猛威を振っている。

1950年代に始められたYaws（梅毒）根治キャンペーンでYaws患者は減少したが、最近はこれに代って梅毒、淋病等の性病が増加してきている。類も依然として毎年新患者の発生をみている。

X 一般事情

(1) 概況

ナイジェリアはアフリカの中央西海岸にあって、人口は日本の半分強、面積は日本の2.5倍に相当し、政治、経済的にはアフリカ大陸中最も重要な地位を占めている。

赤道はこの国の南にあり、北緯5°から13°の間に位置して非常に暑い国である。

国の形が東西、南北ともほとんど同じ約1,000kmあり、正方形に近い。南はギニア湾に面し、北はサハラ砂漠に接している。したがって、南と北とでは著しく気候が違ふ。

昔は「奴隷の輸出地」であったが、19世紀以降100年余にわたる英国による植民地支配をうけたのち、1960年10月1日、ナイジェリア連邦として独立した。然し、有史以来、他部族の混入、侵入を受けたこと、また1世紀におよび英国の分割統治を受けたことなどにより、全土に言語、文化、宗教を互いに異にする大小248の部族がそれぞれの閉鎖社会を築き上げられており、1960年の独立以来、ナイジェリアの国造りには国民的統一達成のために幾多の難問を抱えている。多部族国家としての悩みは連邦政治に端的に反映されてきた。

「民主主義のショウウィンドー」として期待された議会制度も実際には各部族の利益に直結した諸政党間の権力争いの舞台となり、全国民的政党は育たなかった。腐敗した政争に終止符を打ったのが、1966年1月15日に発生した軍事クーデターである。

1967年5月27日連邦軍事政府が12州連邦制を採用することを決定したことを契機として同年5月30日、イボ族を主体とする旧東部州は「ビアフラ共和国」の名のもとに連邦よりの分離独立を宣言した。連邦軍はこの内乱を制圧するため、7月6日より軍事行動を起こし内戦に突入し、多数の死傷者と大きな犠牲を払った結果、1970年1月によりやく内戦に終止符がうたれた。現在ナイジェリアは真の統一国家造りに邁進している。

ココア、落花生、ヤシ油、ゴムなどの農産品、スズ、チタンなどの鉱産物に恵まれ、ナイジャ河の水力は豊富な電力供給源ともなる。近年ナイジャ河の河口に豊富な油田が開発され、原油の輸出額がこれら農産物の総輸出額を上回るようになってきた。しかし国民の7割以上が農民で農業はこの国の中心産業である。農

家は土地を私有せず土地は部落所有である。移動農法の慣行のためである。

単一産品経済に悩む数多くの諸国の中であって、ナイジェリアのもつ国家規模の巨大さと産品の多様さは将来の経済発展を約束するものである。

(2) 部族、言語、宗教

ナイジェリア人は人類学上ネグロイドに属し、北部の遊牧フラニ族を除けば人種的に一体である。にもかかわらず、言語、宗教、風習を異にする248もの大小部族がそれぞれ閉鎖的社会を形成しており、それら相互のあいだの交流は少ない。人口500万人以上のおもな部族は東部のイボ族（Ibo 約800万人）、西部のヨルバ族（Yoruba 約1,350万人）、北部のハウサ族／フラニ族（Hausa/Fulani 約1,400万人）である。

(a) イボ族

ビアフラ共和国をつくらうとして失敗し、その名は世界中に知れわたっている。イボ族は主として東部に住み、他部族と異なり過去に統一国家をもたないが、相互扶助のための結合は強く、この同族意識は汎イボ主義と称される。東部は元来人口稠密で食糧自給にこと欠きであったため、イボ族はナイジェリアの他の地方、あるいは西アフリカ帯に出稼ぎ、移住を行なった。その際の武器は商業資本力と教育である。同族中より優秀な者を抜擢し、共同で教育費をつぎ込み、同族進出の尖兵として西アフリカ諸方に送り込んだ。教育の普及度はナイジェリア随一であり、半数以上がカトリックを中心としたキリスト教徒である。中堅官僚、軍人、技術者、商人に逸材が多く、内戦前の連邦政府の要職は多くイボ族が占めていた。ナイジェリア大学の関係者は殆んどイボ族である。

(b) ヨルバ族

西部州に含まれる地域はいわゆるヨルバランドである。この地域には黒人だけでつくった都市としてはアフリカ最大の学都イバダン（人口100万）がある。しかし、ヨルバ族の定着発展はラゴス北方200kmのイフェにはじまる。

現在では紀元7世紀にヨルバ族の王国があり、そのイフェ文明はりっぱなものであったことが明らかにされてきている。西部州は穀倉地帯である。ナイジェリア人の主食であるヤムイモ、カサバをはじめバナナ、オレンジが豊かにみどり、海水魚、淡水魚の産も多い。

このことは一生懸命働かなくても生活できるという条件をうみ、ヨルバ族は一般に楽天的である。内戦後は連邦政府の要職や大学の教官はイボ族にかわっ

てヨルバ族出身が多くなった。西部州では回教43%、キリスト教48%でほぼ同数である。

(c) ハウサ族

ハウサ族は商才に富み、ナイジェリア各地はもとよりアフリカの北半分ではいたるところにハウサ商人がみうけられる。アラビア語から転化したハウサ語は商業用語となっており、その使用範囲はひろい。ハウサの歴史についてはこれを征服したフラニ族がその記録を徹底的に破壊したといわれ、口伝以外ほとんど現存していない。サハラ砂漠をこえて13世紀ごろから入ってきた回教の影響を強く受け、現在はその大部分が回教徒となっている。

彼等は長身で北部の日中の強い太陽光線から身を守るため常時白い無地の着物をまとっている。

(d) フラニ族

フラニ族は弱小民族としてハウサの勢力圏内にいたが、19世紀の初期、オスマン王がハウサとの抗争に勝ってから北部ナイジェリアは彼らの支配するところとなり、19世紀末、イギリスの植民地になるまでつづいたが、その後は大部分ハウサ族と混血している。

(3) 教 育

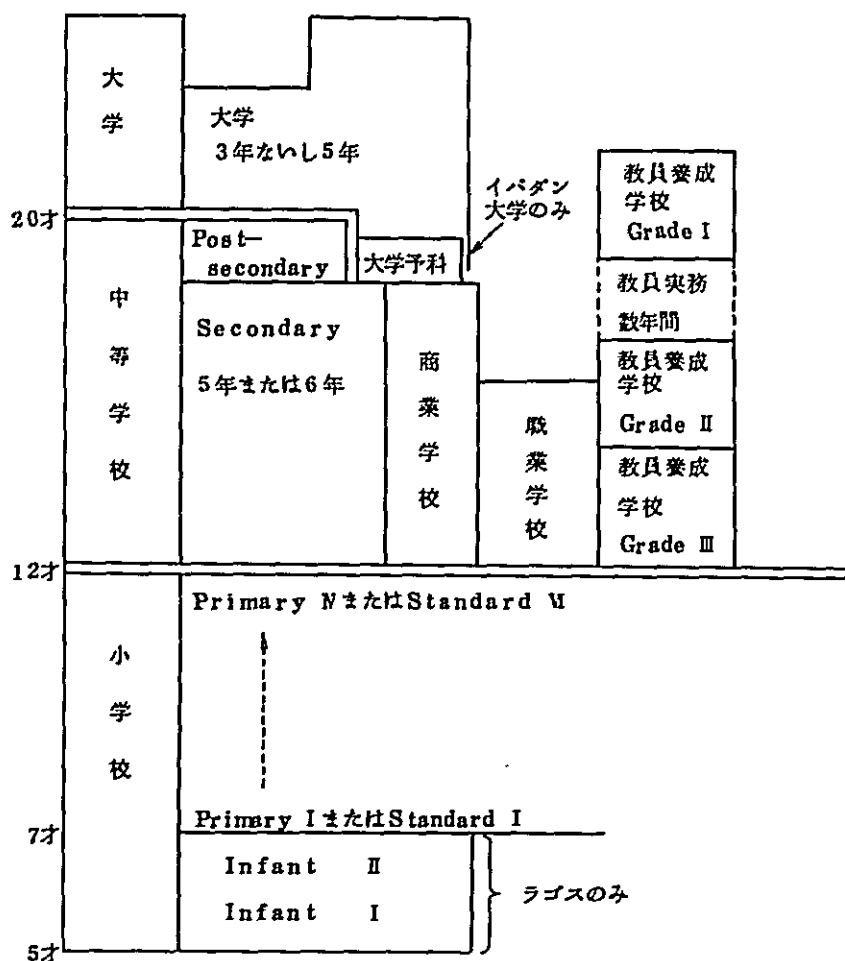
(a) 教育制度

教育は各州では各州政府が、またラゴス州での教育とイバダン、ラゴスの両大学は連邦政府が、それぞれ管轄している。

義務教育制度はない。したがって就学率はずっとも高いラゴスですら25%ぐらいで、北部の諸州にいたっては10%ぐらいである。全国平均は15%程度とみられる。小学校は1960年ごろ以来、当時のラゴス、西部州、中西部州および東部州（東部州では2年生まで）では無償である。（ただし、その後、中西部州では財政困難を理由に授業料を取るようになった）。北部の諸州では授業料は徴集している。

ナイジェリアの学制は小学校6年、中学校通常5年、大学は3ないし5年で、そのほか中学校と同程度の商業学校、職業学校、師範学校がある。

ナイジェリアの学制



ラゴスには infant class (幼稚園に相当) のある小学校もある。大学へは Higher School Certificate 所持者および General Certificate of Education (または West African School Certificate) 所持者のいずれも入学資格がある。

小学校、中学校ともに大部分が私立である(北部の諸州では公立が過半数を占めている)

このほか中学、短期大学(中学卒業後2年)および大学(中学卒業後4年)相当の課程をもつヤバエ科カレッジがある。

(b) 教育の沿革

ナイジェリアの教育制度は英国がナイジェリアを植民地とする前に、キリスト教伝道師の手によって始められた。1842年ウエスリン・メソジスト伝道協会がラゴス西方のパダグリに設立された。これがナイジェリアで初めての教育施設である。その後1800年代に教会の伝道活動の一端として多くの教育施設が設立されたが、これらは、当時の英国政府の政策により、南部の諸地域に限られていた。

その理由は、北部においては回教がすでに根強く浸透していたため、キリスト教伝道は好ましくない(この伝道制限は徐々に緩和されたが)、と考えられたからである。

このため北部の教育は南部にくらべて、おくれをとることになった。

ナイジェリアの北部では回教ミッションの活動がかなり盛んであり、1913年当時すでに1万9,000以上のコーラン学校があり、生徒数も14万3,000人に及んでいた。しかし、これらの学校はコーランの学習を目的としており、回教ミッションが一般教育にのりだしたのは相当あとのことである。現在、キリスト教ミッションや回教ミッションの経営する小、中学校は相当数に上っている。

政府は、教育の普及に熱意をもっており1882年には初の教育法を施行し、1889年にはラゴスに初の国立小学校を設立し、1902年には文部省を設立しているが、自ら学校を設立することはあまりせず、もっぱら私立学校への補助金下付を政策としていた。しかし1944年以降、政府は従来の政策を変更して積極的に教育分野に乗り出すようになった。このような政府の積極策によって近年教育は急速に発展してきたが、それにもかかわらず、たとえばまだ高い文盲率、資格ある教育の不足、校舎の不足、施設の不十分などまだ多く難問をかかえている。

(c) 大 学

ナイジェリアにヤバエ科カレッジを含めて下記の6つの大学がある。

(1) 国立イバダン大学

ナイジェリア最古の大学で、1948年1月、「英国植民地における高等教育に関するエリオット委員会」の勧告により、University College of Ibadan として設立された。開校当初学生数は210人であったが、現在は2,000人を越えている。同大学は当初から英国ロンドン大学から教育内

容につき指導をうけている。

現在6学部あり、それらの学部の下に、41科(うち20科には大学院コースがある)あり、ナイジェリア最大の大学となっている。

これらの学部のほか教育研究所、アフリカ研究所、小児保健研究所、ナイジェリア社会経済研究所および演劇学校がある。また教授など上級職員は現在400人を越えている。

イバダン大学の最初のUniversity Collegeから現在のUniversityに昇格したのは1962年12月29日のイバダン大学設立法によってである。大学には付属病院があり、1957年開設され、現在約500の病床をもっている。

日本との関係としては、この大学には日本が1965年度技術協力計画により寄贈した電子顕微鏡1台があり、東京医科歯科大学より1972年4月迄に4名の専門家が派遣され、一方、カウンターパートとして日本で研修を受けたものを含め7人が一人前の電子顕微鏡学者として出発出来る程度まで研修を終え、2名が技術員として必要な技術を身につけた。

この電子顕微鏡は西アフリカにおける唯一の電子顕微鏡として、ナイジェリア国内の諸大学のみならず、近隣諸国の学者からも利用ないし操作法研修の希望が多く、いわばメッカ的存在となっている。

他の外国の援助も多く、おもなものではロックフェラー財団の15万ポンド、カーネギー財団の4万ポンドなどがある。

(ロ) ラゴス大学

1960年、高等教育委員会(Ashby委員会)は連邦政府に対し、ラゴスに商学、経済学に重点をおく大学を設置すべき旨勧告した。これをうけて連邦政府は1962年、ラゴス大学を設置した。当初は商学、社会学部、法学部、および医学部の3学部で学生数も130人であったが、その後拡張され、現在は10学部(法学、工学、経営学、社会学、人文学、アフリカ、アジア学、数学、物理学、医学および教育学各学部)および2研究所をもち、さらに付属病院をもっている。1967年10月現在の学生数は約1,800人である。

1968年6月の卒業生は150人である。日本との関係としては、1968年3月技術協力計画に基づいて癌早期発見に関する医学指導のため癌研付属病院の部長が来訪し、同時にガストロ・ファイバー・スコープ(胃の中を直接見る装置)および同スコープ用カメラなどの寄贈を行なった。

他の外国からの援助としては、商学、社会学部設立にあたりニューヨーク

大学から援助をうけ、付属病院設立運営にあたっては同大学から援助をうけた。

(ハ) アハマド、ペロ大学

高等教育委員会勧告に基づき、1961年、大学問題評議会代表が北部を視察し報告を提出したが、これに基づき、1962年北部ナイジェリア協会がアハマド、ペロ大学法を制定した。ザリアにあったナイジェリア美術、科学、工科カレッジのザリア分校をそのまま受け継ぎ、1962年大学は発足した。現在9学部(文学、社会学部、理学部、工学部、農学部、獣医学部、法学部、建築学部、行政学部、回教学部)がある。また付属施設として行政研究所(ザリア)、農業研究所(サマル)、アブドラヒ、バイエロ・カレッジ(カノ)がある。

1968年4月の北部州の6分割に伴い同大学は北部6州の共同管理のもとに運営されている。

(ニ) ナイジェリア大学

当時の東部州首相Nnamdi Azikiweの強い意向により1955年、法制上設置されたが、実際の開校は1960年である。main campusは東部中央州のNsukka市にある。

USAIDの斡旋により米国ミシガン大学その他が教授を派遣し協力した。

1966年6月末には11学部(50学科)の大総合大学となったが大量生産的な教育のため学生の質が低いといわれた。

医学部(the Faculty of Medicine)

1967年に設立されたが、同年9月から1970年1月の間内戦のため休校となっておった。1970年初期に再び開校されたが、内戦により建物の一部及び施設の殆どが破壊されたため、目下急ピッチで再建に努めている。

(a) The Pre-Clinical Departments—解剖学、生理学及び生化学

Nsukka campusから約35マイル離れておるEnugu Campusにある。

Enugu市は殆どIbo族から構成されており、人口は約30万である。

(b) The Clinical Departments

Enugu Campusから約3マイル離れているTeaching Hospitalのところにある。

医学部及びTeaching hospitalは東部中央州その他近隣4州余にわたる1,400万人以上の住民の医療に奉仕してゐる。

(c) 医学生数

Enugu Campus に 250人

内訳	① 1st Clinical Year	50人
	② Second pre-Clinical Year	100人
	③ First Pre-Clinical Year	100人

毎年100人の新入学生が入学する。

(d) 教授陣容

- ① 35人余の Full-time senior academic staff
- ② Several Part-time staff

カナダ (The Canadian Universities Service Overseas Organization) から最近生化学部門に有能な講師 (2名) の派遣と必要な機材の供与が行なわれている。

(ホ) イフェ大学

1960年、高等教育委員会が「イバダン大学だけでは不十分である」との報告を行なったが、これをうけて当時の西部州政府は1961年イフェ大学法を制定した。

同大学は1962年に開設されたが、イレ、イフェ市には校舎なく、イバダンにあったナイジェリア美術、科学、工科カレッジをそのまま受け継ぎ使用したが、1967年7月イレ、イフェ市に新校舎の一部が完成し、そこへ移転した。(首都ラゴス市から北東160マイル、車で約5時間30分、イバダンまでは車で1時間30分、イフェ大学キャンパスは24平方マイルの広大な敷地を有している。)

学部

開設当時は農学、文学、経済学、社会学、法学および理学の5学部であったが、その後教育学及び薬学の2学部が設けられ7学部がある。1963年には経営学研究所およびアフリカ研究所が設立された。更に、1970年には医学部が新設されることが決定した。

(1) 医学部新設の主旨

州住民の健康を増進し、州の農村地区と都市地区における疾病と栄養不良を予防するために、Ife大学に医学部 (Faculty of Health Sciences) を新設することになった。したがって、この Faculty of Health Sciences における教育の主眼は、西部州は勿論のこと、ナイジェリア国全

域の農村地区や都市地区で働く Health Team を教育訓練することに置いている。それは、州の健康問題は治療医学よりもむしろ予防医学によって解決しなければならないとの基本的考え方から出発している。

(2) 医学部校舎の建設計画

1973年6月完成を目途に目下建設中である。Block A、B、Dの3つの建物からなり、

- ① Block Aは動物学、植物学、水棲生物学、生態学用教室予定。
- ② Block Bは遺伝学、微生物学用教室予定。
- ③ Block Dだけ3階建て解剖学、生理学用教室予定。

(本報告書掲載写真参照)

なお、Central Teaching Hospital の建物建設についてはイフェ大学等関係者は日本側の援助を強く希望してゐる。

(3) 医学部における教育計画

① Preclinical Course (3年間)

このコースは1972年10月から開始されている。このコースには Preliminary Courseを終了した学生20名と面接試験を合格した40名(高校卒業後、2年間の教育をうけてHigh Certificateを授領したもの達)とが合流して学部のPart Iが始まる。このコースはPart I、II、IIIにわかれており、Basic Medical Sciencesの一般教育。

将来のHealth Teamを訓練する基礎教育の場である。試験合格後、B. S.のDegreeをうけられる。

② Clinical Course (専門別コース):

B. S.のdegreeをうけたものはDoctor CourseとParamedical Courseに分れる。

(a) Doctor Course 3年間

Part I、II、IIIの臨床研修を行なう。これに合格すればBachelor of Medicineのdegreeをうけられる。

このコースの中でDentistの養成も行なう。

(b) Paramedical Course — 2年間

Paramedical Subjectsのいろいろな分野での教育課程のなかで教育される。これに合格すれば、Mastersのdegreeをうけられる。

(4) Training Hospital :

Clinical Course での教育訓練には Ife 大学を中心として半径 53 マイル以内にある州立病院、地域病院、Maternity House, Dispensary などを使って将来の Health Team の基礎をつくる。

(5) Central Teaching Hospital :

将来これを Ife 大学 Campus 内に建設してこれを医療の中心的存在として Health Team の level up につとめる。

(4) ナイジェリアに対するわが国の技術協力実績

(昭和 47 年 3 月 31 日現在)

形態	区分	農水産	建設	鉱工業	運輸	通信	厚生	行政	その他	累計(人)	経 費	
											(千円)	(千米ドル)
	研修員受入	43	8	21	13	19	8	16	8	136	144,099	391
	専門家派遣	12	6	2		12	5	8		45	108,945	345
センター	名称	業務内容					期間	要員数				
	電子工業技術訓練センター	本センターは予備調査のみにて打切った。					37.11			2,874	8	
開発調査	名称	調査内容					期間	要員数				
	漁港建設計画調査	首都ラゴスに漁港を建設して、安価かつ豊富な沿岸魚類を国民に供給する計画に関し、Feasibility Report を作成する。					41.2 41.3	7		13,909	39	
	中小規模工業経済協力調査 (エチオピア 中央アフリカ カメルーン)	エチオピア、ナイジェリア、中央アフリカ、カメルーン4カ国における中小規模工業設立の可能性調査					44.11 44.12	8		11,219	31	
医療協力調査	名称	調査内容					期間	要員数				
	ナイジェリア医療協力基礎調査団	Ife 大学、ナイジェリア大学等に対する基礎医学協力に関する基礎調査					47.2 47.3	3		3,118	10	

	機材名	供与先機関	年度	数量	経費	
					(千円)	(千米ドル)
機材 供与	電子顕微鏡	イバダン大学	40	1台	7,125	20
	測量器具	ヤバ工科大学	43		3,473	10
	農業機械	ムーアプランテーション 連邦農業研究所	44		1,415	4
	土木工学研究機材	ヤバ工科大学	45		3,390	9
	電子顕微鏡用部品	イバダン大学	46		242	1
	土木工学研究機材	ヤバ工科大学	46		575	2

諸外国からの技術協力

実績(1970年)

アメリカ	17,000千ドル
西ドイツ	1,978千ドル
オランダ	1,194千ドル
その他	4,196千ドル

各先進国とも高等教育機関への援助に重点を置いている。

日本の貿易(1970年)

輸出	6,300万ドル	輸入	1,300万ドル
----	----------	----	----------

第2次国家開発計画

- 石油産業の育成と工業化
- マンパワー開発
- 雇用機会の創出

日本の経済協力

- 有償経済協力(円借款)

3千万ドル(日本の役務と生産物の購入)

(金利5.77%返済期間は据置5年で18年間)

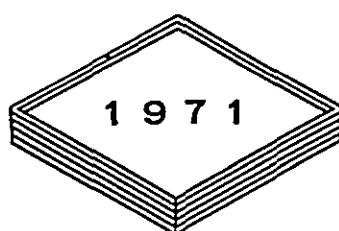
(1966年)

○ 1968年の延払い輸出は繊維機械	836千ドル
1969	362千ドル
1970	2,470千ドル
○ 海外投資	
1969年3月まで繊維工業、亜鉛鉄板製造業等 8件	8,693千ドル

XI 附 資 料

Ministry of Health
Western State of Nigeria

**ANNUAL
STATISTICAL
BULLETIN**



Statistical - Epidemiological
Unit

Permanent Secretary: MR. M.A. ADEMOSU
Controller of Medical Services: DR. A.A. ADESANYA
Chief Health Officer: DR. M.O. EBUN THOMPSON

Ministry of Health,
Statistical & Epidemiological Unit,
P. M. B. 5374,
Ibadan, Western State of Nigeria,

2nd November, 1972.

Our Ref. No. S.45/

The Senior Matron,.....
Ministry of Health,.....
Ibadan,.....

Dear Sir/Madam,

ANNUAL STATISTICAL BULLETIN - 1971

We are very pleased to forward the Annual Statistical Bulletin of the Ministry of Health, Ibadan, Western State of Nigeria, for the year 1971.

We believe that this comprehensive issue which includes more chapters and data than the previous publication, will assist and provide useful information for everybody interested in Public Health work.

It will be very much appreciated if comments or suggestions could be endorsed to us in order to enable us to improve our issues in the future.

SENIOR CONSULTANT (PREVENTIVE MEDICINE)

C O N T E N T S

	<u>Page</u>
<u>INTRODUCTION</u>	52
I. <u>POPULATION</u>	54
1. Estimated Population of Western State of Nigeria, 1931-71	55
2. Population Pyramid (Census 1963)	56
3. Population by Age Group and Sex (Census 1963)	57
4. Population in Western State of Nigeria by Division, 1963 & 1971	58
5. Population Density by Health District and Administrative Divisions	59
II. <u>REGISTRATION OF BIRTHS AND DEATHS</u>	60
1. Population and Estimated Number of Births and Deaths in Western State of Nigeria, 1971	61
2. Births Registration in Western State of Nigeria - 1971	62
3. Deaths Registration in Western State of Nigeria - 1971	63
4. Deaths Registration according to Age Group - 1971	64
III. <u>COMMUNICABLE DISEASES</u>	66
1. <u>Quarantinable and Communicable Diseases</u>	
- Cases and Deaths from 1966 - 1971	68
- Cases and Deaths by Provinces, 1971	70
- Reported Communicable Diseases and Causes of Deaths, 1971	72
2. <u>Leprosy</u>	
- New Cases of Leprosy diagnosed 1965 - 1971	73

	Page
- Treatment of Leprosy Cases during 1971	73
- New Cases of Leprosy diagnosed, 1971	74
3. <u>Yaws</u>	
- Yaws Control in Western State of Nigeria from 1965 - 1971	76
- Yaws Control in Western State of Nigeria - 1971	76
4. <u>Tuberculosis</u>	78
- Treatment of Tuberculosis in Western State of Nigeria by Health District, 1971	79
5. <u>Malaria</u>	80
- Parasitological Survey in Western State of Nigeria, 1971 by Malaria Control Unit	81
6. <u>Cholera</u>	82
- Cases and Deaths Reported in Western State of Nigeria by Health District, 1971	83
- Cases and Deaths Reported - January - June, 1971	84
- Cases and Deaths Reported - July - December, 1971 ...	85
IV. <u>IMMUNIZATION</u>	88
1. <u>Smallpox</u>	
- Smallpox Vaccination in Western State of Nigeria from 1965 - 1971	89
- Smallpox Vaccination in Western State of Nigeria, 1971	90
2. <u>B.C.G.</u>	91
- BCG Vaccination Campaign in Western State of Nigeria, 1966 - 1971	93

	Page
- BCG Vaccination by Age Group in Western State of Nigeria from 1966 - 1971 (Coverage in Percentage of Eligible Population)	94
- BCG Vaccination by Division, coverage in percentage of eligible population in Western State of Nigeria, 1971	96
- BCG Vaccination by Health District, 1971	97
- BCG Vaccination in Western State of Nigeria, 1971	98
3. <u>Measles</u>	
- Measles Vaccination in Western State of Nigeria, 1970 - 1971	101
4. <u>Triple Antigen and Polio</u>	
- Triple Antigen and Polio Vaccination in M.C.W.C., Hospitals and R.H.C. in Western State of Nigeria, 1971	102
V. <u>MEDICAL AND HEALTH INSTITUTIONS</u>	103
1. Medical Institutions by Ownership	104
2. Hospitals in Western State of Nigeria by Division and Ownership, 1971	105
3. Hospitals in Western State by Division, Type & Ownership, 1971	106
4. Distribution of Hospital and Maternity-beds in Western State of Nigeria, per 10,000 population, 1971	107
5. U.C.H. Departments and Beds, 1971	108
6. Infectious Diseases Hospitals (Isolation Units), and Leprosy Settlements, 1971	109
7. Basic Health Services Institutions (M.C.W.C., Dispensaries and R.H.C.), 1971	110

	Page
8. Health Offices in Western State by Division, 1971	111
VI. <u>ACTIVITIES IN MEDICAL INSTITUTIONS</u>	
<u>Hospital Activities</u>	114
1. Morbidity and Mortality, 1971	116
2. In-patients and Out-patients, 1971	117
3. Activities in Hospitals, 1971	119
4. Civil Lunatics in Western State Mental Hospitals, 1971.....	121
<u>Maternal and Child Welfare Activities</u>	
- Births and Deaths in M.C.W.C., etc.	122
- Ante-natal, Post-natal and Deliveries	123
- Child Welfare Activities	124
<u>Dental Centres Activities</u>	
- Number of Patients Treated in Western State Dental Centres by Type of Treatment, 1961 - 1971	127
VII. <u>PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENTAL SANITATION</u>	128
1. Water Supply and Refuse Disposal, 1971	129
2. Housing in Western State of Nigeria, 1971	131
3. Animals Slaughtered for Food in Western State of Nigeria, 1971	132
VIII. <u>MEDICAL AND PUBLIC HEALTH STAFF</u>	133
1. Medical Staff in Western State of Nigeria by Rank, 1966 - 1971	134
in all Hospitals in Western State of Nigeria, 1971	135

	Page
- in University College Hospital, 1971	136
- in Dispensaries and Maternity Centres (L.G.)..	137
- Population per Doctor in the Western State of Nigeria by Division, 1972	138
2. <u>Public Health Staff</u>	
- Health Staff in Western State of Nigeria by Division, 1971	142
- Distribution of Public Health Staff in Western State of Nigeria by Division, 1971	143
3. <u>Training of Health Auxiliary Staff</u>	
- Public Health Staff Trained in School of Hygiene and H. A. T. S., Ibadan, 1971	144
- Medical Staff Trained in U.C.H., Ibadan, 1971	145
- Medical Staff Trained in Western State of Nigeria, 1971	145
IX. <u>EXPENDITURE ON MEDICAL AND HEALTH SERVICES</u>	146
1. Recurrent Expenditure on Medical and Health Services 1956 - 1971	147
2. Expenditure - L.G. Authorities on Medical and Health Services	148
3. Expenditure by Type of Government and per Head, 1956 - 1971	149
4. Total and Health Expenditure 1968/69 - 1972/73	150
5. Estimated Expenditure - Ministry of Health, 1970 - 1973 ...	150

LIST OF DIAGRAMS

	<u>Page</u>
1. Population Pyramid (Census 1963)	56
2. Population by Age Group and Sex	57
3. Registered Births and Deaths Compared with Estimated	65
4. New Cases of Leprosy Diagnosed in Western State of Nigeria, 1965 - 1971	75
5. Trend of Yaws Detection in Western State of Nigeria, 1969 - 1971..	77
6. Reported Cases of Cholera in Western State of Nigeria, 1971 (Map)..	86
7. Reported Cases of Cholera in Western State of Nigeria, 1971 (Graph)..	87
8. B.C.G. Vaccination in Western State of Nigeria, 1966 - 1971	99
9. B.C.G. Vaccination in Western State of Nigeria Coverage in Percentage of Eligible Population, 1971	100
10. Ownership of Medical Institutions, 1971	112
11. Beds in Hospitals and Maternity Centres in Western State of Nigeria, 1971	113
12. 10 Leading Groups of Diseases and Causes of Deaths among Admission in Hospitals in Western State of Nigeria, 1971.....	118
13. Maternal and Child Welfare	125
14. Births in M.C.W.C. Compared with Registered Births	126
15. Water Supply and Refuse Disposal	130
16. Estimated Population compared with Number of Doctors in Western State of Nigeria, 1971	139
17. Distributions of Doctors in Western State of Nigeria by Division, 1971	140
18. All types of Medical Staff in Western State by Division, 1971	141

I N T R O D U C T I O N

As in the past the fourth Annual Bulletin of the Ministry of Health, Western State was prepared in collaboration with the Statistical Unit of the Ministry of Economic Planning and Reconstruction. There has been a delay in publishing consequent on the shortage of staff, funds, and equipment in the Unit.

As we go to press, there is every possibility of having the Statistical Unit being grouped under the Epidemiological Unit as a section pending future developments.

Data collection did not prove easy throughout the year. Those who know the value most were the greatest defaulters. We hope that a cadre of statistical assistants and medical record clerks will be made available by the Ministry in the near future in order to be able to feed it with reliable data for planning and evaluation purposes. It is now very urgent for the hospitals to have Medical Records Departments while Rural and Urban Health Centres should act as the central collecting points with the Statistical Unit as the processing centre.

As in the past the lay out has been in the following pattern:

1. Population
2. Registration of Births and Deaths
3. Communicable Diseases
4. Immunization
5. Medical and Health Institutions
6. Activities in Medical Institutions
7. Public Health and Environmental Sanitation
8. Medical and Public Health Staff
9. Expenditure on Medical and Health Services.

Again we shall be very grateful for the useful criticisms, corrections and suggestions in order to bring the Bulletin to ever higher standards.

The Unit has been lucky to obtain WHO assistance in the secondment of Dr. S. A. Orzeszyna, Institute of Social Medicine, Medical Academy ŁODZ, Poland as WHO Statistical Adviser.

We are grateful to Dr. (Mrs.) O. A. Adelaja, Messrs A. O. Shomoye (recently returned from WIIO fellowship in Health Statistics in the University of Dar-Es-Salaam), Oguntunmibi and other staff members especially Mr. Garuba our indefatigable typist, who worked under hard conditions to get this publication out as early as possible.

DR. M. O. EBUN THOMPSON
Senior Consultant (Prev. Medicine),
Ministry of Health, Ibadan,
Western State.

MR. J. A. AJAYI
Statistician,
Ministry of Econ. Planning
& Reconstruction, Ibadan,
Western State.

DR. S. A. ORZESZYNA
WHO (Statistical Adviser).

P O P U L A T I O N

In the present publication an annual natural increase of 2.5% is used as is done in the Ministry of Economic Planning and Reconstruction (Statistical Division).

The following topics are dealt with:

1. Population trends from 1931 to 1971 (Table 1.1)
2. Population on Divisional Basis (Table 1.3)
3. Population density by Health Districts and Administrative Divisions (Table 1.4)
4. Population Pyramid.

The estimated population in 1971 (based on 2.5% annual natural increase) was 11.6 million. There is every hope that the 1973 national census will correct lot of misconception about population in the country in general and the State in Particular. This will allow for proper planning and projection of estimates of facilities required.

In table 1.2 the comparison between 1963 census population and 1971 estimated population is shown. The considerable rate of increase of population as related to the growth of facilities dictates that quick step be taken to correct the disparity, though this is not an usual situation in a developing country. In 1963 the population was 9.5 million while in 1971 the estimated population was 11.6 million.

Recently population densities in various health districts were used by the Ministry (among other factors) to determine requirements of facilities for health work. Table 1.3 shows population density by Health Districts and Administrative Divisions. For the whole State the average population density was 406 persons per square mile. The total surface area of the State is 28,500 square miles. Again Ibadan City with a population of 0.76 million has the highest population density among the administrative divisions at a rate of 7,300 persons per square mile. It is followed by Oshun Central (1,600 person per square mile) and Oshun North East Division (1,500 persons per square mile).

ESTIMATED POPULATION OF WESTERN STATE
OF NIGERIA 1931 - 1971 (IN THOUSAND)

Table

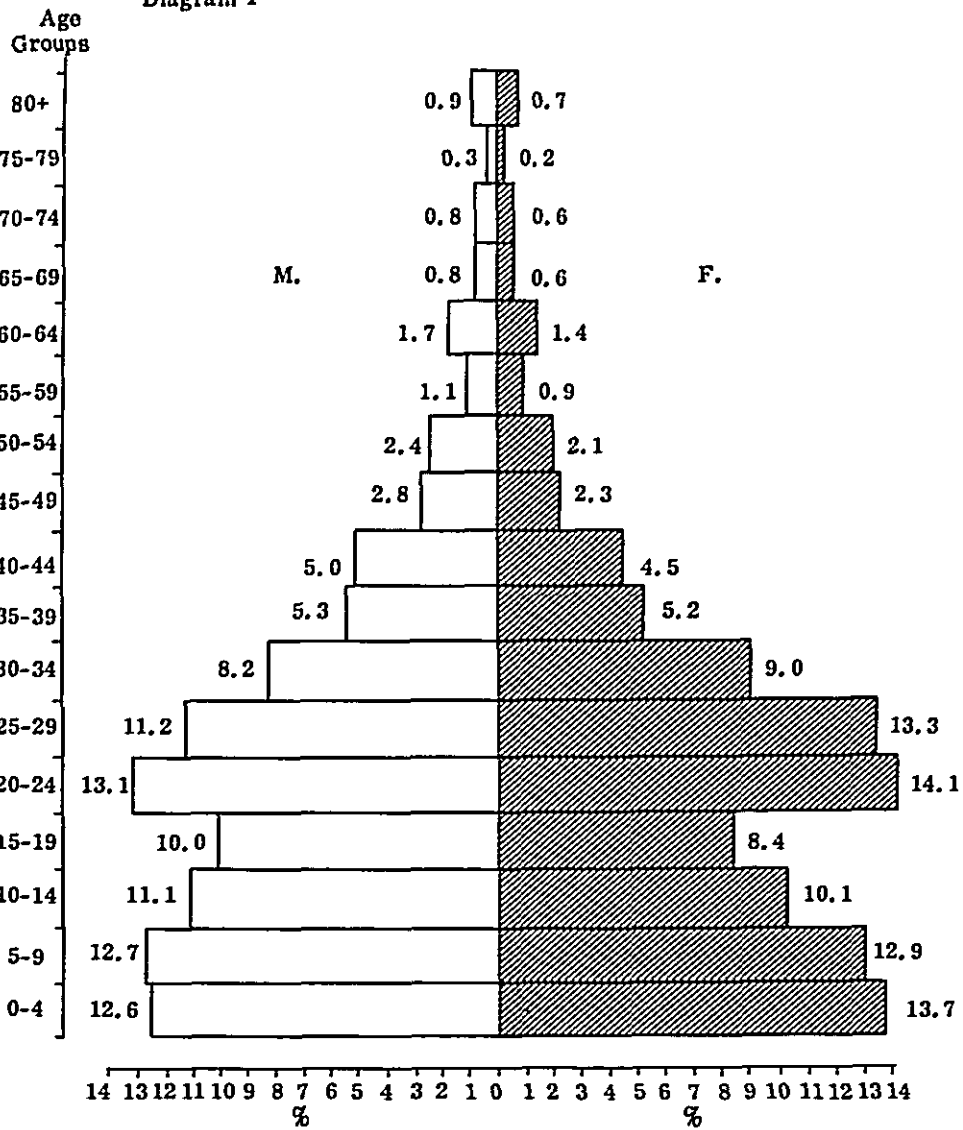
MID-YEAR	ESTIMATED POPULATION	INCREASE OVER PREVIOUS YEARS
1931	2,743	-
1951	4,505	1,762
1952*	4,357	-
1953	4,446	89
1954	4,533	87
1955	4,623	90
1956	4,717	94
1957	4,811	94
1958	4,907	96
1959	5,006	99
1960	5,107	101
1961	5,207	100
1962	5,312	105
1963*	9,488	4,176
1964	9,678	190
1965	9,872	194
1966	10,068	197
1967	10,269	200
1968	10,474	205
1969	10,662	209
1970	10,876	214
1971	11,560	684

Source: Nigeria Population Census Reports, 1952/53 and 1963.

- Notes: * 1. Actual Population Census Figures
2. Estimated Figures were computed on an assumption of 2 percent per annum rate of increase since 1952.
3. Figures from 1952 - 1971 exclude those of the former Colony Province of Western Nigeria, now part of the Lagos State.

POPULATION PYRAMID
WESTERN STATE OF NIGERIA
(Census 1963)

Diagram 1

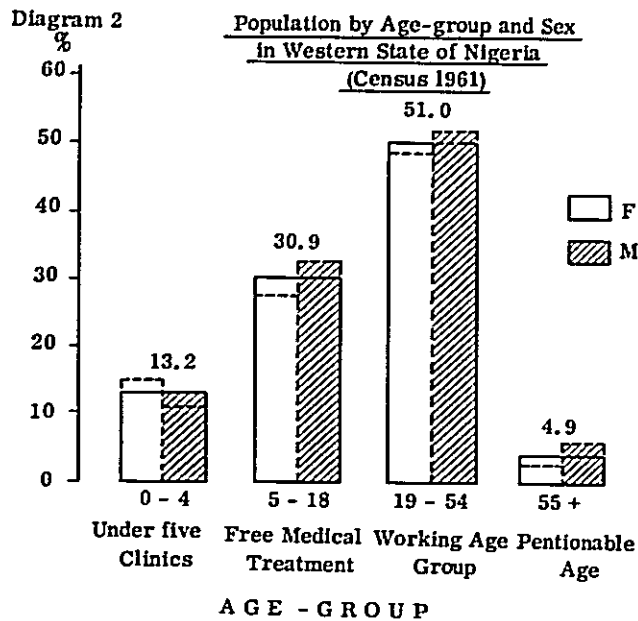


**POPULATION BY AGE GROUP AND SEX IN
WESTERN STATE OF NIGERIA (CENSUS 1963)**

Table I. 2

Age-Groups	Number			Percent of Total Population
	Male	Female	Total	
0 - 1	223,916	231,206	455,122	4.4
2 - 4	443,817	355,661	899,478	8.8
5 - 9	661,771	642,380	1,304,151	12.7
10 - 14	577,123	497,502	1,074,625	10.5
15 - 18	438,566	347,552	786,118	7.7
19 - 24	782,535	773,652	1,556,187	15.1
25 - 44	1,581,025	1,605,624	3,186,649	31.0
45 - 54	277,760	224,986	502,746	4.9
55 +	281,818	218,954	500,772	4.9
T o t a l	5,268,331	4,997,517	10,265,848	100.0

Note: Figures include old Colony Province.



POPULATION IN WESTERN STATE OF NIGERIA BY DIVISION
(Census 1963 and Estimation 1971)

Table I. 3

D I V I S I O N S	POPULATION Census 1963	ESTIMATED POPULATION AT THE END OF 1971
EGBA	629,565	767,064
EGBADO	345,321	420,740
EKITI CENTRAL	351,283	428,005
" NORTH	216,158	263,368
" SOUTH	344,120	419,278
" WEST	529,363	644,977
OKITIPUPA	275,709	335,925
AKURE	276,311	339,095
ONDO	258,063	314,425
AKOKO	284,819	347,024
O W O	189,847	231,310
IBADAN CITY	627,379	764,399
IBADAN LESS CITY	514,298	626,621
IBARAPA	116,948	142,490
OSHUN CENTRAL	590,589	719,575
" NORTH EAST	551,817	672,333
" NORTH WEST	455,574	555,072
" SOUTH	608,518	741,419
I F E	376,718	458,995
ILESHA NORTH	177,428	216,180
" SOUTH	304,292	370,749
O Y O NORTH	412,491	502,579
" SOUTH	472,832	576,100
IJEBU	420,355	512,163
IJEBU-REMO	155,725	189,735
T O T A L	9,487,523	11,559,621

**POPULATION DENSITY OF WESTERN STATE OF NIGERIA
BY MEDICAL DISTRICTS & ADMINISTRATIVE DIVISIONS 1971**

Table 1.4

MEDICAL DISTRICTS AND ADMINISTRATIVE DIVISIONS	ESTIMATED POPULATION AT THE END OF 1971	AREA IN SQ. MILES	POPULATION DENSITY (PERSONS PER SQ. MILE)
EGBA	767,064	2,059	373
EGBADO	420,740	2,068	204
ABEOKUTA DISTRICT	1,187,804	4,127	288
EKITI CENTRAL	428,005	501	854
" NORTH	263,368	679	388
" SOUTH	419,278	329	1,274
" WEST	644,977	546	1,181
EKITI DISTRICT	1,755,628	2,055	854
OKITIPUPA	335,925	1,615	208
AKURE	339,095	1,027	330
ONDO	314,425	1,692	186
AKOKO	347,024	730	475
O W O	231,310	1,033	224
ONDO DISTRICT	1,567,779	6,097	257
IBADAN CITY	764,399	105	7,280
" LESS CITY	626,621	1,096	572
IBARAPA	142,490	1,191	120
IBADAN DISTRICT	1,533,510	2,392	641
OSHUN CENTRAL	719,575	462	1,558
" NORTH EAST	672,333	447	1,504
" NORTH WEST	555,072	701	792
" SOUTH	741,419	757	979
OSHUN DISTRICT	2,688,399	2,367	1,136
I F E	458,995	596	770
IJESHA NORTH	216,180	382	566
" SOUTH	370,749	463	801
IFE-IJESHA DISTRICT	1,045,924	1,441	726
O Y O NORTH	502,579	4,513	111
" SOUTH	576,100	3,249	177
O Y O DISTRICT	1,078,679	7,762	139
IJEBU	512,163	1,827	280
IJEBU-REMO	189,735	382	497
IJEBU DISTRICT	701,898	2,209	318
T O T A L WESTERN STATE	11,559,621	28,450	406

REGISTRATION OF BIRTHS AND DEATHS

Out of the 25 administrative divisions only 7 divisions have not opted for the adoptive bye-laws on Births and Deaths Registration.

Table II.1 shows the 1963 census population, 1971 estimated population, estimated number of births and deaths. In a population of 11.6 million about 0.46 million births were estimated while 0.23 million deaths were estimated. The estimated births and deaths were put at 45 per 1000 population and 20 per 1000 population respectively.

Comparison by the Estimated births with the actually registered births showed a rate of 7.7% for the whole State. About 0.46 million births were expected to be registered but 0.036 million were registered all over the State (see diagram 3). However the comparative figures in the divisions showed Ijebu with 21.2%, Remo with 19.9%, Ibadan City 18%, Ife with 17.4%.

Institutional deliveries all over State accounted for about 74,000 births but only 36,000 were registered. That is much less than 50% of the children delivery institutionally.

In the whole State, estimated deaths were 230,000 while actually reported deaths were 3,800 i.e. 1.7% of estimated deaths. The highest figure was obtained from Remo Division where 1 in 4 deaths were registered. There were no registration in Ekiti South, Ekiti West, Okitipupa, Ibadan (Less City) Ibarapa, Oshun Central and Ijesha South Divisions.

By age groups, 10 - 14 years was 19.4%, 15 - 49 years was 29.1% while 50+ years age group was 51.3%.

POPULATION AND ESTIMATED NUMBER OF BIRTHS
AND DEATHS IN WESTERN STATE OF NIGERIA, 1971

Table II.1

D I V I S I O N S	Population Census 1963	Estimated Population 1971	Estimated No. of Births 1971	Estimated No. of Deaths 1971
E G B A	629,565	767,064	34,518	15,341
EGBADO	345,321	420,740	18,933	8,415
EKITI CENTRAL	351,283	428,005	19,260	8,560
" NORTH	216,158	263,368	11,852	5,267
" SOUTH	344,120	419,278	18,868	8,385
" WEST	529,363	644,977	29,024	12,899
OKITIPUPA	275,709	335,925	15,117	6,718
AKURE	278,311	339,095	15,259	6,782
ONDO	258,063	314,425	14,149	6,288
AKOKO	284,819	347,024	15,616	6,945
O W O	189,847	231,310	10,409	4,626
IBADAN CITY	627,379	764,399	34,398	15,288
" LESS CITY	514,298	626,621	28,198	12,532
IBARAPA	116,948	142,490	6,412	2,850
OSHUN CENTRAL	590,589	719,575	32,381	14,391
" NORTH EAST	551,817	672,333	30,255	13,496
" NORTH WEST	455,574	555,072	24,978	11,101
" SOUTH	608,518	741,419	33,364	14,828
I F E	376,718	458,995	20,655	9,180
IJESHA NORTH	177,428	216,180	9,728	4,323
" SOUTH	304,292	370,749	16,664	7,415
O Y O NORTH	412,491	502,579	22,616	10,051
" SOUTH	472,832	576,100	25,925	11,522
IJEBU	420,355	512,163	23,047	10,243
REMO	155,725	189,735	8,538	3,794
T O T A L	9,487,523	11,559,621	520,184	231,192

BIRTH REGISTRATION IN WESTERN STATE OF NIGERIA
BY DIVISION - 1971

Table II. 2

DIVISION	Estimated No. of Births	Registered No. of Births	% of registered upon estimated
E G B A	34,518	4,718	13.7
EGBADO	18,933	2,098	11.1
EKITI CENTRAL	19,260	472	2.5
" NORTH	11,852	1,608	13.6
" SOUTH	18,868	1,132	5.9
" WEST*	29,024	67	0.2
OKITIPUPA	15,117	56	0.4
AKURE*	15,259	153	1.0
ONDO	14,149	2,048	14.5
AKOKO	15,616	968	6.2
O W O	10,409	1,099	10.6
IBADAN CITY	34,398	5,516	16.0
" LESS CITY	28,198	196	0.7
IBARAPA*	6,412	325	5.1
OSHUN CENTRAL	32,381	264	0.8
" NORTH EAST	30,255	1,534	5.1
" NORTH WEST	24,978	2,039	8.2
" SOUTH	33,364	912	2.7
I F E	20,655	3,192	15.5
IJESHA NORTH	9,728	562	5.8
" SOUTH	16,684	-	-
O Y O NORTH	22,616	556	2.5
" SOUTH	25,925	340	1.3
IJEBU	23,047	4,347	18.9
REMO*	8,538	1,508	17.7
T O T A L	520,184	35,710	6.9

* Incomplete data received.

DEATHS REGISTRATION - WESTERN STATE OF NIGERIA
BY DIVISION 1971

Table II.3

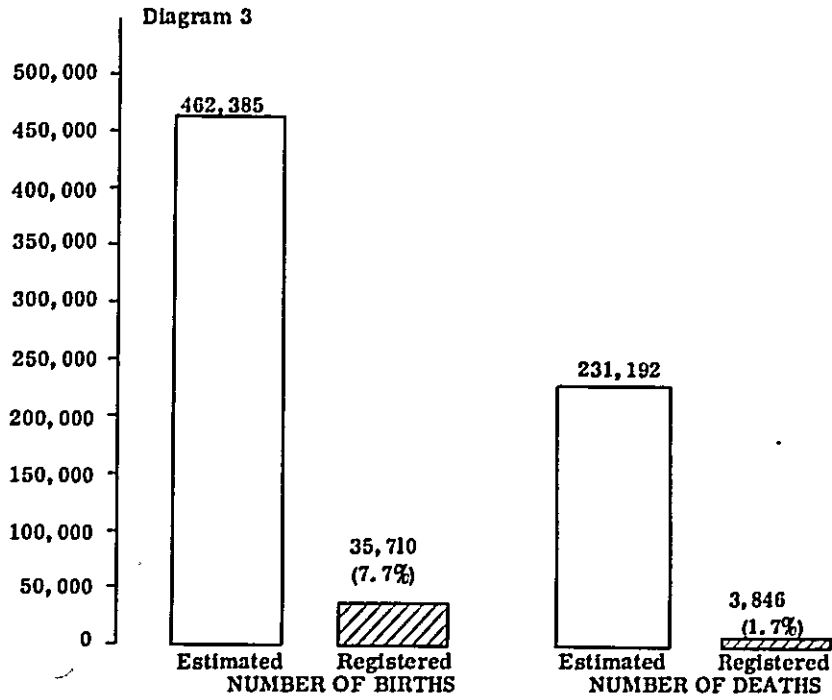
D I V I S I O N	Estimated No. of Deaths	Registered No. of Deaths	% of registered upon estimated
E G B A	15,341	170	1.1
EGBADO	8,415	209	2.5
EKITI CENTRAL	8,560	4	0.04
" NORTH	5,267	1	0.02
" SOUTH	8,385	-	-
" WEST	12,899	-	-
OKITIPUPA	6,718	-	-
AKURE	6,782	14	0.2
ONDO	6,288	1	0.02
AKOKO	6,945	13	0.19
O W O	4,626	9	0.19
IBADAN CITY	15,288	71	0.5
IBADAN LESS CITY	12,532	-	-
IBARAPA	2,850	-	-
OSHUN CENTRAL	14,391	-	-
" NORTH EAST	13,496	1	0.01
" NORTH WEST	11,101	730	6.6
" SOUTH	14,828	5	0.03
I F E	9,180	84	0.9
ILESHA NORTH	4,323	18	0.4
" SOUTH	7,415	-	-
O Y O NORTH	10,051	18	0.18
" SOUTH	11,522	1	0.01
IJEBU	10,243	1,546	15.1
REMO	3,794	951	25.1
T O T A L	231,192	3,846	1.7

NUMBER OF REGISTERED DEATHS DURING 1971
WESTERN STATE OF NIGERIA

Table II.4

D I V I S I O N	0 - 14		15 - 49		50 & Over		Total		ALL
	M	F	M	F	M	F	M	F	
E G B A	4	1	36	21	56	52	96	74	170
EGBADO	-	2	34	25	95	53	129	80	209
EKITI CENTRAL	2	2	-	-	-	-	2	2	4
" NORTH	-	1	-	-	-	-	-	1	1
" SOUTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-
" WEST	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OKITIPUPA	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AKURE	-	-	1	-	6	7	7	7	14
ONDO	-	-	-	-	1	-	1	-	1
AKOKO	10	3	-	-	-	-	10	3	13
O W O	1	5	-	2	-	1	1	8	9
IBADAN CITY	4	1	25	4	31	6	60	11	71
" LESS CITY	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IBARAPA	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OSHUN CENTRAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-
" NORTH EAST	-	-	-	-	1	-	1	-	1
" NORTH WEST	47	41	143	140	198	161	388	342	730
" SOUTH	-	-	-	-	3	2	3	2	5
I F E	16	16	14	9	16	13	46	38	84
IJESHA NORTH	-	-	9	8	1	-	10	8	18
" SOUTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O Y O NORTH	-	1	16	-	1	-	17	1	18
" SOUTH	-	1	-	-	-	-	-	1	1
IJEBU	152	162	223	182	382	445	757	789	1546
REMO	160	114	133	103	197	244	490	461	951
T O T A L	396	350	634	491	988	984	2018	1818	3846

REGISTERED BIRTHS AND DEATHS COMPARED WITH
ESTIMATED, WESTERN STATE, 1971



COMMUNICABLE DISEASES

The reporting system remains the same.

Table III.1 details the reported cases of communicable diseases by year from 1966 to 1971. The lowest number of communicable diseases reported was in 1967 as shown below:

Year	Estimated Population in million	Reported Cases of CD	Reported Deaths	CFR
1966	10.0	101,000	140	0.14%
1967	10.3	65,300	150	0.23%
1968	10.5	122,000	230	0.19%
1969	10.7	149,300	190	0.13%
1970	10.9	135,000	260	0.19%
1971	11.6	115,400	826	0.72%

The figure for reported cases of communicable diseases for 1971 was accounted mostly by cholera cases which numbered 14,000, and there were about 600 cholera deaths.

In Table III.2 according to Provinces reported cases of communicable diseases were as follows:

<u>Province</u>	<u>Cases</u>	<u>Deaths</u>
Abeokuta	22,000	140
Ibadan	41,000	370
Ijebu	16,600	60
Ondo	33,160	220
Oyo	16,850	40

Ibadan reported the highest figures because of the greater number and better standard of available facilities.

Table III.3 details the commonly reported communicable diseases. Malaria, Dysentery, Cholera and Measles accounted for over 10,000 each Malaria being 60,000, about 50% of all reported cases were due to these diseases.

Among causes of death cholera was responsible for 74% while Tetanus, Pneumonia, Measles and Malaria were responsible for about 22% deaths.

Table III.4 reflects the Leprosy reported cases from 1965 to 1971 (about 2,300 new cases). The number of new cases does not seem to reflect the true picture. The defaulting rate was much higher than in the previous years.

Tables III. (7 & 8) show the activities in relation to yaws control. There was a sudden increase of discovered cases over last year. About 244,000 people were examined and 2,450 had active yaws with 590 being infectious. Thus given an infection rate of 24 infectious case per 10,000 population examined. There was considerable increase of the number of detected cases in Okitipupa (43%) Ijebu water side (31.5%), Egbado (29.4%) and Ekiti Division (27.2%) during the year.

Diagram 5 depicts the situation over the last three years from 1969 to 1971. And it could be observed that there is sharp increase in the infectious rates especially in 1971.

**QUARANTINABLE AND COMMUNICABLE DISEASES NOTIFIED IN
WESTERN STATE OF NIGERIA FROM 1966 - 1971**

Table III.1

QUARANTINABLE DISEASES		Y E A R					
		1966	1967	1968	1969	1970	1971
Smallpox	C	244	246	44	39	1	
	D	17	7	7	3	-	
Others (Cholera)	S	-	-	-	-	-	14,158
	C	-	-	5	1	-	1,721
	D	-	-	-	-	-	612
COMMUNICABLE DISEASES							
Amoebic Dysentery	C	1,774	366	275	1,493	823	189
	D	1	-	-	-	1	-
Bacillary Dysentery	C	1,927	891	2,039	3,312	1,691	465
	D	4	1	-	2	-	-
Unclassified Dysentery	C	13,327	8,479	14,564	20,761	20,864	20,831
	D	18	3	5	9	11	-
Pneumonia	C	3,756	2,142	4,841	5,718	5,066	3,596
	D	13	52	39	38	64	47
Tuberculosis	C	3,114	1,969	3,101	3,670	3,571	2,890
	D	1	1	7	2	9	28
Tetanus	C	402	263	446	636	601	468
	D	25	19	49	66	60	58
Leprosy	C	36	61	95	65	78	62
	D	-	-	3	-	1	-
Ophthalmia Neonatorum	C	201	74	81	140	379	26
	D	-	-	-	-	2	-
Gonorrhoea	C	1,006	370	940	1,473	1,255	943
	D	-	-	-	-	-	-
Syphilis	C	83	48	64	87	108	89
	D	-	-	-	2	-	-
Trachoma	C	11	-	4	57	24	18
	D	-	-	-	-	-	-
Malaria	C	55,600	33,207	77,979	94,694	81,278	63,529
	D	5	3	20	31	63	26
Filariasis	C	1,157	892	1,442	1,138	1,111	1,472
	D	-	-	-	-	-	-
Onchocerciasis	C	16	57	9	13	148	16
	D	-	-	-	-	-	-
Schistosomiasis Vesical	C	254	117	233	115	102	51
	D	-	-	-	-	-	-
Schistosomiasis Intestinal	C	123	102	64	194	69	37
	D	-	-	-	-	-	-
Schistosomiasis Unclassified	C	560	693	611	1,018	626	350
	D	-	-	-	-	-	-
Sleeping Sickness	C	2	1	-	-	22	5
	D	-	-	-	-	-	-
Cerebro Spinal Meningitis	C	22	25	29	20	95	47
	D	3	2	2	3	1	6
Influenza	C	-	-	-	344	39	26
	D	-	-	-	-	-	-
Acute Poliomyelitis	C	137	60	91	45	13	17
	D	-	-	-	-	-	-
Anthrax (Human)	C	-	-	-	2	-	-
	D	-	-	-	-	-	-

Chicken Pox	C	835	2,139	1,595	1,317	1,782	3,194
	D	1	1	2	1	-	-
Diphtheria	C	40	27	149	1	-	-
	D	-	-	4	-	-	-
Measles	C	12,649	9,437	6,809	9,007	12,450	11,838
	D	28	71	83	24	41	40
Rabies (Human)	C	8	-	3	10	5	-
	D	2	-	-	3	4	-
Typhoid and Paratyphoid	C	94	26	92	35	128	90
	D	9	-	3	4	3	2
Whooping Cough	C	3,048	3,391	6,215	3,580	2,104	3,045
	D	2	9	3	-	4	3
Infectious Yaws	C	243	116	112	177	130	89
	D	-	-	-	-	-	-
Infective Hepatitis	C	120	164	168	177	270	157
	D	4	2	4	-	-	-
Food-Poisoning	C	19	2	7	5	1	1
	D	3	-	-	-	-	-
T O T A L	S						14,158
	C	100,838	65,365	122,387	149,327	134,655	115,419
	D	136	151	231	188	264	826

NOTE: S = SUSPECTED, C = CASES, D = DEATHS

**QUARANTINABLE AND COMMUNICABLE DISEASES NOTIFIED IN
WESTERN STATE OF NIGERIA, 1971**

Table III.2

QUARANTINABLE DISEASES		PROVINCES					TOTAL
		ABEOKUTA	IBADAN	IJEBU	ONDO	OYO	
Smallpox	C	-	-	-	-	-	-
	D	-	-	-	-	-	-
Others (Cholera)	S	2,067	7,969	1,567	1,733	822	14,159
	C	3	1,537	101	5	75	1,721
	D	134	315	42	100	21	612
COMMUNICABLE DISEASES							
Amoebic Dysentery	C	-	25	12	78	76	189
	D	-	-	-	-	-	-
Bacillary Dysentery	C	60	123	11	51	237	485
	D	-	-	-	-	-	-
Unclassified Dysentery	C	2,306	6,737	1,883	7,818	2,087	20,831
	D	-	-	-	-	-	-
Pneumonia	C	490	1,082	563	709	752	3,596
	D	-	12	4	28	3	47
Tuberculosis	C	233	1,616	115	605	321	2,890
	D	-	10	2	12	2	26
Tetanus	C	66	143	34	141	81	468
	D	-	19	7	22	10	58
Leprosy	C	1	9	-	46	6	62
	D	-	-	-	-	-	-
Ophthalmia Neonatorum	C	21	44	46	1	14	126
	D	-	-	-	-	-	-
Gonorrhoea	C	43	536	79	163	162	983
	D	-	-	-	-	-	-
Syphilis	C	-	68	-	-	-	68
	D	-	-	-	-	-	-
Trachoma	C	-	9	-	-	7	16
	D	-	-	-	-	-	-
Malaria	C	15,520	16,346	9,699	13,515	8,449	63,529
	D	-	7	2	16	1	26
Filariasis	C	83	656	60	434	239	1,472
	D	-	-	-	-	-	-
Onchocerciasis	C	-	14	-	-	2	16
	D	-	-	-	-	-	-
Schistosomiasis Vesical	C	-	51	-	-	-	51
	D	-	-	-	-	-	-
Schistosomiasis Intestinal	C	1	9	-	-	27	37
	D	-	-	-	-	-	-
Schistosomiasis Unclassified	C	55	216	8	3	69	350
	D	-	-	-	-	-	-
Sleeping Sickness	C	5	-	-	-	-	5
	D	-	-	-	-	-	-
Cerebro spinal Meningitis	C	5	20	2	1	19	47
	D	1	1	-	1	3	6
Influenza	C	-	4	22	-	-	26
	D	-	-	-	-	-	-
Acute Poliomyelitis	C	5	2	6	3	1	17
	D	-	-	-	-	-	-
Anthrax (Human)	C	-	-	-	-	-	-
	D	-	-	-	-	-	-

Chicken Pox	C	49	759	184	944	1,258	3,194
	D	-	-	-	-	-	-
Diphtheria	C	-	-	-	-	-	-
	D	-	-	-	-	-	-
Measles	C	742	2,058	1,768	4,706	1,964	11,838
	D	1	7	4	33	1	46
Itables (Human)	C	-	-	-	-	-	-
	D	-	-	-	-	-	-
Typhoid and Paratyphoid	C	3	14	-	1	72	90
	D	-	-	-	-	2	2
Whooping Cough	C	146	313	357	2,149	80	3,045
	D	-	1	-	2	-	3
Infectious Yaws	C	33	3	38	9	6	89
	D	-	-	-	-	-	-
Infective Hepatitis	C	35	55	-	44	23	157
	D	-	-	-	-	-	-
Food Poisoning	C	-	-	-	1	-	1
	D	-	-	-	-	-	-
T O T A L	S	2,067	7,969	1,567	1,733	822	14,158
	C	21,972	41,038	16,555	33,161	16,851	129,577
	D	136	372	61	214	43	826

NOTE: S = Suspected, C = Cases, D = Deaths.

REPORTED COMMUNICABLE DISEASES AND CAUSES OF DEATHS IN WESTERN STATE OF NIGERIA - 1971

Table III. 3

Rank	Diseases	Number	%	Rank	Deaths	Number	%
1.	Malaria	63,529	49.0	1.	Cholera	612	74.0
2.	Unclassified Dysentery	20,831	16.1	2.	Tetanus	58	7.0
3.	Cholera	15,879	12.3	3.	Pneumonia	57	5.7
4.	Measles	11,838	9.0	4.	Measles	46	5.6
5.	Pneumonia	3,596	2.8	5.	Malaria	26	3.2
6.	Chicken-pox	3,194	2.5	6.	Tuberculosis	26	3.2
7.	Whooping-Cough	3,045	2.4	7.	Cerebrospinal Meningitis	6	0.7
8.	Tuberculosis	2,890	2.2	8.	Whooping-Cough	3	0.4
9.	Filariasis	1,472	1.1	9.	Typhoid & Paratyphoid	2	0.2
10.	Gonorrhoea	983	0.8	10.			
11.	Bacillary Dysentery	485	0.4	11.			
12.	Others	1,835	1.4	12.			
TOTAL		129,577	100.0	TOTAL		826	100.0

NEW CASES OF LEPROSY DIAGNOSED
IN WESTERN STATE OF NIGERIA 1965 - 1971

Table III.4

YEAR	CHILDREN				ADULTS				GRAND TOTAL
	Lepro.	Tuber.	Uncharac.	Total	Lepro.	Tuber.	Uncharac.	Total	
1965	5	35	4	44	69	440	21	530	574
1966	5	30	4	39	50	313	23	386	425
1967	4	20	2	26	55	342	14	411	437
1968	2	21	2	25	29	201	30	260	285
1969	1	26	-	27	22	161	7	190	217
1970	1	19	-	20	23	132	10	165	185
1971	-	13	1	14	23	159	4	186	200
TOTAL	18	164	13	195	271	1,748	109	2,128	2,323

TREATMENT OF LEPROSY CASES DURING 1971
IN WESTERN STATE OF NIGERIA

Table III.5

	MALE	FEMALE	TOTAL
Number of Patients at beginning of Year	1,814	1,211	3,025
New cases diagnosed during the Year	120	80	200
Discharged, Symptom free	84	40	124
Defaulters deleted	76	39	115
Re-admissions	41	16	57
Deaths notified	24	7	31
Number of Patients at end of Year	1,791	1,221	3,012

Number of Treatment Centres 130 (There were 133 Treatment Centres at end of 1st Quarter by end of 4th Quarter 3 have been closed down)

Number of Segregation Villages 4

NEW CASES OF LEPROSY DIAGNOSED IN WESTERN STATE
OF NIGERIA DURING 1971

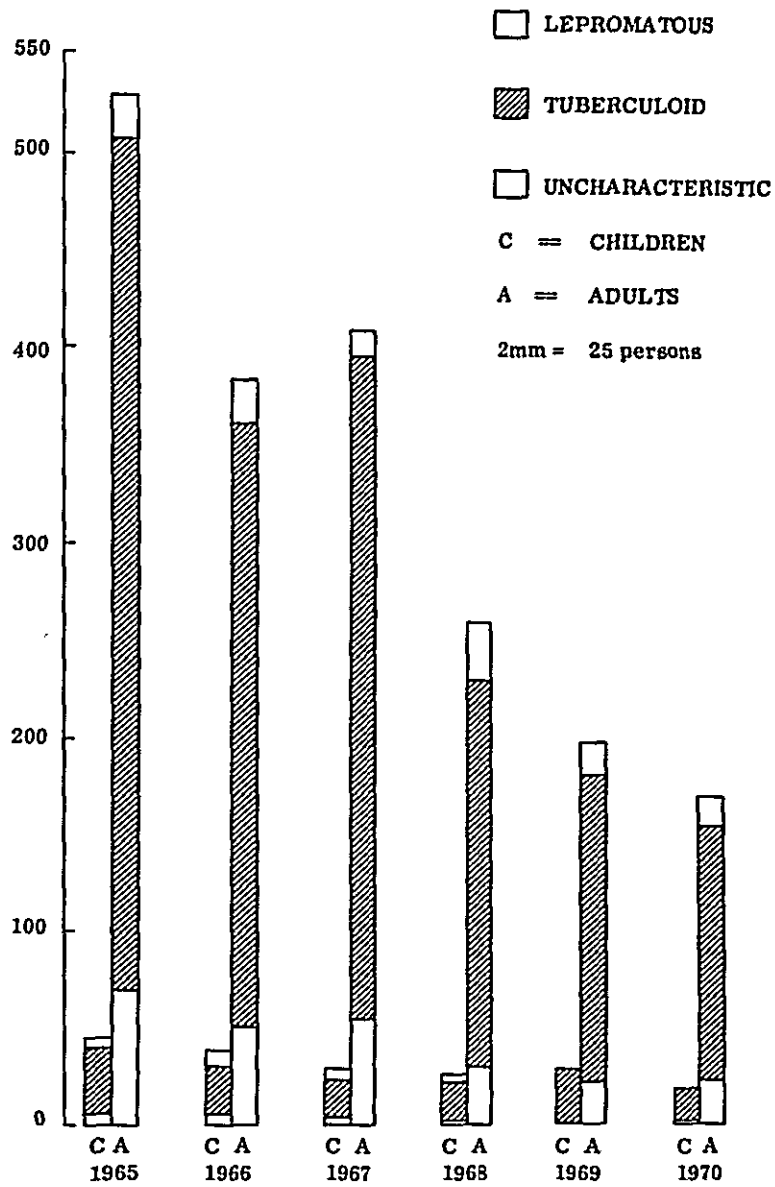
Table III.6

A G E	SEX	LEPROMATOUS	TUBERCULOID	UNCHARAC- TERISTIC	TOTAL
CHILDREN	M	-	8	-	8
	F	-	5	1	6
	Total	-	13	1	14
ADULT	M	18	91	3	112
	F	5	68	1	74
	Total	23	159	4	186
TOTAL	M	18	99	3	120
	F	5	73	2	80
	Grand Total	23	172	5	200

Does not include Baptist Leprosy Control Area.

NEW CASES OF LEPROSY DIAGNOSED
IN WESTERN STATE 1965 to 1971

Diagram 4



YAWS CONTROL IN WESTERN STATE OF NIGERIA
FROM 1965 - 1971

Table III. 7

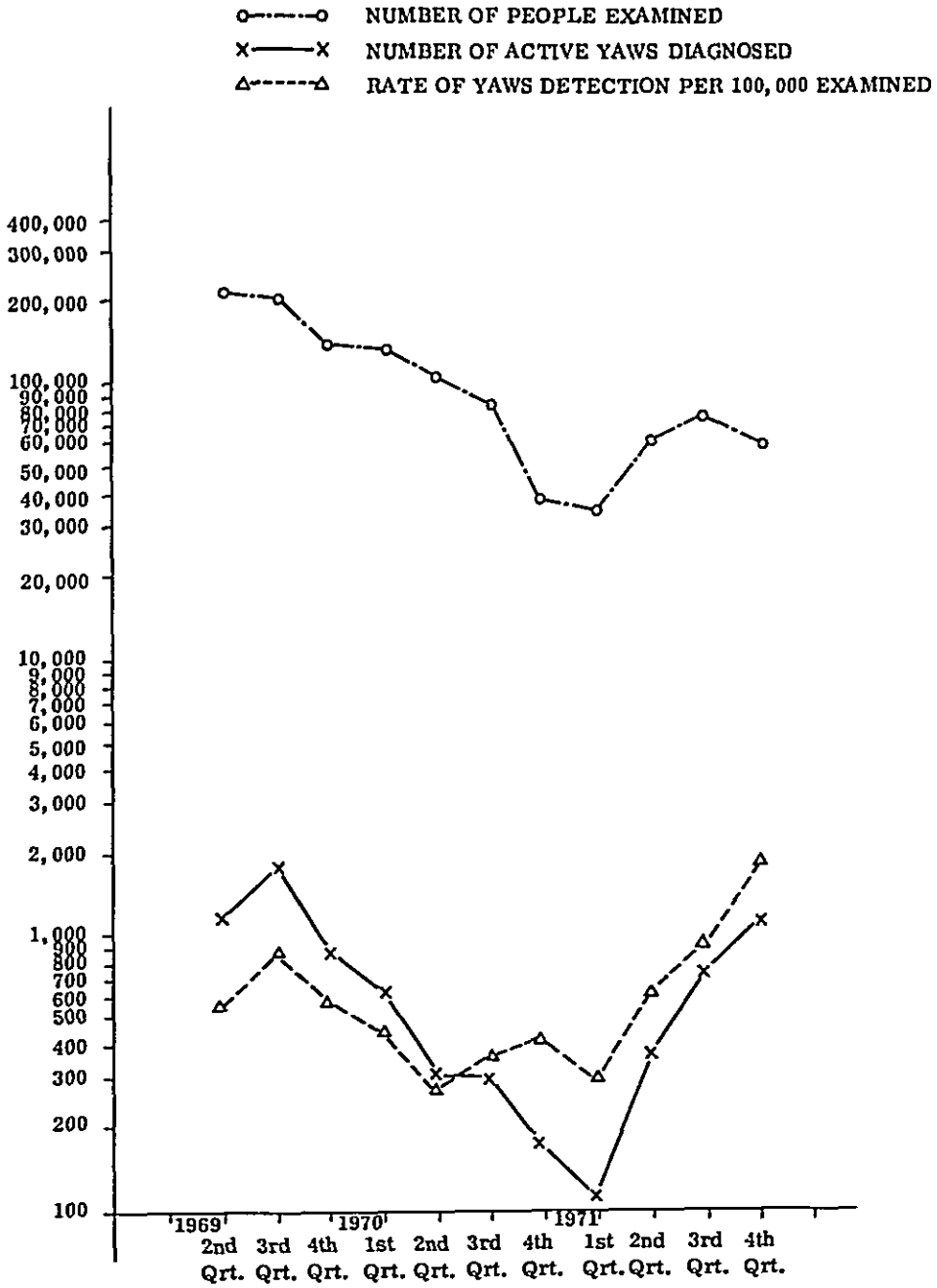
YEAR	Total No. Examined	Active Yaws	Contacts and Latents	Others
1965	905,670	9,163	64,059	3,967
1966	1,182,480	6,603	70,563	3,776
1967	874,329	3,483	13,917	4,089
1968	931,612	4,571	17,560	19,958
1969	757,492	5,492	11,302	5,750
1970	1,000,894	1,485	4,309	2,754
1971	243,647	2,445	8,866	1,215

YAWS CONTROL IN WESTERN STATE OF NIGERIA - 1971

Table III. 8

DIVISIONS	Total Examined	ACTIVE YAWS					Contacts and Latents	Others
		Total	Inf.	%	Hyper	Late		
EGBADO	120,699	473	139	29.4	177	157	2,843	1,197
IJEBU	5,552	89	28	31.5	26	35	197	-
EKITI	25,558	180	49	27.2	59	72	433	-
ONDO	24,676	387	64	16.5	227	96	948	-
O W O	8,548	110	17	15.4	45	48	183	-
OKITIPUPA	14,238	633	277	43.0	233	123	2,187	-
I F E	19,013	135	1	0.7	109	25	39	-
IJESHA	24,363	438	15	3.4	245	178	1,901	-
GRAND TOTAL	242,647	2,445	590	24.1	1,121	734	8,731	1,197

**DIAGRAM 5 TREND OF YAWS DETECTION IN WESTERN STATE OF NIGERIA
1969 - 1971 by Quarters**



TUBERCULOSIS

The control of tuberculosis continued on the basis of direct BCG vaccination, case finding and treatment. The reporting and registration systems remains the same.

In 1971 there were 2,765 new cases discovered. As usual about 50% were dealt with in Ibadan Chest Clinic. The lowest figure of 106 was found in Ekiti Health District. The table below shows the tuberculosis infection Rate (Incidence) by Health District in 1971.

Health District	Estimated Population in million	New Cases	Infection Rate per 100,000	
			1970	1971
Abeokuta	1.20	209	20.7	17.4
Ondo	1.60	408	22.3	25.5
Ekiti	1.80	90	38.0	5.0
Ibadan	1.50	1,374	130.3	91.6
Oshun	2.70	188	52.0	7.0
Ife/Ilesha	1.10	197	14.0	17.9
Oyo	1.10	133	69.0	12.1
Ijebu	0.70	166	16.2	23.7
TOTAL	11.6	2,765	26.85	23.84

As usual more cases are picked by the areas where there are laboratory facilities.

Table III.9 shows the treatment of Tuberculosis in the State by Health District. There were 5,060 cases on the register at the end of 1970 while 2,765 cases were discovered during 1971. About 1,740 cases were defaulters while 441 resumed treatment.

There were 3,185 smear examined microscopically.

TREATMENT OF TUBERCULOSIS IN WESTERN STATE OF NIGERIA DURING 1971
BY MEDICAL DISTRICTS

Table III.9

MEDICAL DISTRICTS	Number of centres	TREATMENT						FOLLOW-UP					
		NUMBER OF PERSONS						NUMBER OF					
		Under treatment at the end of previous year	Started treatment	Who during the year	Returned treatment or were transferred from other at/ag.	Interrupted treatment or died or transferred to other at/ag.	Completed full treatment period	Under treatment at the end of present year	Default from drug collections at the end of present year	Home visits to defaulters	Other measures of default control	Smears for direct microscopy	Examinations undertaken
ABOKUTA	1	370	209	48	341	74	209	177	604	673	149	-	-
EKITI	2	186	90	21	16	-	201	36	119	26	39	-	-
AKURE	3	593	406	87	239	110	738	110	243	167	402	-	-
IBADAN	1	3,132	1,374	105	680	981	3,050	345	355	725	1,701	-	-
OSUN	2	259	188	64	219	37	255	91	48	311	151	-	-
IFE/ILESHA	2	281	197	67	170	66	270	48	142	211	219	-	-
OYO	1	145	133	19	19	63	225	122	257	278	362	-	-
LEBU-ODE	2	205	166	53	142	60	202	112	574	195	162	-	-
TOTAL	14	5,060	2,765	441	1,735	1,381	6,150	943	2,342	2,586	3,185	-	-

MALARIA CONTROL

The Malaria control unit lost its Medical Officer due to resignation but a new junior staff was trained to carry on as best as possible. Local Council staff were trained in malaria control methods.

A parasitological survey was carried out in the Ibadan Forest area, among children 8 to 10 years old. About 13,000 children were examined. There was a parasite rate of 19.7 so that one among every five children were infected. There were 86.1% with *P. falciparum* parasites 19.9 with *P. malaria* and 0.1 with *P. Ovale*. The infection rate was highest during the second term in school from April to June 1972 (see Table III.10).

It is proposed to train one Health staff from each of the 25 administrative divisions and it is hoped that the Local Government Councils will set aside funds for malaria control measures.

PARASITOLOGICAL SURVEY (MALARIA PROJECT) IN WESTERN
STATE OF NIGERIA, FIRST, SECOND AND THIRD QUARTERS,
1971

Table II.10

T E R M S	AGE - GROUPS	NUMBER OF SLIDES		Parasit rate %	PARASIT. SPECIES		
		Examined	Positive		P. Falciparum	P. Malariae	P. Ovale
FIRST	C H I L D R E N (8 - 10 years) F	8, 834	1, 521	17.2	1, 298	333	1
SECOND	C H I L D R E N (8 - 10 years) F	2, 612	660	25.3	632	32	1
THIRD	C H I L D R E N (8 - 10 years) F	1, 735	411	23.6	402	11	0
	T O T A L F	13, 181	2, 592	19.7	2, 332	376	2
	Parasite Species Formula %				86.1	19.9	0.07

F = Forest Area, IBADAN.

CHOLERA

The epidemic outbreak in 1971 was reported in the previous years Bulletin.

Table III.11 shows that about 14,000 suspected cases were reported i.e. an infection rate of 123 per 100,000 population. About 1,700 cases were bacteriologically confirmed (i.e. one in eight suspected cases). Deaths accounted for about 600 with a case fatality rate of 4.3% in the whole state. Ibadan Health District reported 7,000 cases (i.e. 50% of the State total) Abeokuta reported about 2,000 suspected cases, Ijebu Health District reported about 1,600 suspected cases while Ekiti reported 1,400 suspected cases. The lowest figure were from Oyo Health District with about 300 suspected cases.

Table III.12 shows the situation from January to June 1971 while Table III.13 recounts the situation from July to December 1971 by Health Districts on month to month basis; diagram 6 shows the situation pictorially.

REPORTED CASES OF CHOLERA IN WESTERN STATE, 1971
BY HEALTH DISTRICT

Table III.11

Health Districts	Estimated population 1971	Suspected cases		Confirmed cases		Deaths	
		Number	per 10,000 population	Number	per 100 suspected	Number	per 100 suspected cases
Abeokuta	1,187,804	2,067	17.4	3	0.2	134	6.5
Ondo	1,567,779	370	2.4	5	1.4	47	12.7
Ekiti	1,755,628	1,363	7.8	-	-	53	3.9
Ibadan	1,533,510	6,981	45.5	1,330	19.1	265	3.8
Oshun	2,688,399	988	3.7	207	21.0	50	5.1
Ife-Ilesha	1,045,924	519	5.0	75	14.5	17	3.3
Oyo	1,078,679	303	2.9	-	-	4	1.3
Ijebu	701,898	1,567	22.3	101	6.4	42	2.7
TOTAL	11,550,621	14,158	12.3	1,721	12.2	612	4.3

REPORTED CASES OF CHOLERA IN WESTERN STATE, 1971
BY MONTHS AND HEALTH DISTRICT
JANUARY TO JUNE

Table III. 12

HEALTH DISTRICTS	JANUARY			FEBRUARY			MARCH			APRIL			MAY			JUNE			TOTAL		
	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D
ABEOKUTA	20	3	-	180	-	25	508	-	23	324	-	16	195	-	4	75	-	2	1,302	3	70
ONDO	44	-	8	50	-	10	15	-	5	39	5	6	66	-	9	70	-	4	290	5	42
EKITI	-	-	-	1	-	-	5	-	-	27	-	-	166	-	33	385	-	6	584	-	39
IBADAN	-	122	0	2,969	405	130	1,258	291	15	414	76	12	280	-	6	97	-	2	5,018	894	171
OSHUN	2	-	-	3	1	-	172	101	18	459	73	16	159	5	8	67	5	5	862	185	47
IFE/LESIA	3	4	1	1	6	2	38	9	8	55	41	-	133	16	4	108	-	-	338	75	15
OYO	-	-	-	58	-	-	128	-	4	61	-	-	8	-	-	-	-	-	255	-	4
IJEBU	165	5	20	346	51	-	325	16	9	137	6	4	112	3	2	56	13	-	1,141	94	35
TOTAL	234	134	35	3,614	462	167	2,449	417	82	1,516	201	54	1,119	24	66	858	18	19	9,790	1,256	423

REPORTED CASES OF CHOLERA IN WESTERN STATE, 1971
BY MONTHS AND HEALTH DISTRICT
JULY TO DECEMBER

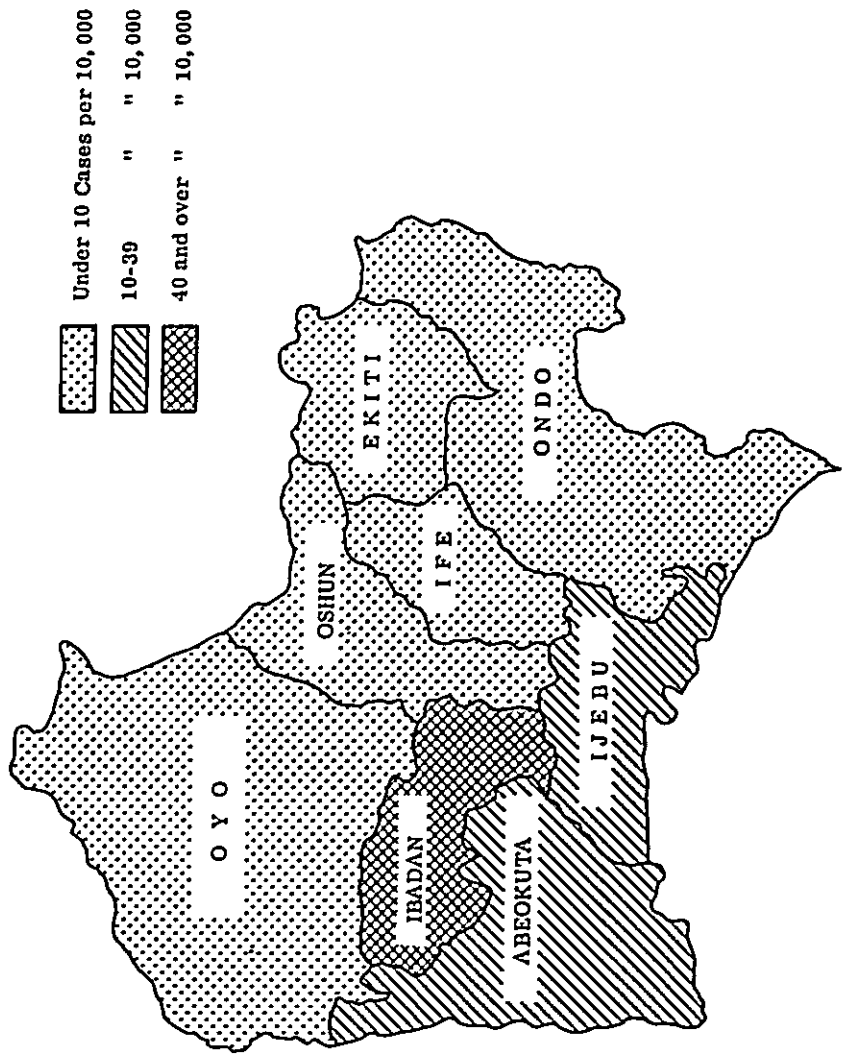
Table III.13

HEALTH DISTRICTS	JULY			AUGUST			SEPTEMBER			OCTOBER			NOVEMBER			DECEMBER			TOTAL		
	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D	S	C	D
ABEOKUTA	67	-	2	93	-	7	56	-	2	216	-	20	147	-	13	186	-	20	765	-	64
ONDO	68	-	3	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	10	-	-	80	-	5
EKITI	169	-	2	250	-	6	168	-	5	124	-	1	39	-	-	39	-	-	779	-	14
IBADAN	162	27	4	201	35	14	345	123	27	548	143	23	368	72	12	289	36	14	1,963	436	94
OSHUN	50	-	-	13	-	-	23	-	-	20	16	3	14	3	-	6	3	-	126	22	3
IFE/ILESI	96	-	2	18	-	-	5	-	-	13	-	-	12	-	-	37	-	-	181	-	2
OYO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	4	-	-	48	-	-
IJEBU	123	4	5	65	-	-	35	-	-	76	1	1	42	2	1	85	-	-	426	7	7
TOTAL	725	31	18	701	35	28	623	123	35	997	160	48	666	77	26	656	39	34	4,368	465	189

Notes: S = Suspected, C = Confirmed, D = Deaths

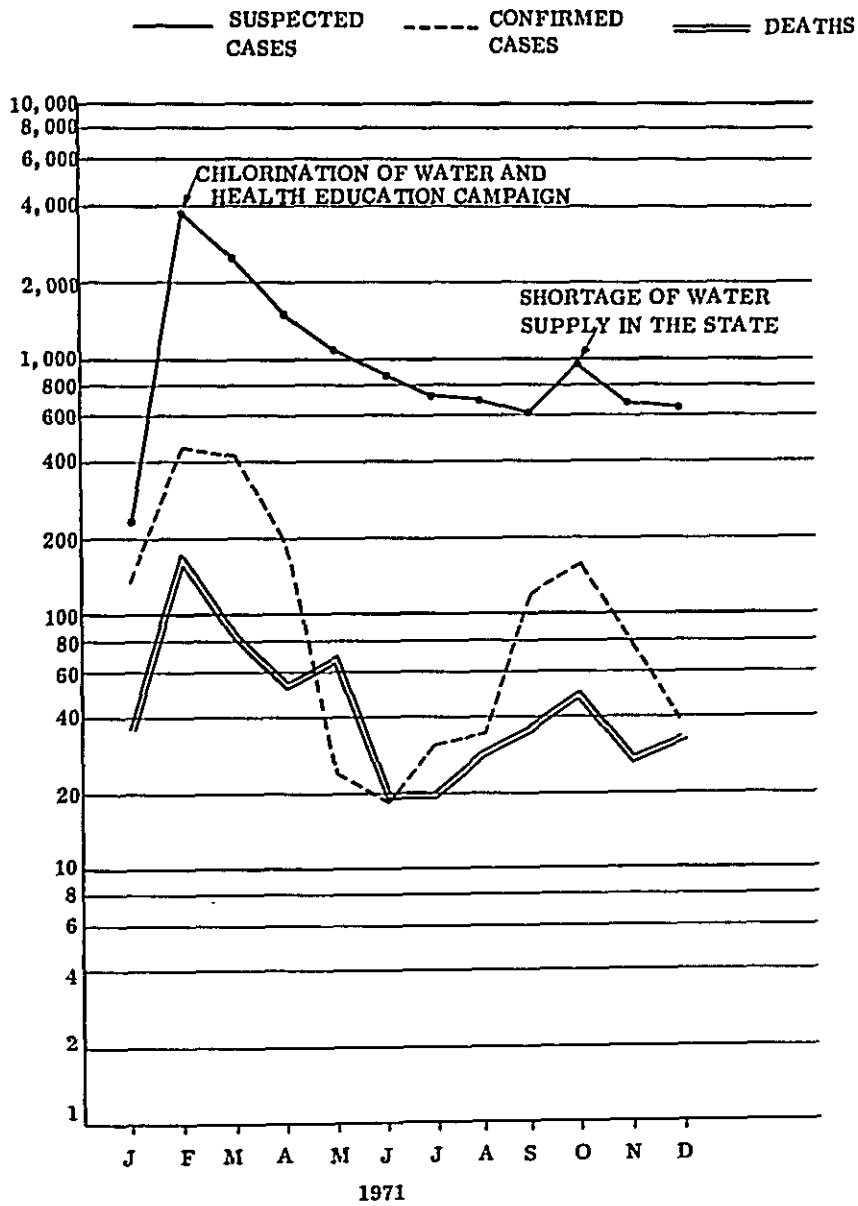
REPORTED CASES OF CHOLERA IN WESTERN STATE, 1971
BY HEALTH DISTRICT, RATES PER 10,000 POPULATION

Diagram 6



REPORTED CASES OF CHOLERA IN WESTERN STATE, 1971

Diagram 7



IMMUNIZATION

Immunization in the State is carried out by various agencies which include State Government, Voluntary Agencies like Mission Hospital and Private entrepreneur. In the State, static and mobile units are made use of.

SMALLPOX

During the year 1.2 million Smallpox vaccinations were performed. This is almost about 1/2 (58.3%) of the number vaccinated last year. Attention was concentrated more on measles control.

Table IV.1 shows the trend of smallpox vaccination over the last 6 years (1965 - 1971). The greatest number of vaccination were given in 1968 during the state wide mass campaign.

Table IV.2 shows the vaccination figures by divisions. The table below shows the number of smallpox vaccinations by Health District.

Health District	Estimated population in million	Number of Vaccinations	Coverage in %
Abeokuta	1.2	144,575	12.1
Ekiti	2.1	121,140	5.8
Ondo	1.2	277,445	23.1
Ibadan	1.5	140,442	9.4
Oshun	2.7	180,981	6.7
Ife/Ilesha	1.1	56,793	5.2
Oyo	1.1	185,843	16.9
Ijebu	0.7	74,337	10.6

Coverage of population by Health District shows that Ondo was able to reach 1 in 5 while Ife/Ilesha was able to reach 1 in 20 of the population. The average coverage for the whole state was about 10.4%. Every year the number of people that should be vaccinated is 4 million. The estimated number of pre-school children was

SMALLPOX VACCINATION IN WESTERN STATE OF NIGERIA
FROM 1965 - 1971

Table IV.1

Y E A R	Medical Field Units	Maternal and Child Welfare Centre and Save the Children Fund	Health Offices and Medical Field Units	T O T A L
1 9 6 5	-	36,402	1,834,798	1,871,200
1 9 6 6	-	36,332	1,556,974	1,593,306
1 9 6 7	3,057,972	29,340	1,219,907	4,307,219
1 9 6 8	9,563,020	27,750	955,157	10,545,936
1 9 6 9	1,865,268	71,391	716,032	2,652,691
1 9 7 0	-	35,776	2,022,118	2,057,894
1 9 7 1	435,712	18,867	435,712	1,201,556

SMALLPOX VACCINATION IN WESTERN STATE
OF NIGERIA - 1971

Table IV. 2

	Number of Vaccinations			
	Health Offices	MCWC	Medical Field Unit	
E G B A	42,064	1,018	37,935	81,017
EGBADO	37,286	1,074	25,198	63,558
EKITI CENTRAL	10,666	901	33,364	44,931
" NORTH	6,776	426	-	7,202
" SOUTH	4,090	-	-	4,090
" WEST	7,532	303	-	7,835
OKITIPUPA	9,835	-	32,571	42,406
AKURE	25,119	104	103,301	128,524
ONDO	3,936	109	48,262	52,307
AKOKO	36,203	-	20,879	57,082
O W O	28,281	-	25,927	54,208
IBADAN CITY	33,496	3,207	96,675	133,318
" LESS CITY	-	-	-	-
IBARAPA	7,115	9	-	7,124
OSHUN CENTRAL	6,370	879	34,752	42,001
" NORTH EAST	9,826	4,772	-	14,598
" NORTH WEST	15,874	1,512	14,652	32,038
" SOUTH	24,436	97	77,811	102,344
I F E	2,451	231	3,040	5,722
IJESHA NORTH	1,052	1,350	-	2,402
" SOUTH	19,378	658	14,416	34,452
O Y O NORTH	62,178	302	-	62,480
" SOUTH	9,322	535	123,506	133,363
IJEBU	20,525	1,106	23,798	45,429
IJEBU-REMO	11,901	274	16,733	28,908
Voluntary Agency				14,217
T O T A L	435,712	18,867	732,760	1,201,556

BCG VACCINATION

Table IV.3 shows the situation from year to year by the place of vaccination. Only 147,187 vaccinations were carried out with a resultant continuous decline from year 1967. The integrated teams had more vaccinations carried out than in the maternal and child welfare centres.

Table IV.4 shows BCG vaccination by age group from 1966 to 1971. The highest figure was rendered in 1967. There is a steady number of vaccinations in 0 - 1 year age group. The highest coverage was in 1971 when 24.7 of the population at risk were vaccinated (24.7%). Following up the estimated cohorts Table IV.4a shows the coverage by year and age groups.

Table IV.5 shows BCG vaccination by Division and coverage while, Table IV.6 shows vaccination according to Health Districts. On divisional bases Table IV.7 shows vaccination carried out by type of programme and division.

Diagram 6 shows the vaccination of Western State by division and coverage.

Measles control continues in the State. The total number of vaccinations were 87,000 in 1971 as against 257,000 in 1970. (That is 34% of the previous year.) By Health District we have the following figures:

Health District	Measles Vaccination
Abeokuta	5,973
Ekiti	6,618
Ondo	20,468
Ibadan	11,191
Oshun	17,777
Ife/Ilesha	3,969
Oyo	20,699
Ijebu	406

Triple antigen and polio immunization continued at the Static units especially the maternal and child welfare centres. The usual three doses of triple antigen were given but there was the usual fall from 1st to 3rd doses with the result that the number of children who received the third dose were about half of those who received the first dose, as shown by the following figure, 36,000, 26,000 and 19,000, the 1st, 2nd and 3rd triple antigen doses respectively.

There were 13,400 polio vaccinations throughout the year.

B. C. G. VACCINATION CAMPAIGN IN WESTERN STATE OF NIGERIA

1966 - 1971

Table IV.3

Y E A R	T Y P E O F P R O G R A M M E				T O T A L
	Mass Campaign	Integrated Teams	Maternal and Child Welfare Centres		
1 9 6 5	-	-	-	-	-
1 9 6 6	58,854	-	42,495		101,379
1 9 6 7	207,508	43,772	55,295		369,575
1 9 6 8	192,976	66,436	78,033		337,445
1 9 6 9	186,258	70,957	55,110		312,325
1 9 7 0	-	141,992	34,618		176,610
1 9 7 1	-	100,256	46,921		147,187

BCG VACCINATION BY AGE GROUP IN WESTERN STATE OF
NIGERIA COVERAGE IN % OF ELIGIBLE POPULATION 1966 - 1971

Table IV.4

Age Group	1966	1967	1968	1969	1970	1971
0	45,577	67,297	68,128	68,391	66,367	96,687
1 - 4	14,104	64,117	42,594	52,053	18,533	10,496
5 - 14	35,145	221,485	215,508	178,419	90,462	32,013
15 +	6,553	16,676	11,215	13,462	4,393	2,971
TOTAL	101,379	369,575	337,445	312,325	179,755	142,167
Coverage in % of eligible population	2.5 %	10.9 %	17.5 %	22.9 %	24.6 %	24.7 %

BCG VACCINATION BY AGE GROUP IN W.S. OF NIGERIA
FROM 1966 - 1971 (Coverage in % of Eligible Population)

Table IV.4a

Age Group	1966 %	1967 %	1968 %	1969 %	1970 %	1971 %
0	12.1	17.5	17.3	16.9	16.0	22.8
1 - 4	1.17	9.03	14.69	19.85	21.12	19.26
5 - 14	1.50	10.70	18.92	24.79	26.72	27.83
15	3.2	9.49	15.81	25.23	27.82	30.39
TOTAL	2.46	10.86	17.38	22.65	24.16	24.98

**BCG VACCINATION IN WESTERN STATE BY DIVISION COVERAGE
IN % OF ELIGIBLE POPULATION 1971**

Table IV. 5

D I V I S I O N	Estimated population %	Eligible population	Total vaccinated since programme started	Coverage in % of eligible population
E G B A	767,064	306,826	87,466	28.5
EGBADO	420,740	168,296	43,186	25.7
EKITI CENTRAL	428,005	171,202	35,382	20.7
" NORTH	263,368	105,347	31,864	30.3
" SOUTH	419,278	167,711	36,618	21.8
" WEST	644,977	257,991	24,276	9.4
OKITIPUPA	335,925	134,370	19,223	14.3
AKURE	339,095	135,638	42,155	31.1
ONDO	314,425	125,770	41,752	33.2
AKOKO	347,024	138,810	51,579	37.2
O W O	231,310	92,524	45,980	49.7
IBADAN CITY	764,399	305,736	102,214	33.4
" LESS CITY	626,621	250,648	43,716	17.4
" IBARAPA	142,490	56,996	17,242	30.2
OSHUN CENTRAL	719,575	287,830	50,647	17.6
" NORTH EAST	672,333	268,933	50,322	18.7
" NORTH WEST	555,072	222,029	46,562	21.0
" SOUTH	741,419	296,568	58,452	19.7
I F E	458,995	183,598	61,623	33.6
IJESHA NORTH	216,180	86,472	26,076	30.2
" SOUTH	370,749	148,300	37,231	25.1
OYO NORTH	502,579	201,032	34,759	17.3
" SOUTH	576,100	230,440	46,712	20.3
IJEBU ODE	512,163	204,865	69,424	33.9
IJEBU REMO	189,735	75,894	37,141	48.9
T O T A L	11,559,621	4,623,826	1,141,602	24.7

BCG VACCINATION IN WESTERN STATE OF NIGERIA BY HEALTH DISTRICT -
COVERAGE IN % OF ELIGIBLE POPULATION - 1971

Table IV. 6

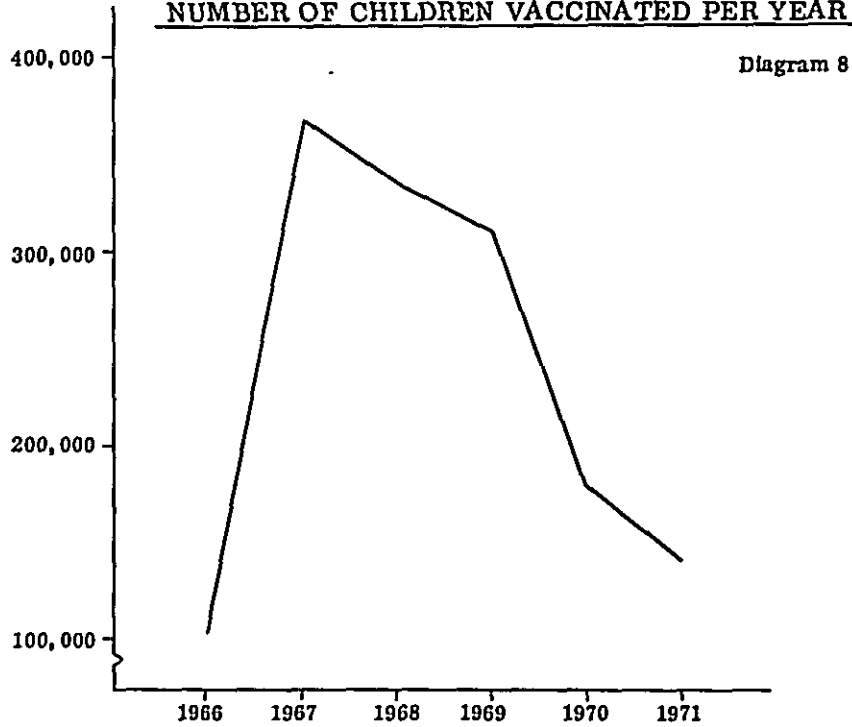
HEALTH DISTRICT	Estimated population 1971	Eligible population	Total vaccination since programme started	Coverage in % of eligible population
ABEOKUTA	1, 187, 804	475, 122	130, 652	27. 5
O N D O	1, 220, 755	488, 302	149, 110	30. 5
E K I T I	2, 102, 652	841, 061	179, 719	21. 4
IBADAN	1, 533, 510	613, 380	163, 172	26. 6
OSUN	2, 688, 399	1, 075, 360	205, 983	19. 2
IFE/ILESHA	1, 045, 924	418, 370	124, 930	29. 9
O Y O	1, 078, 679	431, 472	81, 471	18. 9
IJEBU	701, 898	280, 759	106, 565	37. 9
T O T A L	11, 559, 621	4, 623, 826	1, 141, 602	24. 7

BCG VACCINATION IN WESTERN STATE OF NIGERIA - 1971

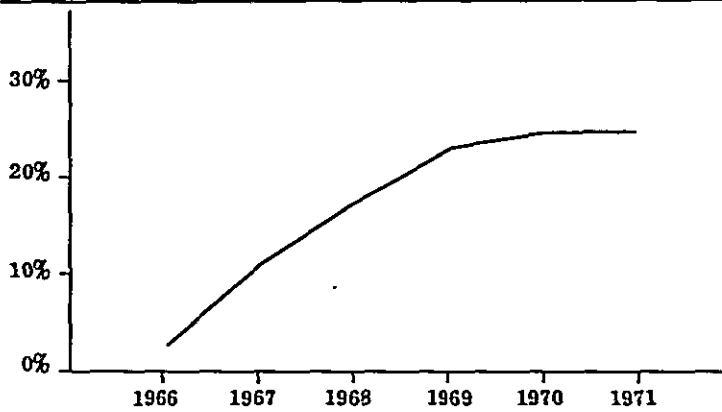
Table IV.7

D I V I S I O N S	T Y P E O F P R O G R A M M E		
	Integrated Team	MCWC	T O T A L
E G B A	3,909	2,424	6,333
EGBADO	1,642	2,629	4,271
EKITI CENTRAL	3,334	1,857	5,191
" NORTH	2,506	1,004	3,510
" SOUTH	3,459	72	3,531
" WEST	3,402	860	4,262
OKITIPUPA	3,814	63	3,877
AKURE	5,286	2,521	7,807
O N D O	4,001	114	4,115
AKOKO	5,745	1,158	6,903
O W O	5,356	1,174	6,530
IBADAN CITY	13,085	11,080	24,165
" LESS CITY	318	-	318
IBARAPA	2,480	2,730	5,210
OSHUN CENTRAL	3,084	1,060	4,144
" NORTH EAST	4,517	2,429	6,946
" NORTH WEST	3,450	3,225	6,675
" SOUTH	4,161	1,843	6,004
I F E	5,378	537	5,915
IJESHA NORTH	3,427	1,010	4,437
" SOUTH	604	839	1,443
O Y O NORTH	-	787	787
" SOUTH	-	1,674	1,674
IJEBU	10,032	4,294	14,326
IJEBU-REMO	7,276	1,537	8,813
T O T A L	100,266	46,921	147,187

BCG VACCINATION IN WESTERN STATE 1966 - 1971
NUMBER OF CHILDREN VACCINATED PER YEAR



BCG VACCINATION IN WESTERN STATE 1966 - 1971
COVERAGE IN PERCENTAGE OF ELIGIBLE POPULATION



TOTAL MEASLES VACCINATION
1970 - 1971

Table IV. 8

D I V I S I O N S	Measles Vaccination	
	1970	1971
E G B A	8,250	696
EGBADO	130	5,277
EKITI CENTRAL	9,382	5,526
" NORTH	7,588	641
" SOUTH	3,388	45
" WEST	8,745	406
OKITIPUPA	6,679	3,982
AKURE	8,032	10,482
O N D O	17,037	5,513
AKOKO	6,245	-
O W O	3,816	491
IBADAN CITY	} 46,868	5,263
" LESS CITY		5,928
IBARAPA		-
OSHUN CENTRAL	2,945	1,804
" NORTH EAST	10,483	192
" NORTH WEST	19,220	1,790
" SOUTH	20,914	13,991
I F E	13,544	13
IJESHA NORTH	} 7,036	3,194
" SOUTH		762
O Y O NORTH	} 34,991	10,503
" SOUTH		10,196
IJEBU	18,038	406
IJEBU-REMO	3,362	-
T O T A L	256,693	87,101

TRIPLE ANTIGEN AND POLIO VACCINATION IN MCWC, HOSPITALS
AND RHC IN WESTERN STATE OF NIGERIA - 1971

Table IV. 9

D I V I S I O N S	TRIPLE ANTIGEN			POLIO
	1ST	2ND	3RD	
E G B A	2,361	1,145	844	278
EGBADO	2,281	1,541	1,080	421
EKITI CENTRAL	1,435	999	688	2,595
" NORTH	1,107	776	535	318
" SOUTH	114	80	34	117
" WEST	309	280	252	21
OKITIPUPA	79	31	24	-
AKURE	2,095	1,502	926	1
O N D O	98	64	73	-
AKOKO	930	889	466	63
O W O	2,019	573	308	179
IBADAN CITY	10,568	6,283	5,870	2,004
" LESS CITY	-	-	-	-
IBARAPA	1,190	1,321	924	74
OSHUN CENTRAL	495	196	138	-
" NORTH EAST	215	79	78	78
" NORTH WEST	1,695	1,352	1,352	5,358
" SOUTH	555	507	337	292
I F E	135	186	73	7
IJESHA NORTH	1,228	1,103	883	1,144
" SOUTH	865	382	210	184
O Y O NORTH	918	465	411	21
" SOUTH	899	965	820	1
IJEBU	2,838	4,311	1,422	56
IJEBU-REMO	1,444	1,203	1,354	222
T O T A L	35,873	26,233	19,102	13,434

MEDICAL AND HEALTH INSTITUTIONS

Some institutions were opened whilst others were closed down during the year. Table V.1 shows that there were 61 hospitals and nursing homes, 32 isolation units, 143 leprosy clinics, 385 maternal and child welfare centres, 11 Health Centres, 9 Dental Centres and 476 Dispensaries. Nigeria Tobacco Company and Western Nigeria Development Corporation and the Nigerian Railway Corporation have units in the form of Dispensaries for the Welfare of their workers but there is no real Industrial Health Centre as yet in the State.

Diagram 10 shows the ownership of medical institutions in the State. Of all hospitals and nursing homes 54% was provided by the Government, 26% by Missionary Societies and 20% by private enterprise. Among leprosy clinics 84% was provided by the Local Government Councils and 11% each by State Government and Missionary Societies. About 77% of Maternity Centres was provided by the Local Government Councils while they provide 94% (i.e. 19 in 20) of dispensaries.

Table V.4 shows the number of hospital beds by division. There were 4,720 hospital beds in the State with 2,143 maternity beds giving a total of 6,863 beds. Women of child bearing age are 3.1 million in the State. There are 4 beds per 10,000 population and 6 hospital and maternity beds per 10,000 population.

Basic Health Services

Table V.7 shows that there are now 881 health units in the State made up of 385 maternity centres 476 dispensaries, 11 rural Health Centres, and 9 Dental Centres.

Health Offices There are 23 Divisional Health Offices, 114 Council Health Offices making a total of 137. The State Government is proposing to build 8 State Health Offices (better called urban Health Centres) in the Four Year Development Plan.

These are to form counterparts of, and complement the State (i.e. Specialist) Hospitals.

OWNERSHIP OF MEDICAL INSTITUTIONS IN WESTERN STATE 1971

Table V.1

OWNERSHIP	Hospitals and Nursing Homes	Infectious Diseases Hospitals	Leprosy Clinics & Segregation Villages	Maternity and Child Welfare Centres	Rural Health Centres	Dispensaries	Dental Centres
Western State Government	32*	5	11	1	10	3	7
Federal Government	1**	-	-	-	1	-	-
Local Government Authority	-	27	121	297	-	446	-
Missions	16	-	11	20	-	4	2
Private Individuals	12	-	-	67	-	-	-
Commercial & Industrial Firms	-	-	-	-	-	1	-
Statutory Board	-	-	-	-	-	7	-
T O T A L	61	32	143	385	11	476	9

Notes: (1) * Includes Aro Mental Hospital, Abeokuta.
 (2) ** U. C. H., Ibadan.

**HOSPITALS IN THE WESTERN STATE OF NIGERIA
BY DIVISION AND OWNERSHIP, 1971**

Table V.2

DIVISIONS	Western State Government	Mission	Private	TOTAL
E G B A	2	1	1	4+
EGBADO	2	-	-	2
EKITI CENTRAL	1	2	-	3
" NORTH	2	1	-	3
" SOUTH	1	-	-	1
" WEST	2	-	-	2
OKITIPUPA	1	-	-	1
AKURE	1	-	-	1
ONDO	1	1	-	2
AKOKO	1	-	-	1
O W O	-	1	-	1
IBADAN CITY	5	2	9	16*
" LESS CITY	-	-	-	-
IBARAPA	1	-	-	1
OSHUN CENTRAL	2	1	-	3
" NORTH EAST	-	-	-	-
" NORTH WEST	1	1	-	2
" SOUTH	1	1	-	2
I F E	1	1	-	2
IJESHA NORTH	-	-	-	-
" SOUTH	1	1	1	3
O Y O NORTH	1	1	-	2
" SOUTH	1	1	-	2
IJEBU	4	1	1	6
IJEBU-REMO	1	-	-	1
T O T A L	33	16	12	61

Note: (1) + Includes Aro Mental Hospital
(2) * Includes U.C.H. Ibadan

HOSPITALS IN THE WESTERN STATE OF NIGERIA
BY DIVISION, TYPE AND OWNERSHIP, 1971

Table V.3

DIVISIONS	GOVERNMENT					MISSIONS		PRIVATE	TOTAL
	SPECIAL	STATE	GENERAL	DISTRICT	MILITARY	GENERAL	MATERNITY		
EGBA	1	1		1	1	1			5
EOBADO			1	1					2
EKITI CENTRAL		1		1			2		4
" NORTH				2			1		3
" SOUTH				1					1
" WEST			1	1					2
OKITIPIPA			1						1
AKURE		1							1
O N D O			1				1		2
AKOKO			1						1
O W O						1			1
IBADAN CITY	2	2	1		1	1	1	9	17
" LESS CITY									
IBARAPA				1					1
OSHUN CENTRAL		1		1			1		3
" NORTH EAST									
" NORTH WEST			1			1			2
" SOUTH			1			1			2
I F E		1				1			2
IJESHA NORTH									
" SOUTH			1			1		1	3
O Y O NORTH			1			1	1		3
" SOUTH		1							1
IJEBU		1	1	2			1	1	6
IJEBU-REMO			1						1
TOTAL	3	9	12	11	2	8	8	11	64

**NUMBER OF BEDS IN HOSPITALS AND MATERNITY CENTRES IN
WESTERN STATE OF NIGERIA BY DIVISION - 1971**

Table V.4

DIVISION	Hospital Beds	Maternity Beds	Hospital & Maternity Beds	Hospital Beds per 10,000 1971 Estimated population	Hospt. & Mat. Beds per 10,000 1971 Estimated Population
E G B A	510	220	730	7	9
EGBADO	105	40	145	3	3
IBADAN CITY	1,245	69	1,314	16	17
" LESS CITY	-	79	79	-	1
IBARAPA	-	41	41	-	3
OSHUN CENTRAL	172	75	247	2	3
" NORTH EAST	-	124	124	-	2
" NORTH WEST	167	75	242	3	4
" SOUTH	128	123	251	2	3
IJEBU	493	140	633	10	12
REMO	86	120	206	5	11
AKOKO	76	44	120	2	3
AKURE	222	49	271	6	8
EKITI CENTRAL	237	94	331	6	8
" NORTH	118	93	211	3	8
" SOUTH	44	77	121	1	3
" WEST	90	148	238	1	4
OKITIPUPA	56	34	90	2	3
ONDO	70	77	147	2	5
O W O	151	73	224	7	10
I F E	236	129	365	5	8
IJESHA NORTH	-	50	50	-	2
" SOUTH	256	72	328	7	9
OYO NORTH	101	49	150	2	4
" SOUTH	157	48	205	2	4
T O T A L	4,720	2,143	6,863	4	6

Note: Figure include U.C.H., Ibadan.

UNIVERSITY COLLEGE HOSPITAL - IBADAN
DEPARTMENTS AND BEDS, 1971

Table V.5

DEPARTMENTS	NUMBER OF BEDS
Medicine	143
Surgery	116
Ophthalmology	14
Gynaecology	46
Maternity	72
Premature Babies Unit	19
Paediatrics	72
E. N. T.	14
Psychiatry	9
T O T A L	505

INFECTIOUS DISEASES HOSPITALS, LEPROSY CLINICS
AND SEGREGATION VILLAGES IN WESTERN STATE OF
NIGERIA BY DIVISION - 1971

Table V.6

D I V I S I O N S	Number of Institutions	
	Infectious Diseases Hospitals	Leprosy Clinics and Segregation Villages
E G B A	1	24
EGBADO	7	15
EKITI CENTRAL	-	4
" NORTH	-	3
" SOUTH	-	2
" WEST	-	3
OKITIPUPA	2	5
AKURE	2	5
ONDO	4	8
AKOKO	1	16
O W O	1	7
IBADAN CITY	1	2
" LESS CITY	-	4
IBARAPA	-	5
OSHUN CENTRAL	2	3
" NORTH EAST	1	5
" NORTH WEST	2	2
" SOUTH	3	6
I F E	2	3
IJESHA NORTH	-	3
" SOUTH	-	5
O Y O NORTH	-	3
" SOUTH	1	-
IJEBU	1	5
REMO	1	5
T O T A L	32	143

**BASIC HEALTH SERVICES INSTITUTIONS IN THE WESTERN
STATE OF NIGERIA BY DIVISION AND TYPE, 1971**

Table V.7

D I V I S I O N S	T Y P E O F M E D I C A L I N S T I T U T I O N S				T O T A L
	NCWC	Dispensaries	R. H. C.	Dental Centres	
E G B A	37	45	-	1	83
EGBADO	19	26	2	-	47
EKITI CENTRAL	12	12	-	-	24
" NORTH	14	11	-	-	25
" SOUTH	8	6	-	-	14
" WEST	18	26	1	-	45
OKITIPUPA	9	23	-	-	32
AKURE	17	15	-	1	33
ONDO	14	18	1	-	33
AKOKO	21	21	-	-	42
O W O	11	18	-	-	29
IBADAN CITY	13	10	-	4	27
" LESS CITY	13	19	1	-	33
IBARAPA	2	8	1	-	16
OSHUN CENTRAL	11	15	-	1	27
" NORTH EAST	17	23	1	-	41
" NORTH WEST	14	16	-	-	30
" SOUTH	14	18	1	-	33
I F E	22	21	-	-	43
IJESHA NORTH	14	13	1	-	28
" SOUTH	16	17	-	-	33
O Y O NORTH	10	21	-	-	31
" SOUTH	15	24	1	1	41
IJEBU	22	34	-	1	57
IJEBU-REMO	17	16	1	-	34
T O T A L	385	476	11	9	881

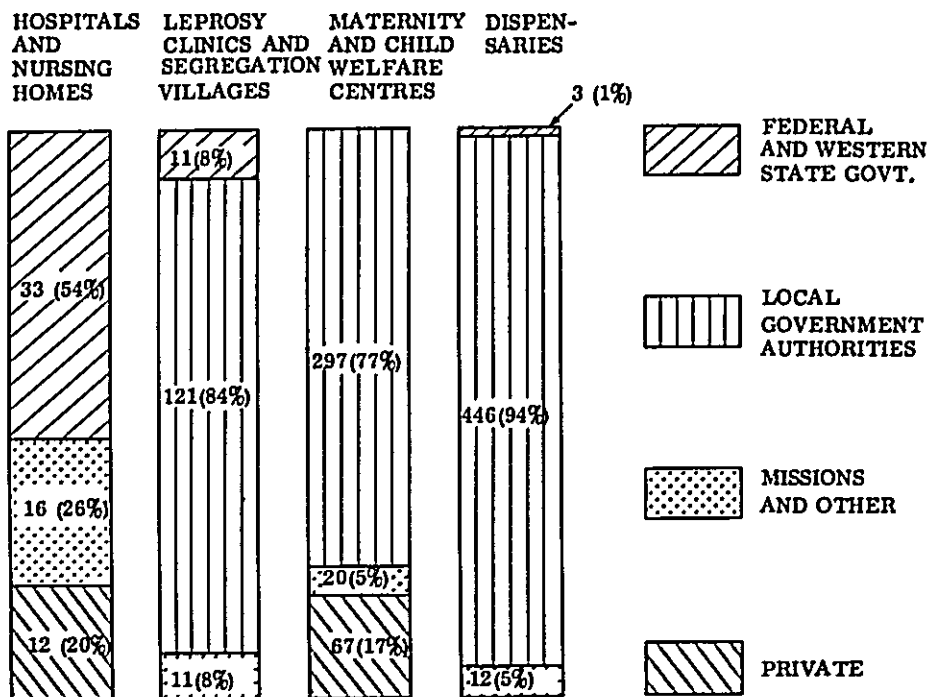
HEALTH OFFICES IN WESTERN STATE OF NIGERIA
BY DIVISION AND COUNCILS 1971

Table V.8

D I V I S I O N S	Health Offices		T O T A L
	Divisional	Council	
E G B A	1	8	9
EGBADO	1	16	17
EKITI CENTRAL	1	1	2
" NORTH	1	2	3
" SOUTH	1	-	1
" WEST	1	3	4
OKITIPUPA	1	5	6
AKURE	1	6	7
ONDO	1	5	6
AKOKO	1	6	6
O W O	1	3	4
IBADAN CITY	1	2	3
" LESS CITY	-	6	6
IBARAPA	1	1	2
OSHUN CENTRAL	1	2	3
" NORTH EAST	1	6	7
" NORTH WEST	1	1	2
" SOUTH	1	4	5
I F E	1	5	6
IJESHA NORTH	-	2	2
" SOUTH	1	1	2
O Y O NORTH	1	2	3
" SOUTH	1	3	4
IJEBU	1	10	11
IJEBU-REMO	1	14	15
T O T A L	23	114	134

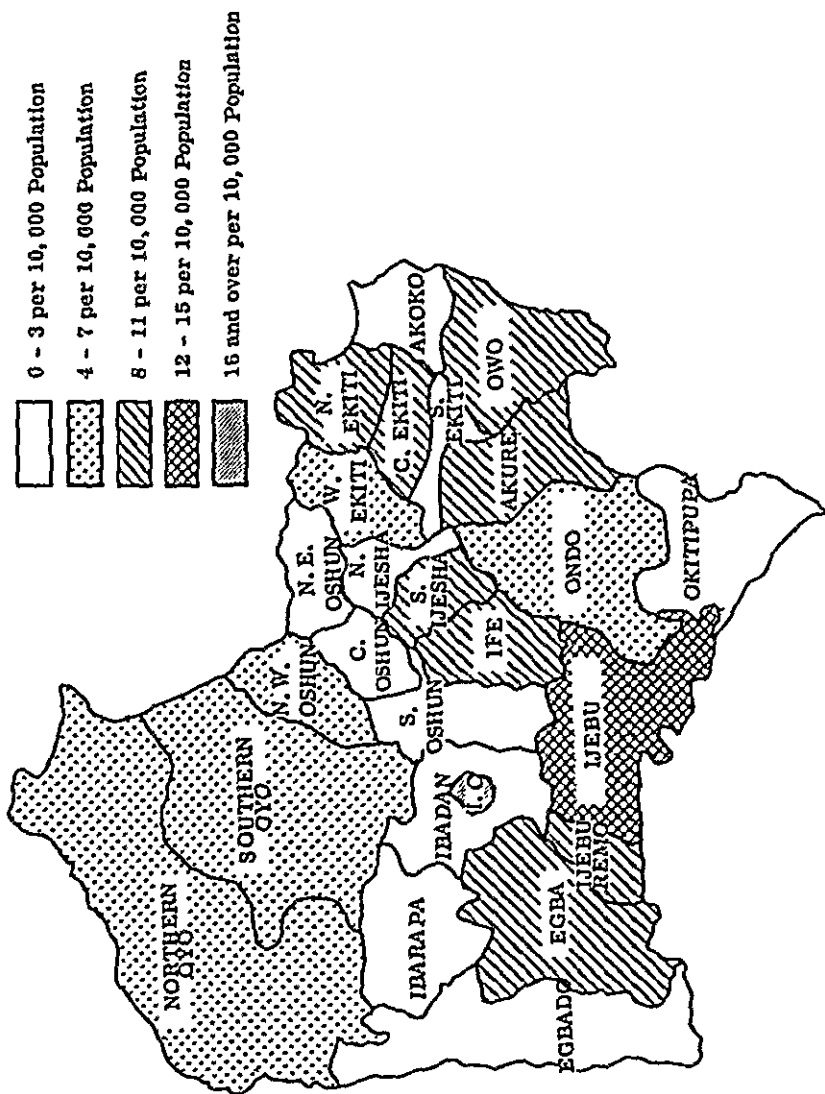
OWNERSHIP OF MEDICAL INSTITUTIONS IN WESTERN STATE, 1971

Diagram 10



**BEDS IN HOSPITALS AND MATERNITY CENTRES IN WESTERN STATE,
BY DIVISION, 1971**

Diagram 11



ACTIVITIES IN MEDICAL INSTITUTIONS

There was a gradual increase in admissions, and outpatient attendances and some decrease in the mortality last year. Table VI.1 shows the outpatient and admissions, and deaths by diseases. The five commonest causes of hospital admission included Infective and Parasitic (39.3% of admissions) diseases, Respiratory diseases (7.2%), Pregnancy complications (6.6%), Digestive system diseases (6.4%), and motor accidents (5.2%).

The main causes of deaths in reported hospital admission were Infective and Parasitic diseases (54.2% of admissions), Respiratory diseases (11.4%), Nutritional deficiencies (6.8%), motor accidents (5.5%) and Blood and Blood organs diseases (4.5%). Number of outpatients population was 0.93 million and admission population was 105,000 for the whole year.

In the midwifery services there were 2,143 beds. There were about 65,500 deliveries; that is, one in ten cases of pregnancies used the facilities provided. Below we have data for live births still births etc.:

	1969	1970	1971
Total Number of Births	63,302	70,143	75,859
Live Births	59,290	66,291	73,930
Still Births	4,012	3,852	1,929
Perinatal deaths	759	817	698
Infant deaths	1,123	1,161	948
Maternal deaths	120	21	51
Still Birth Rate	63.2	54.9	25.4
Maternal Mortality Rate	2.03	0.3	0.67
Infant Mortality Rate	19.0	17.5	12.8
Perinatal Mortality Rate	-	12.3	34.6

Table VI.8 shows activities in relation to ante-natal, post-natal and delivery services in the Western State. There were 0.7 million ante-natal cases with 0.7 million attendances at an average of 1.1 attendance per case. Post natal cases numbered 5,480 out of 65,513 delivery cases. Thus we have 8.4% of the delivery cases return for post natal case.

Table VI.9 shows child welfare activities. There were 0.9 million attendances with 834,111 children attended to. Thus there was an average of one attendance in the year per child. About 25,000 were referred to hospital, that is, about 3% of the total of children who attended the units.

**MORBIDITY AND MORTALITY FROM HOSPITALS IN WESTERN
STATE OF NIGERIA BY GROUPS OF DISEASES 1971**

Table VI.1

GROUPS OF DISEASES	NUMBER OF					
	OUT-PATIENTS		ADMISSIONS		DEATHS	
	Male	Female	Male	Female	Male	Female
1. Infective and Parasitic	231,865	194,347	20,194	20,946	970	911
2. Neoplasma Malignant	573	421	131	118	5	3
Benign	47	52	14	19	1	-
3. Nutritional Deficiencies etc.	6,911	5,416	673	673	43	30
Protein Deficiencies	2,033	2,254	480	439	42	39
Malnutrition & Metabolic	4,851	4,436	533	591	39	44
4. Blood and Blood Organs	14,688	14,621	1,365	2,273	92	78
5. Mental Disorders	328	246	72	72	4	2
6. Nervous System and Sense Organs	18,256	14,960	741	613	43	32
7. Circulatory System	5,845	4,051	701	807	68	33
8. Respiratory System	59,335	47,540	3,882	3,671	209	186
9. Digestive System	41,930	32,195	5,123	1,519	84	39
10. Genito Urinary System	1,541	6,858	601	1,477	11	1
11. Complication of Pregnancy						
Complication	-	1,071	-	6,941	-	72
Normal Deliveries	-	1,906	-	21,641	-	121
12. Skin and Soft Tissue	26,020	19,792	380	387	3	6
13. Musculo-Skeletal System	47,990	8,641	282	178	3	-
14. Congenital Anomalies	257	178	32	103	2	10
15. Perinatal Morb. & Mortality	30	36	77	627	9	30
16. Symptoms and Ill-defined Condition	11,051	8,186	424	323	9	5
17. Accidents	52,255	34,608	3,545	1,920	112	79
T O T A L	525,806	401,815	39,250	65,338	1,749	1,721

Excluding U. H. C., Ibadan.

**IN-PATIENTS AND OUT-PATIENTS IN HOSPITALS* IN THE WESTERN
STATE OF NIGERIA BY DIVISION - 1971**

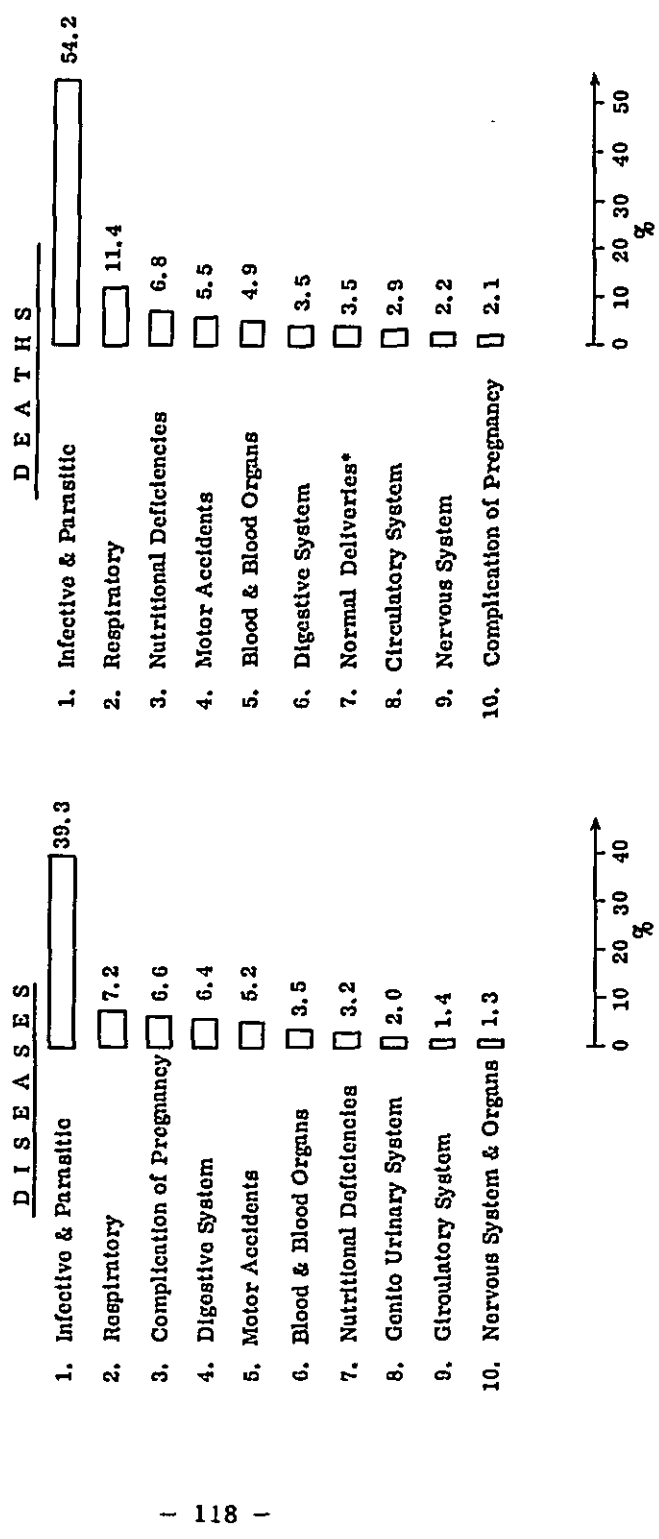
Table VI. 2

D I V I S I O N S	No. of Hospital Beds	IN-PATIENTS			O U T P A T I E N T S
		Admissions	Discharges	Deaths	
E G B A	366	21,481	20,244	1,238	229,237
EGBADO	100	3,238	2,785	128	45,145
EKITI CENTRAL	214	9,564	8,408	229	119,187
" NORTH	50	N. A.	N. A.	N. A.	-
" SOUTH	129	N. A.	N. A.	N. A.	-
" WEST	56	902	1,049	27	20,423
OKITIPUPA	58	1,638	1,521	21	-
AKURE	162	8,824	7,952	375	101,314
ONDO	144	387	353	12	5,769
AKOKO	68	3,440	3,171	102	135,543
O W O	144	7,450	7,153	212	97,953
IBADAN CITY	791	24,955	18,773	1,093	233,898
" LESS CITY	-	-	-	-	-
IBARAPA	-	-	-	-	-
*OSHUN CENTRAL	186	656	610	20	9,317
" NORTH EAST	-	-	-	-	-
" NORTH WEST	226	9,075	8,249	528	55,711
" SOUTH	129	1,606	1,288	64	31,857
I F E	239	7,454	6,571	369	69,796
IJESHA NORTH	-	-	-	-	-
" SOUTH	234	7,792	7,220	415	301,806
O Y O NORTH	97	106	80	5	257
" SOUTH	91	4,839	4,608	144	53,215
IJEBU	326	13,839	11,662	611	167,758
IJEBU-REMO	87	5,795	5,407	204	44,678
T O T A L	3,897	133,041	117,054	5,797	1,722,864

* Incomplete data received from most of the Hospitals.

Diagram 12 TEN LEADING GROUPS OF DISEASES AND CAUSES OF DEATHS
AMONG ADMISSIONS IN HOSPITALS IN WESTERN STATE OF NIGERIA

1971



Note: *Without mention of complication.

ACTIVITIES IN HOSPITALS (REPORTING) IN WESTERN STATE OF NIGERIA
BY HEALTH DISTRICT - 1971

Table VI.3

HEALTH DISTRICTS	Number of Beds	IN-PATIENTS		Deaths	OUT-PATIENTS ATTENDANCES		
		Admissions	Discharges		Adults	Children	Total
ABEOKUTA	Govt.	12,781	11,805	662	103,550	86,724	190,274
	Mission	11,938	11,224	704	32,522	51,566	84,108
AKURE	Govt.	10,849	9,826	408	75,927	31,166	107,093
	Mission	-	-	-	-	-	-
EKITI	Govt. +	6,231	5,998	231	48,069	138,999	187,068
	Mission	16,125	13,783	339	58,855	127,183	186,038
IBADAN	Govt.	14,668	9,309	627	106,303	65,641	173,944
	Mission	10,287	9,374	465	17,460	42,494	59,954
OBHUN	Govt. +	4,952	4,236	193	20,539	47,515	68,054
	Mission +	6,385	5,861	419	17,823	11,003	28,831
IFE/ILESHA	Govt.	7,535	6,830	186	47,317	92,630	140,947
	Mission +	7,711	6,861	598	49,440	181,215	230,655
OYO+	Govt. +	4,187	3,990	37	19,261	26,855	46,116
	Mission +	758	698	52	5,069	2,287	7,356
IJEHU	Govt.	13,148	12,069	604	55,046	134,275	189,321
	Mission +	6,486	5,000	211	15,232	7,863	23,115
TOTAL	Govt. +	74,351	64,253	3,008	478,012	624,795	1,102,807
	Mission +	88,690	52,801	2,769	196,406	423,651	620,057
GRAND TOTAL		133,041	117,054	5,797	674,418	1,048,446	1,722,864

Note: + Stand incomplete report.

ACTIVITIES IN HOSPITALS (REPORTING) IN WESTERN STATE OF NIGERIA
BY HEALTH DISTRICT - 1971

Table VI.4

HEALTH DISTRICTS	Number of Beds	OPERATIONS		Total	LABORATORY				X-RAY
		Major	Minor		Blood	Stool	Others	Total	
ABOKUTA	Govt.	1,393	1,660	3,053	4,285	1,934	4,722	10,941	4,330
	Mission	781	1,741	2,522	42,100	980	9,778	52,858	1,890
AKURE	Govt.	405	1,180	1,585	2,015	474	1,833	4,322	3,358
	Mission	-	-	-	-	-	-	-	-
EKITI	Govt.	240	947	1,187	166	216	263	635	448
	Mission	621	2,048	2,669	17,259	4,467	8,601	30,327	1,749
IBADAN	Govt.	783	1,230	2,013	-	-	-	-	9,876
	Mission	392	849	1,241	17,050	1,323	18,679	37,052	-
OBILUN	Govt.	223	377	600	761	242	729	1,732	892
	Mission	1,080	771	1,851	32,225	10,355	20,101	62,681	3,622
IFE/LESIA	Govt.	738	2,216	2,954	4,817	1,029	6,481	12,107	4,863
	Mission	966	2,459	4,425	32,742	5,277	9,212	47,231	3,625
OYO	Govt.	238	956	1,194	1,945	263	1,475	3,683	2,142
	Mission	89	48	137	2,606	78	238	2,922	71
IJEBU	Govt.	302	3,020	3,322	10,700	1,380	2,180	15,260	4,575
	Mission	896	429	1,325	12,069	96	11,604	23,769	1,281
TOTAL	Govt.	1,034	11,586	15,888	24,479	5,538	18,663	48,680	30,484
	Mission	871	9,445	14,170	156,051	22,576	78,213	258,640	12,230
GRAND TOTAL		1,905	21,011	30,059	180,530	28,114	96,876	305,520	42,714

Note: + Send incomplete report.

NUMBER OF CIVIL LUNATICS TREATED IN WESTERN STATE
MENTAL HOSPITALS BY TYPE OF PATIENTS 1968 - 1971

Table VI. 5

YEAR	IN-PATIENTS	OUT-PATIENTS	TOTAL
1968	1,494	1,997	3,491
1969	1,779	2,255	4,034
1970	1,352	2,975	4,327
1971	2,815	3,558	6,373

NUMBER OF PATIENTS TREATED IN WESTERN STATE
DENTAL CENTRES BY TYPE OF TREATMENT 1961 - 1971

Table VI. 6

YEAR	TYPE OF TREATMENT				TOTAL
	EXTRACTION	FILLINGS	DENTURES	OTHERS	
1961	7,325	2,443	2,982	29,124	41,874
1962	11,228	2,268	3,949	21,828	39,273
1963	6,216	1,673	2,149	15,398	25,436
1964	7,468	3,133	2,018	12,452	25,071
1965	6,167	2,438	2,106	21,322	32,033
1966	7,079	2,574	1,842	12,798	24,293
1967	5,060	2,130	1,378	22,423	30,991
1968	5,788	1,885	1,575	15,572	24,820
1969	5,897	1,253	1,575	12,794	21,519
1970	11,727	1,999	3,841	42,074	59,641
1971	11,683	2,769	3,919	30,269	48,640

- Notes: (1) Excluding Dental Centre Adeoyo Ibadan.
 (2) 1967 to 1970 figures exclude those of the Colony Province of Western State which is now part of Lagos State.
 (3) "Others" include scaling dressing surgical Operation etc.

BIRTHS AND DEATHS IN M.C.W.C. AND
MATERNITY WARDS IN WESTERN STATE OF NIGERIA, 1971

Table VI.7

D I V I S I O N S	Number of Maternity Beds	BIRTHS			DEATHS		
		Live	Still	Total	CHILDREN		Mater- nal
					Before discharge	Under 1 year	
E G B A	185	3,943	319	4,262	28	27	-
EGBADO	91	3,824	111	3,935	106	-	-
EKITI CENTRAL	167	2,809	93	2,902	58	33	5
" NORTH	139	1,628	37	1,665	12	18	3
" SOUTH	91	1,834	21	1,855	3	-	1
" WEST	176	1,766	38	1,804	5	-	1
OKITIPUPA	56	596	14	610	2	-	-
AKURE	97	1,245	121	1,366	-	-	5
ONDO	90	3,261	52	3,313	32	3	9
AKOKO	61	1,874	27	1,901	16	4	9
O W O	107	3,924	90	4,014	186	86	1
IBADAN CITY	155	13,823	105	13,928	51	-	-
" LESS CITY	24	377	16	393	-	-	-
IBARAPA	30	2,230	43	2,273	7	-	-
OSHUN CENTRAL	80	3,256	21	3,277	5	-	-
" NORTH EAST	74	2,769	30	2,799	9	5	-
" NORTH WEST	82	2,737	137	2,874	16	-	8
" SOUTH	50	3,356	122	3,478	16	10	2
I F E	82	1,021	53	1,074	9	29	4
IJESHA NORTH	54	1,181	32	1,213	2	-	-
" SOUTH	106	1,526	56	1,582	11	-	-
O Y O NORTH	73	1,753	31	1,784	5	7	3
" SOUTH	120	2,549	50	2,599	26	18	-
IJEBU	210	7,542	207	7,749	28	5	-
IJEBU-REMO	96	3,106	103	3,209	69	5	-
T O T A L	2,496	73,930	1,929	75,859	698	250	51

ANTE-NATAL, POST-NATAL CASES AND DELIVERIES IN
MCWC AND MATERNITY WARDS IN WESTERN STATE OF NIGERIA - 1971

Table VI. 8

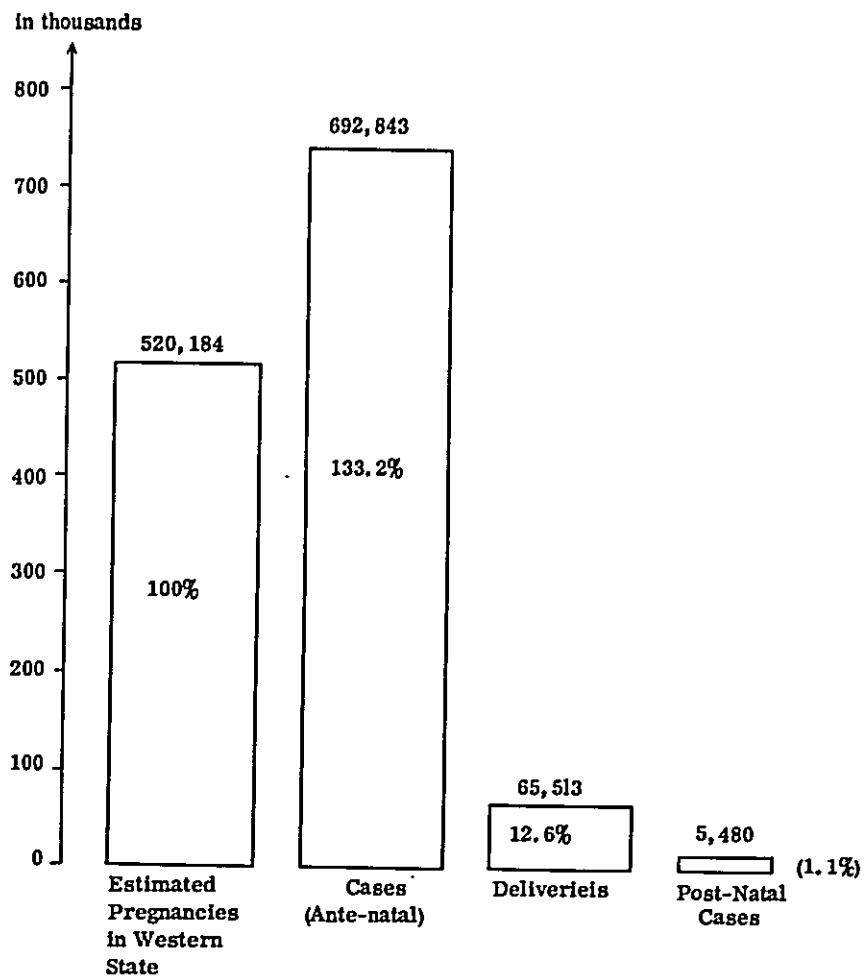
D I V I S I O N S	ANTE-NATAL		Post-Natal Cases	DELIVERIES		
	Cases	Attendances		Single	Multi-ple	Total
E G B A	33,637	55,362	1,196	6,948	334	7,282
EGBADO	35,768	42,353	164	3,596	190	3,786
EKITI CENTRAL	26,211	20,965	589	2,665	108	2,773
" NORTH	15,164	20,115	567	1,520	82	1,602
" SOUTH	16,275	25,654	130	1,579	115	1,694
" WEST	14,634	24,268	110	1,565	146	1,711
OKITIPUPA	4,364	5,494	210	493	18	511
AKURE	38,017	44,161	152	3,349	121	3,470
ONDO	22,015	28,472	126	2,270	166	2,436
AKOKO	19,005	38,543	214	1,857	73	1,930
O W O	34,022	45,070	601	3,463	255	3,718
IBADAN CITY	127,851	69,618	1,091	125	1,085	1,210
" LESS CITY	10,200	12,833	83	405	50	455
IBARAPA	17,625	2,319	-	2,149	110	2,259
OSHUN CENTRAL	31,952	32,756	-	3,031	123	3,154
" NORTH EAST	22,384	23,725	24	2,657	71	2,728
" NORTH WEST	32,318	35,204	-	2,619	127	2,746
" SOUTH	45,521	53,301	-	3,203	138	3,341
I F E	10,311	12,585	-	998	38	1,036
IJESHA NORTH	16,415	10,114	-	1,185	28	1,213
" SOUTH	19,998	4,128	5	1,480	51	1,531
O Y O NORTH	14,387	12,593	-	1,654	65	1,719
" SOUTH	29,196	17,697	-	2,444	76	2,520
IJEBU	42,131	56,925	218	6,762	825	7,587
IJEBU-REMO	13,442	18,213	-	2,892	209	3,101
T O T A L	692,843	712,468	5,480	60,909	4,604	65,513

CHILD WELFARE ACTIVITIES IN M.C.W.C. HOSPITAL
AND R.H.C. IN WESTERN STATE OF NIGERIA, 1971

Table VI.9

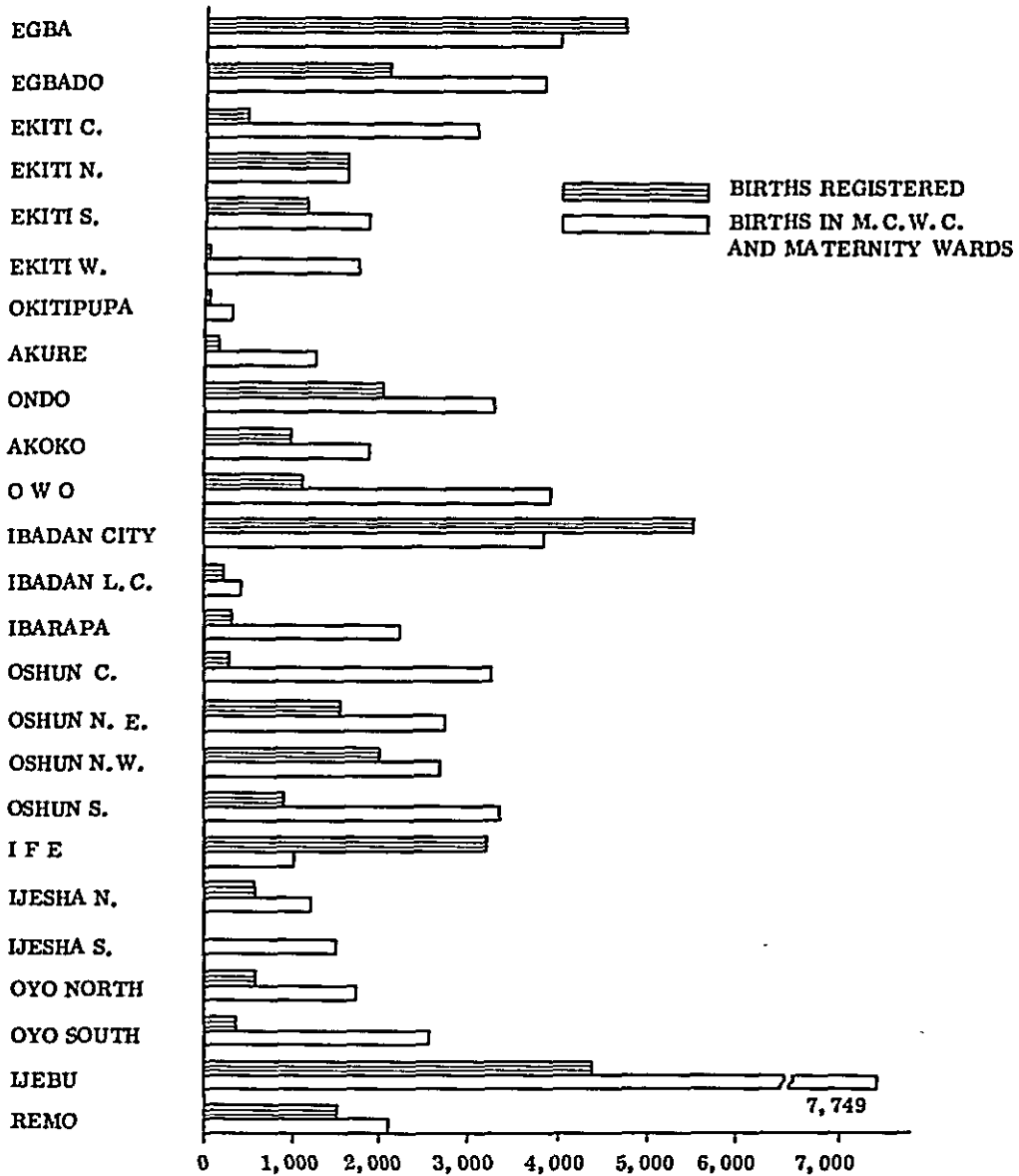
D I V I S I O N S	C A S E S		Total Attendan.	Cases Referred to Hospitals
	New	Old		
E G B A	10,239	95,026	25,388	1,336
EGBADO	4,848	33,682	48,453	151
EKITI CENTRAL	9,752	47,305	67,882	1,381
" NORTH	2,231	24,021	26,239	5
" SOUTH	2,011	13,531	24,122	-
" WEST	2,555	21,293	32,479	5
OKITIPUPA	503	3,222	4,170	36
AKURE	5,421	12,980	43,398	26
ONDO	3,157	12,586	28,185	10
AKOKO	2,116	14,059	37,560	79
O W O	7,512	33,908	47,482	-
IBADAN CITY	5,418	18,575	30,538	17,888
" LESS CITY	1,151	18,865	15,519	203
IBARAPA	1,915	16,733	35,563	1,815
OSHUN CENTRAL	8,383	21,662	40,568	26
" NORTH EAST	9,307	24,837	39,670	8
" NORTH WEST	1,274	8,566	5,381	31
" SOUTH	11,563	35,620	44,658	59
I F E	5,977	7,512	7,874	29
IJESHA NORTH	3,365	143,413	128,864	69
" SOUTH	4,696	29,292	21,266	246
O Y O NORTH	2,520	9,416	21,618	34
" SOUTH	3,130	15,449	20,404	110
IJEBU	7,303	35,685	61,445	1,254
IJEBU-REMO	2,917	16,609	20,704	86
T O T A L	119,264	714,847	879,430	24,887

Diagram 13 MATERIAL WELFARE IN HEALTH INSTITUTIONS IN WESTERN STATE OF NIGERIA, 1971



BIRTH REGISTRATION AND BIRTHS IN M. C. W. C. AND MATERNITY
WARDS IN WESTERN STATE, BY DIVISION, 1971

Diagram 14



NUMBER OF PATIENTS TREATED IN THE WESTERN STATE DENTAL
CENTRES BY TYPE OF TREATMENTS 1971

Table VI.10

Type of Treatment	CHILDREN			ADULTS			All patients
	Under 6 years	Above 6 years	Total	Govt. patients	Non-Govt. patients	Total	
Extraction	572	2,636	3,208	2,340	6,135	8,475	11,683
Fillings	107	893	1,000	477	1,292	1,769	2,769
Dentures	8	444	452	955	2,512	3,467	3,919
Scaling	222	1,402	1,624	1,668	1,656	3,324	4,948
Dressing	604	2,107	2,711	1,760	2,930	4,690	7,401
Others	1,220	5,033	6,253	4,455	5,414	11,667	17,920
Total	2,733	12,515	15,248	11,655	19,939	33,392	48,640

NUMBER OF PATIENTS TREATED IN THE WESTERN
STATE DENTAL CENTRES BY DIVISION 1971

Table VI.11

DIVISION	P A T I E N T S		
	Children under 18 years	Adults	Total
Ibadan City*	10,377	20,716	31,093
Oshun Central	668	3,692	4,360
Egba	1,503	3,264	4,767
Akure	1,127	3,111	4,238
Ijebu	1,573	2,609	4,182
Total	15,248	33,392	48,640

* Excluding Adeoyo Dental Centre, Ibadan.

PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENTAL SANITATION

ENVIRONMENTAL SANITATION:

This subject became more relevant ever than before when the Cholera Epidemic started at the beginning of the year. It emphasized the lack of priority that should be given to public health and preventive medicine in the delivery of the service for medical care in the State (in fact, in the Country). To help in alleviating the terrible situation, the Ministries of Health and Local Government decided that both State Government and Local Government Council public health staff should work hand in hand in this field.

Table VII.1 shows the situation of water supply in the State. About 32.5% of the sources of water supply were from public stand pipes, 53.6% from wells and 13.9% from streams (see diagram 11).

About 40% of the Western State population was served with pipe borne water, while about 53% were served by some other sources.

Refuse is still mainly disposed of by incineration (25%), Dumping (72%) and trenching (3%).

Areas not served with pipe borne water included Ibadan (Less City) Ekiti North, Ijesha North.

Table VII.3 shows the number of animals reported slaughtered in the State during the year. There were 150,000 cattle, 16,000 goats, 2,600 sheep and 5,000 pigs slaughtered under public health staff supervisions.

WATER SUPPLY AND REFUSE DISPOSAL IN WESTERN
STATE OF NIGERIA BY DIVISION 1971

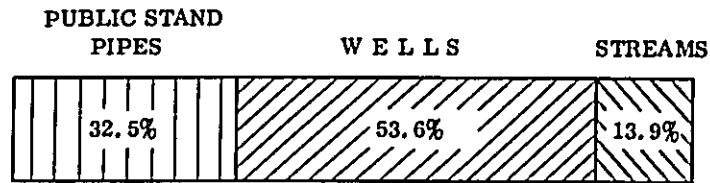
Table VII.1

D I V I S I O N S	Estimated population 1971	WATER SUPPLY			REFUSE DISPOSAL		
		P.S.P.	Wells	Stream	Incline- rators	Dump- ing ground	Trench- ing ground
E G B A	767,064	1,107	699	273	14	55	9
EGBADO	420,740	197	699	656	34	599	9
EKITI CENTRAL	428,005	250	149	38	3	10	3
" NORTH	263,368	Nil	177	90	6	68	-
" SOUTH	419,278	150	665	7	9	150	-
" WEST	644,977	69	441	166	13	122	1
OKITIPUPA	335,925	63	13	39	3	28	Nil
AKURE	339,095	376	1,384	23	16	20	6
ONDO	314,425	258	145	37	18	22	1
AKOKO	347,024	160	95	34	18	60	2
O W O	231,310	148	9	14	14	12	5
IBADAN CITY	764,399	466	3,635	5	3	7	2
" LESS CITY	626,621						
IBARAPA	142,490	200	60	20	61	20	-
OSHUN CENTRAL	719,575	490	365	39	26	67	5
" NORTH EAST	672,333	161	586	157	40	149	6
" NORTH WEST	555,072	347	159	135	55	126	8
" SOUTH	741,419	341	397	50	147	95	7
I F E	458,995	371	185	9	20	4	3
IJESHA NORTH	216,180	-	8	10	1	-	-
" SOUTH	370,749	221	385	270	20	230	8
O Y O NORTH	502,579	75	132	60	56	72	4
" SOUTH	576,100	513	286	424	120	78	14
IJEBU	512,163	391	87	224	57	183	4
IJEBU-REMO	189,735	240	103	41	3	56	3
T O T A L	11,559,621	6,594	10,855	2,821	757	2,183	100

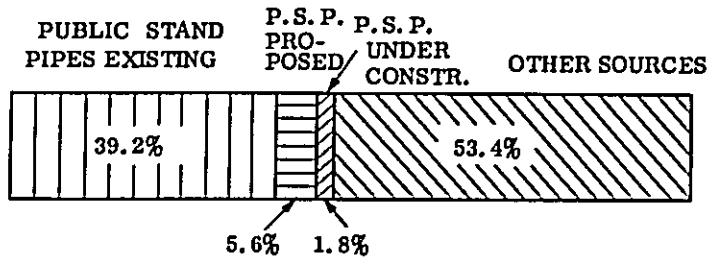
P. S. P. = Public Stand Pipes.

SOURCES OF WATER SUPPLY IN WESTERN STATE, 1971

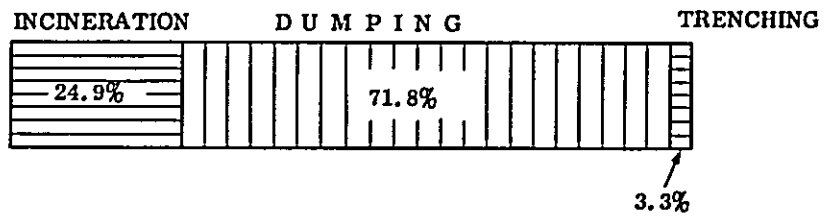
Diagram 15



PERCENTAGE OF POPULATION SERVED BY PUBLIC STAND PIPES



REFUSE DISPOSAL, WESTERN STATE, 1971



HOUSING IN WESTERN STATE OF NIGERIA
BY DIVISION, 1971

Table VII.2

D I V I S I O N S	Estimated population 1971	Number of Houses	Total	Number of houses inspected		
				Satis- factory	Without latrine	With pipe- borne water
E G B A	167,064	80,281	292,766	238,711	71,197	2,943
EGBADO	420,740	32,675	44,062	34,665	12,892	640
EKITI CENTRAL	428,005	65,586	9,599	7,017	6,531	1,625
" NORTH	263,368	5,667	13,392	10,045	10,481	Nil
" SOUTH	419,278	3,721	11,062	7,784	7,428	220
" WEST	644,977	21,532	28,189	23,554	20,469	120
OKITIPUPA	335,925	Unknown	6,840	4,317	2,382	Nil
AKURE	339,095	14,311	22,155	16,280	117,906	3,414
ONDO	314,425	23,930	9,137	6,607	14,037	1,298
AKOKO	347,024	36,900	12,957	10,652	9,978	1,441
O W O	231,310	31,649	16,703	13,066	29,788	2,413
IBADAN CITY	764,399	3,554	19,887	14,103	8,146	639,848
" LESS CITY	626,621					
IBARAPA	142,490	4,000	5,725	4,040	3,323	800
OSHUN CENTRAL	719,575	40,592	20,372	27,217	19,279	1,671
" NORTH EAST	672,333	92,735	21,295	17,117	86,843	418
" NORTH WEST	555,072	16,200	14,632	10,974	6,658	2,660
" SOUTH	741,419	76,286	18,052	13,046	8,573	3,352
I F E	458,995	50,000	7,976	6,232	3,195	589
IJESHA NORTH	216,180	Unknown	818	572	519	-
" SOUTH	370,749	32,009	12,282	9,307	5,415	610
O Y O NORTH	502,379	21,503	82,474	57,987	6,992	10,387
" SOUTH	576,100	115,200	96,977	68,540	49,792	13,400
IJEBU	512,163	Unknown	17,087	11,534	7,839	2,971
IJEBU-REMO	189,735	24,007	6,940	5,406	2,490	713
T O T A L	11,559,621	792,338	791,379	618,773	512,153	691,533

ANIMALS SLAUGHTERED IN WESTERN STATE OF NIGERIA
BY DIVISION, 1971

Table VII. 3

D I V I S I O N S	Cattle	Goat	Sheep	Pig
E G B A	17,453	1,658	56	49
EGBADO	3,253	274	-	9
EKITI CENTRAL	1,670	1	-	55
" NORTH	859	-	-	-
" SOUTH	308	316	3	143
" WEST	890	20	3	10
OKITIPUPA	365	368	3	122
AKURE	2,016	137	2	95
ONDO	2,662	2,672	47	28
AKOKO	2,036	49	14	40
O W O	1,554	107	3	213
IBADAN CITY	49,847	4,973	382	3,276
" LESS CITY				
IBARAPA	1,743	Nil	Nil	Nil
OSHUN CENTRAL	4,387	1,250	144	23
" NORTH EAST	2,903	13	-	-
" NORTH WEST	7,319	746	Nil	10
" SOUTH	9,152	566	9	57
I F E	5,698	33	2	87
IJESHA NORTH	102	-	-	-
" SOUTH	2,647	438	5	215
O Y O NORTH	4,023	24	-	-
" SOUTH	10,647	52	-	49
IJEBU	10,378	2,035	1,865	235
IJEBU-REMO	8,352	251	32	220
T O T A L	150,264	15,983	2,570	4,936

MEDICAL AND PUBLIC HEALTH STAFF

There was an improvement in Medical manpower during the year. There were 28 more Doctors than last year with one Doctor to 29,000 people. Pharmacists are still scarce commodities. There is a fall in the number of health Inspectors, health superintendent and sanitary overseers. (Vide Table VIII.1.)

Table VIII.2 shows the distribution of Medical Staff by divisions and diagram 18 brings the whole picture into proper focus. For example there were no medical staff in certain divisions. Ibadan City alone has 37% of all medical staff in the State.

The University Teaching Hospital has 219 doctors of 404 in the State! That is 1 out of every two doctors in the State stationed in the University College Hospital. There were 26 Pharmacists out of the 72 in the whole State. Radiographers, number one third of the total in the State.

In the dispensaries there were 482 dispensaries attendants in the State and 542 midwives all employed by the Local Government Council Health Department.

Public Health Staff distribution by division in the State is shown on tables VIII.6 & 7. There is a definite insufficiency of the different grades of staff for public health work in the State. This is a situation that needs very urgent attention for the main fact that when people are cured in the curative Units, they only go back to the environment that gave them their illness and the vicious cycle continues. Though the training programme was well supported. Table VIII.8 shows what has been happening in the last seven years. Sanitary overseers are no longer trained but the Medical Field Unit staff not being trained, for the last seven years, definitely need to be reviewed. This is a multipurpose group that caters for the control of communicable diseases in the State.

In the U.C.H., Table VIII.9 shows the training programme over the last three years. The smallness of the numbers of staff being trained cannot have the required impact on our health service in the State (compare Table VIII.10).

MEDICAL STAFF IN WESTERN STATE OF NIGERIA
BY RANK FROM 1966 - 1971
(WITHOUT U.C.H. STAFF)

Table VIII.1

RANK OF MEDICAL STAFF	Y E A R					
	1966	1967	1968	1969	1970	1971
DOCTORS	117	123	122	151	157	163
PHARMACISTS	33	35	25	30	39	46
MIDWIVES	1,180	1,732	1,236	1,249	1,106	1,141
NURSES	702	1,210	728	916	816	1,153
ATTENDANTS *	844	883	675	672	590	539
RADIOGRAPHERS	134	57	97	119	98	43
LAB. TECHNICIANS }						97
HEALTH INSPECTORS	219	214	196	193	224	218
HEALTH SUPER-INTENDENTS	42	36	32	30	43	34
SENIOR HEALTH SUPERINTENDENTS }						
SANITARY OVER-SEERS	267	263	256	249	213	184
HEALTH SISTERS					16	24
STAFF NURSE HEALTH					26	23
COMMUNITY NURSES					141	152

- Notes:
1. *Attendants include Dispensing Assistants, Dispensary attendants and I.D.H. Attendants.
 2. Government Health Superintendents include Senior, Higher and Assistant Health Superintendents.
 3. Health Sisters include Senior Higher Health Sisters.

MEDICAL STAFF IN ALL HOSPITALS IN WESTERN STATE OF NIGERIA, 1971

Table VIII.2

DIVISIONS	Doctors	Pharmacist	Dispensing Assistants	Nurses	Mid-Wives	Radiographers	Lab Techns.	Total
E G B A	18	3	3	85	45	8	13	175
EGBADO	1	1	1	34	11	-	1	49
EKITI CENTRAL	12	1	6	47	26	1	3	126
EKITI NORTH	5	-	2	21	14	-	-	42
EKITI SOUTH	1	-	1	11	9	-	-	22
EKITI WEST	3	-	2	20	15	2	2	44
OKITIPUPA	1	-	-	11	N.A.	-	-	12
AKURE	9	3	-	59	28	2	2	103
ONDO	3	1	2	22	14	1	2	45
AKOKO	1	-	-	14	12	-	-	27
O W O	3	1	1	17	11	1	1	35
IBADAN CITY*	262	41	16	402	92	20	66	899
IBADAN LESS CITY	-	-	-	-	-	-	-	-
IBARAPA	-	-	-	-	-	-	-	-
OSHUN CENTRAL	12	4	3	52	30	2	3	106
OSHUN NORTH EAST	-	-	-	-	-	-	-	-
OSHUN NORTH WEST	8	2	3	49	25	2	9	98
OSHUN SOUTH	2	-	2	32	19	1	3	59
I F E	10	5	5	72	14	7	5	118
IJESHA NORTH	-	-	-	-	-	-	-	-
IJESHA SOUTH	10	1	4	78	34	2	3	132
O Y O NORTH	2	1	1	29	3	1	2	39
O Y O SOUTH	8	1	1	27	23	-	3	63
IJEBU	14	6	7	142	40	5	5	219
IJEBU-REMO	2	1	1	28	10	3	2	47
T O T A L	387	72	61	1,252	475	58	155	2,460

Note: * Including U.C.H., Ibadan.

N.A. = Not available.

STAFF IN U.C.H. - IBADAN 1971

Table VIII.3

R A N K O F S T A F F		N U M B E R
Doctors	Hospital*	146
	Consultant	73
Dentist		1
Pharmacists		26
Dispensing Assistants		8
Nurses		263
Mid-Wives		40
Radiographers		15
Laboratory Technologists (Seniors and Junior)		38
Physiotherapists		15
Occupational Therapists		4
Administrative		315
Maintenance and Labour		1,186
T O T A L		2,130

- Student Nurses 335

- Pupil Midwives 30

- Student Laboratory Technologists 47

* All Hospital Doctors are on Contract

**LOCAL GOVERNMENT STAFF IN DISPENSARIES AND
MATERNITY CENTRES IN WESTERN STAFF OF NIGERIA - 1971**

Table VIII.4

D I V I S I O N S	DISPENSARIES	MATERNITY CENTRES
	Number of Dispensary Attendants	Number of Midwives
E G B A	43	68
EGBADO	35	21
EKITI CENTRAL	11	24
" NORTH	12	14
" SOUTH	6	13
" WEST	24	21
OKITIPUPA	23	9
AKURE	16	17
ONDO	20	24
AKOKO	17	20
O W O	19	18
IBADAN CITY	10	56
" LESS CITY	13	9
IBARAPA	8	11
OSHUN CENTRAL	15	12
" NORTH EAST	31	32
" NORTH WEST	11	14
" SOUTH	18	16
IFE	21	24
IJESHA NORTH	13	14
" SOUTH	17	26
O Y O NORTH	20	13
" SOUTH	25	20
IJEBU	39	30
IJEBU-REMO	15	16
T O T A L	482	542

POPULATION PER DOCTOR IN THE WESTERN STATE
OF NIGERIA BY DIVISION 1971

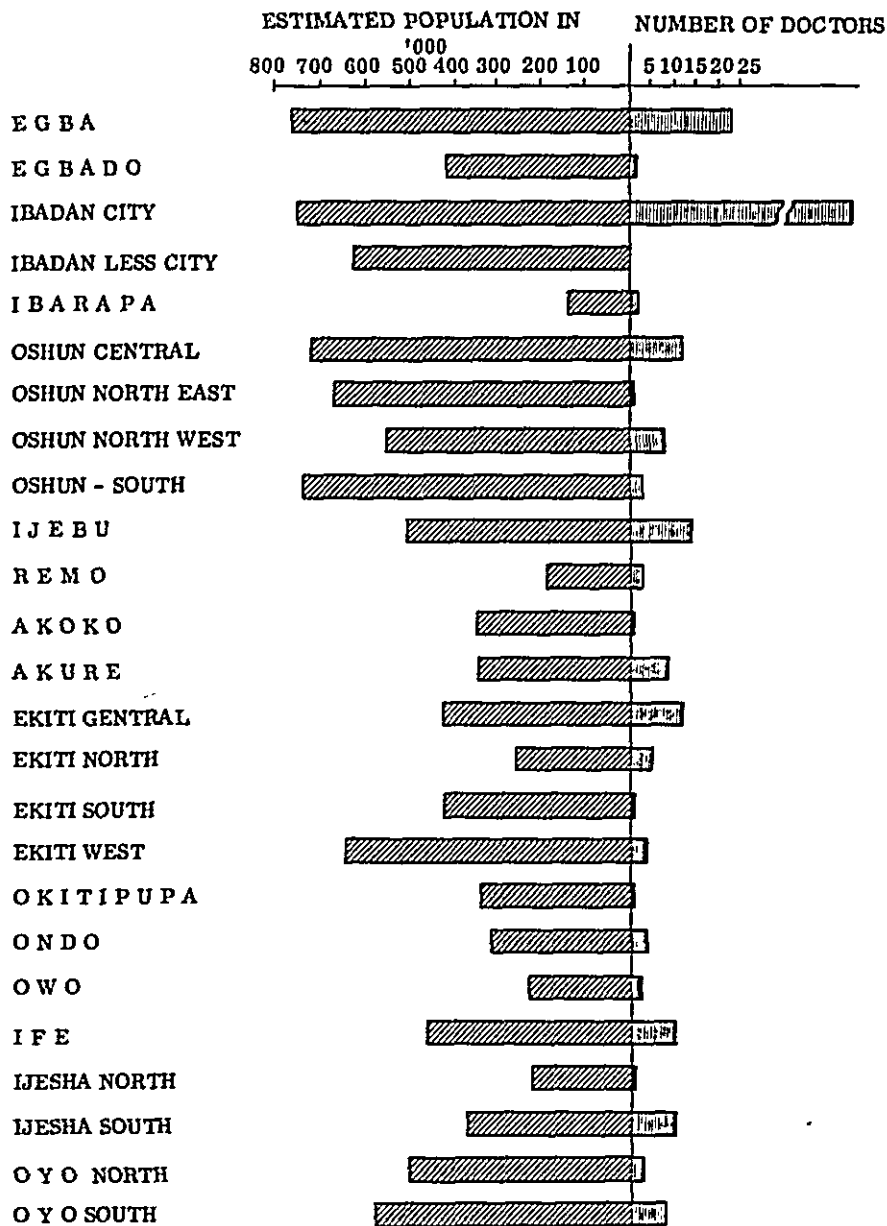
Table VIII. 5

DIVISION	Estimated Population in 1971	Number of Doctors	Estimated population per Doctor
E G B A	767, 064	23	33, 351
EGBADO	420, 740	2	210, 370
IBADAN CITY	764, 399	264	2, 895
" LESS CITY	626, 621	-	-
IBARAPA	142, 490	2	71, 245
OSHUN CENTRAL	719, 575	12	59, 965
" NORTH EAST	672, 333	1	672, 333
" NORTH WEST	555, 072	8	69, 384
" SOUTH	741, 419	3	247, 139
IJEBU	512, 163	14	36, 583
REMO	189, 735	3	63, 245
AKOKO	347, 024	1	347, 024
AKURE	339, 095	9	37, 677
EKITI CENTRAL	428, 005	12	35, 667
" NORTH	263, 368	5	52, 673
" SOUTH	419, 278	1	419, 278
" WEST	644, 977	4	161, 244
OKITIPUPA	335, 925	1	335, 925
ONDO	314, 425	4	78, 606
O W O	231, 310	3	77, 103
I F E	458, 995	10	45, 899
IJESHA NORTH	216, 180	1	216, 180
" SOUTH	370, 749	10	37, 075
O Y O NORTH	502, 579	3	167, 526
" SOUTH	576, 100	8	72, 103
T O T A L	11, 559, 621	404	28, 612

Note:- Figure includes U.C.H., Ibadan and Aro-Mental Hospital, Abeokuta.

ESTIMATED POPULATION AND NUMBER OF DOCTORS IN WESTERN STATE, 1971
BY DIVISION

Diagram 16



DISTRIBUTION OF DOCTORS IN WESTERN STATE
BY DIVISION, 1971

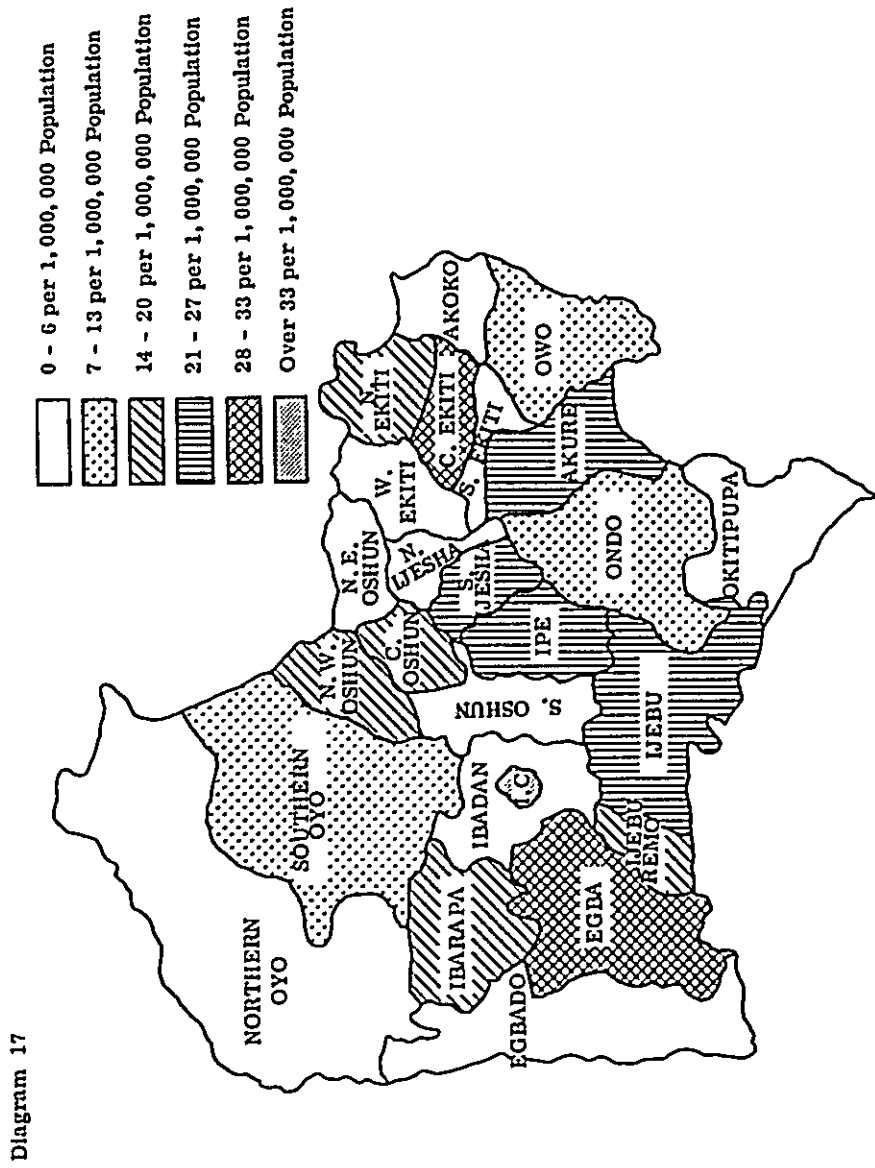
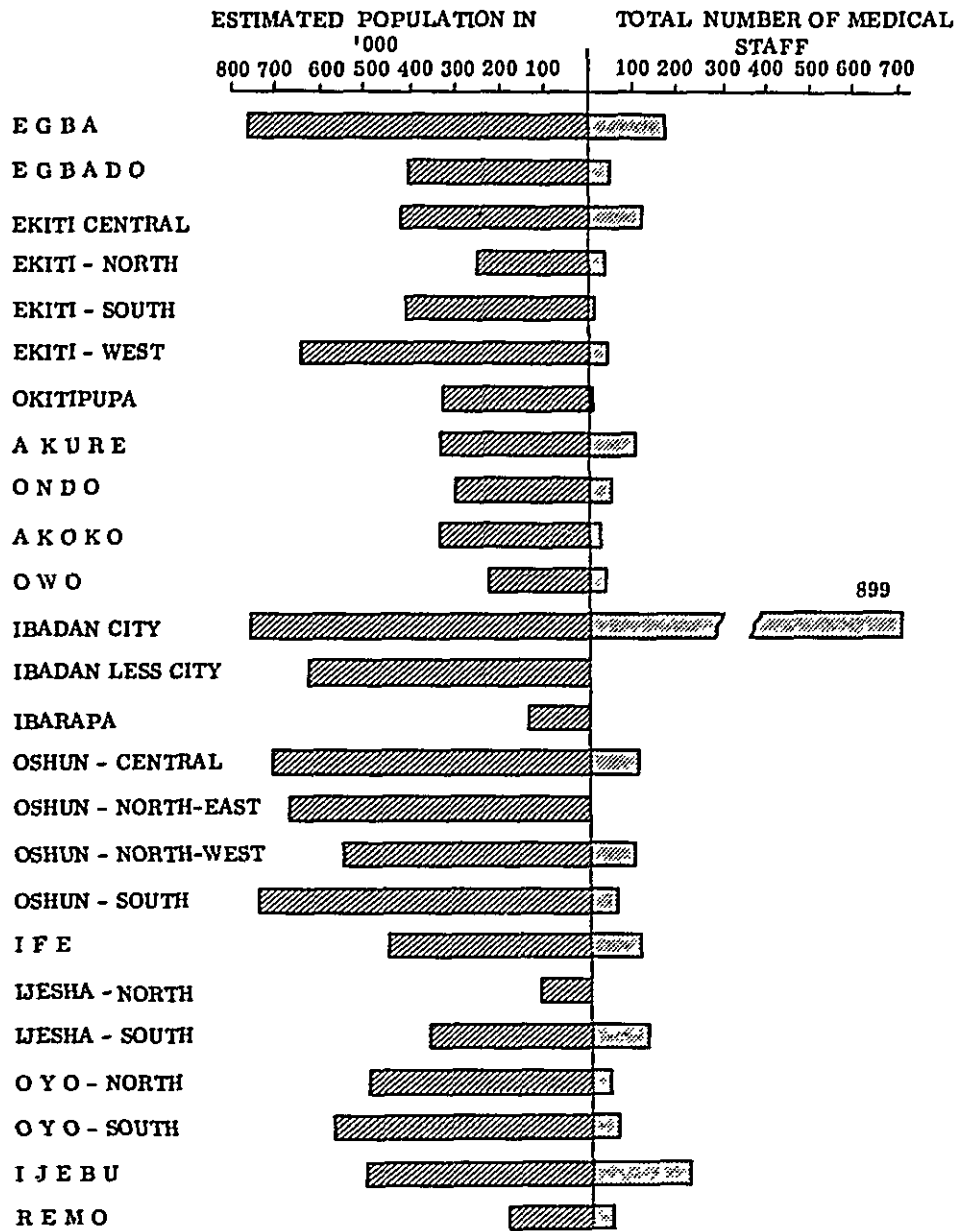


Diagram 18 ESTIMATED POPULATION AND ALL TYPES OF MEDICAL STAFF IN WESTERN STATE OF NIGERIA BY DIVISION, 1971



HEALTH STAFF IN WESTERN STATE OF NIGERIA BY DIVISION - 1971

Table VIII.6

DIVISIONS	RANK OF STAFF							TOTAL
	CONSULTANT (PREVENTIVE MEDICINE)	SUPERINTENDENTS				HEALTH INSPECTORS	SANITARY OVERSEERS	
		SENIOR HEALTH	HIGHER HEALTH	HEALTH	ASSIST.			
EGBA	1	1			1	22	18	43
EGBADO				1	1	8	11	21
EKITI CENTRAL	1		1			2	6	11
" NORTH						1	7	8
" SOUTH						4	3	7
" WEST						4	7	11
OKITIPUPA					1	4	3	8
AKURE	1	-	1	-		4	9	15
ONDO	1			1	1	11	9	23
AKOKO				1		4	8	13
OWO			1			3	7	11
IBADAN CITY	2	4	1	5	6	24	18	67
" LESS CITY	1					1	4	6
IBARAPA			1	1		2	5	8
OSUN CENTRAL	1		1		1	11	3	17
" NORTH EAST						7	6	13
" NORTH WEST	1			1		12	4	18
" SOUTH						8	6	14
IFE	1			2	1	7	6	17
IESHA NORTH					1			1
" SOUTH	1	1				11	12	25
OYO NORTH						8	8	16
" SOUTH			1			14	13	28
IJEBU	1		1			9	14	25
IJEBU-REMO	1			1	1	3	6	12
TOTAL	13	6	7	13	14	195	190	438

DISTRIBUTION OF PUBLIC HEALTH STAFF IN THE WESTERN
STATE BY DIVISION 1971

Table VIII.7

D I V I S I O N S	Government Health Superintendents	Government Health Inspectors	Local Authority Asst. Health Superintendents	Local Authority Health Inspectors	Local Authority Sanitary Overseers
E G B A	1	4	1	19	17
EGBADO	-	6	1	7	13
EKITI CENTRAL	1	4	-	-	6
" NORTH	-	1	-	-	3
" SOUTH	-	1	-	4	4
" WEST	1	3	-	1	8
OKITIPUPA	-	2	-	3	4
AKURE	1	2	-	1	2
ONDO	-	6	-	11	8
AKOKO	1	2	-	2	8
O W O	2	-	-	-	6
IBADAN CITY	9	20	5	16	12
" LESS CITY	-	-	-	1	7
IBARAPA	1	-	-	3	6
OSHUN CENTRAL	2	5	-	6	8
" NORTH EAST	-	2	-	6	8
" NORTH WEST	1	3	-	9	6
" SOUTH	-	3	-	7	5
I F E	1	2	-	-	2
IJESHA NORTH	-	1	-	-	3
" SOUTH	-	7	-	7	7
O Y O NORTH	1	3	-	10	11
" SOUTH	1	7	-	3	5
IJEBU	1	7	-	3	15
IJEBU-REMO	2	2	1	6	10
T O T A L	26	93	8	125	184

Note: Government Health Superintendents include Senior, Higher and Health Superintendents.

PUBLIC HEALTH STAFF TRAINED IN SCHOOL OF HYGIENE -
IBADAN 1965 - 1971

Table VIII.8

Y E A R	NUMBER OF TRAINED STAFF						TOTAL
	Public Health Inspector	Sanitary Overseers	Leprosy and Medical Field Unit Assistants	Community Nurses	Health Sisters	Dispensary Attendants	
1 9 6 5	19	25	-	32	7	40	123
1 9 6 6	17	28	-	14	4	34	97
1 9 6 7	16	24	-	17	6	30	93
1 9 6 8	16	18	-	30	1	36	101
1 9 6 9	17	11	-	8	11	16	63
1 9 7 0	24	-	-	26	28	18	96
1 9 7 1	96	-	-	62	50	-	208
T O T A L	205	106	-	189	107	174	781

MEDICAL STAFF TRAINED IN UCH - IBADAN 1969 - 1971

Table VII.9

R A N K	NUMBER GRADUATED		
	1969	1970	1971
Medical Students	43	51	44
Nurses	38	79	95
Midwives	24	22	15

NURSES AND MIDWIVES TRAINED IN HOSPITALS IN
WESTERN STATE OF NIGERIA 1971 *

Table VIII.10

R A N K	NUMBER IN TRAINING		NUMBER GRADUATED
	Government	Mission	Government & Mission
Nurses	266	144	33
Midwives	60	281	220
T O T A L	326	425	253

* Excluding U.C.H. - Ibadan.

EXPENDITURE OF MEDICAL AND HEALTH SERVICES

As in the previous years the expenditure on curative service was much more than that on Public Health and Preventive Medical Service, despite the fact that "prevention is better than cure" and even cheaper apart from preventing the agonising experience of some diseases, which though preventable, may end fatally.

Table IX.1 depicts the State Government recurrent expenditure on Medical and Health Services. About £ 2.97 million was voted for the service in 1971, this being the highest ever since 1956. Table IX.2 shows the recurrent expenditure on Health Service by the Local Government Health Departments. About £ 860,000 was voted.

Table IX.3 shows the recurrent expenditure on Health by both State and Local Governments. Consequently, the per capita expenditure worked out at 8 shillings (K.80). The total recurrent expenditure was £ 3.83 million.

Table IX.4 shows the comparative expenditure on health in relation to total State Budget from 1968/69 to 1972/73. The 1972/73 Budget was of the order of £ 36.36 million of which 10.8%, the highest ever, was allocated for health and medical services.

Table IX.5 shows the comparison between expenditure on administration, preventive and curative services - for the last 3 financial years. On administration (finance and establishment) roughly 4% annually was spent while on preventive services 12.2% was spent as compared with about 14% in previous years. As usual curative services accounted for 55% of the expenditure. A future cost benefit analysis may probably help to bring home the necessity for reversing the expenditure on curative services with that on preventive services.

Here it may be mentioned that the State Government had to vote £ 175,000 for the attack on Cholera epidemic during the year. Again, the cost of prevention was about one eighth of the cost of curative and laboratory services. Howbeit, the lesson has not struck home about the necessity to spend more on preventive services.

WESTERN STATE OF NIGERIA GOVERNMENT RECURRENT
EXPENDITURE ON MEDICAL AND HEALTH SERVICES
(1956-57 TO 1970-71)

Table IX.1

YEAR ENDED 31ST MARCH	Actual Expenditure £ N	Actual Expenditure per 1,000 of 1963 Populations £ N
1956-57	1, 031, 596	169
1957-58	1, 297, 065	213
1958-59	1, 537, 915	253
1959-60	1, 775, 829	292
1960-61	2, 114, 681	347
1961-62	2, 119, 747	348
1962-63	2, 206, 923	363
1963-64	1, 974, 966	192
1964-65	1, 733, 395	169
1965-66	2, 057, 423	200
1966-67	1, 731, 492	169
1967-68	1, 815, 160	191
1968-69	1, 263, 331	133
1969-70	2, 157, 086	227
1970-71	2, 966, 764	313

Note: Figures from 1963-1964 to 1966-1967 are actual expenditure per 1,000 of 1963 population, and exclude those of the Mid-western Nigeria.

Source: Western Nigeria Approved Estimates, 1958-59 to 1970-71.

RECURRENT EXPENDITURE OF WESTERN STATE
OF NIGERIA LOCAL GOVERNMENT AUTHORITIES
ON MEDICAL AND HEALTH SERVICES
1956-57 TO 1969-71

Table IX. 2

Year Ended 31st March	Expenditure £ N ('000)
1956-57	588
1957-58	564
1958-59	614
1959-60	708
1960-61	873
1961-62	951
1962-63	953
1963-64	646
1964-65	866
1965-66	861
1966-67	909
1967-68	783 *
1968-69	806 *
1969-70	824 *
1970-71	859

- Notes: 1. * Excluding figures for the former Colony Province of Western Nigeria, now part of the Lagos State.
2. Figures from 1963-1964 onwards exclude those of the Midwestern State.

WESTERN STATE OF NIGERIA RECURRENT EXPENDITURE OF
MEDICAL AND HEALTH SERVICES BY TYPE OF GOVERNMENT
(1956-57 TO 1970-71)

Table IX.3

Year Ended 31st March	EXPENDITURE		TOTAL	Total Expen- diture per head of population
	State Govt.	Local Govt.		Shillings
	£N ('000)	£N ('000)	£N ('000)	
1956-57	1,032	568	1,600	5
1957-58	1,297	564	1,861	6
1958-59	1,538	614	2,152	7
1959-60	1,776	708	2,484	8
1960-61	2,115	873	2,988	10
1961-62	2,120	951	3,071	10
1962-63	2,207	953	3,160	10
1963-64	1,975	646	2,621	5
1964-65	1,733	866	2,599	5
1965-66	2,057	861	2,918	6
1966-67	1,731	909	2,640	5
1967-68	1,815	783*	2,598	5
1968-69	1,751	806*	2,557	5
1969-70	2,157	824*	2,981	6
1970-71	2,962	859	3,826	8

- Notes:
1. ++ Excluding expenditure incurred from estimated grants from the State Government.
 2. * Excluding figures for the former Colony Province of Western Nigeria, now part of the Lagos State.
 3. Figures from 1963-1964 onwards exclude those of the Midwestern State.
 4. 1956-57 to 1962-63 figures are based on the 1952 Population Census, whilst those for 1963-64 to 1970-71 are based on the 1963 Population Census.

COMPARATIVE TABLE OF TOTAL EXPENDITURE
AND HEALTH EXPENDITURE IN WESTERN STATE
1968/69 - 1972/73

Table IX. 4

Y E A R	Total amount for the State ₦N	Health ₦N	% of Health over State Total
1968/69	19,931,580	1,719,770	8.8
1969/70	25,158,210	2,394,470	9.8
1970/71	27,702,770	2,921,000	10.7
1971/72	27,436,340	2,921,440	10.62
1972/73	36,363,000	3,924,200	10.8

APPROVED ESTIMATES: MINISTRY OF HEALTH
(Financial Years 1970/71 - 1972/73)

Table IX. 5

DIVISIONS	1970/71	%	1971/72	%	1972/73	%
Administration Finance and Establishment	119,970	3.7	132,770	4.0	155,250	3.6
Curative	1,670,680	51.3	1,804,890	55.0	2,362,681	55.1
Preventive	460,530	14.1	467,250	14.2	521,919	12.2
Others	1,008,370	30.9	877,230	26.8	1,247,150	29.1
Less Antici- pated Saving due to Staff Turn-Over	3,259,550		3,282,140		4,287,000	100.0
	337,650		360,700		362,800	
TOTAL	2,921,000	100.0	2,921,440	100.0	3,924,200	0

Source: Approved Estimates Western State of Nigeria
from 1970 - 1972/73.

